

Honeywell

Honeywell 35 シリーズ

ネットワークビデオレコーダー

HN35160400R
HN35160492R
HN35320491NR
HN35320800NR
HN35320891NR
HN35640892NR
HN35640893DR

HN35160408R
HN35320400NR
HN35320492NR
HN35320808NR
HN35320892NR
HN35640893NR
HN35640894DR

HN35160416R
HN35320408NR
HN35640400NR
HN35320816NR
HN35320893NR
HN35640894NR

HN35160491R
HN35320416NR
HN35640492NR
HN35320832NR
HN35640800NR
HN35640800DR

ユーザーガイド

推奨

本書および他のハネウエル 35 シリーズ NVR 文書の最新版は弊社ウェブサイト (<https://buildings.honeywell.com/security>) で検索してください。





著作権

© 2023 Honeywell International Inc. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、ハネウエルの書面による許可なしにいかなる手段でも複製することはできません。本書の情報は、あらゆる点で正確であると考えられます。ただし、本書の使用によって生じる結果については、ハネウエルは責任を負いかねます。本書に含まれている情報は、予告なく変更する場合があります。そのような変更を反映するために、本書の改訂版または新版が発行されることがあります。特許情報については、<https://buildings.honeywell.com/us/en/support/legal/patents> を参照してください。

改訂

版	日付	改訂
A	2023 年 8	新規文書。

注意と警告

	CAUTION RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN		 THIS SYMBOL INDICATES THAT DANGEROUS VOLTAGE CONSTITUTING A RISK OF ELECTRIC SHOCK IS PRESENT WITHIN THE UNIT.
CAUTION: TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK, DO NOT REMOVE THE COVER. NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE. REFER SERVICING TO QUALIFIED SERVICE PERSONNEL.			 THIS SYMBOL INDICATES THAT IMPORTANT OPERATING AND MAINTENANCE INSTRUCTIONS ACCOMPANY THIS UNIT.



警告： すべての現地規定に準拠し、保証を維持するためには、設置と修理は有資格の熟練技術者のみが実施する必要があります。



警告： 必ず付属の電源ケーブルと一緒に使用してください。



注意： ハネウエル製品は、3.3V CR2032 リチウムバッテリーを内蔵リアルタイムクロック（RTC）の電源として使用します。バッテリー電力が低いと、RTC の動作に影響が及び、電源を入れるたびに RTC がリセットされます。
バッテリーを正しく交換していない場合は、爆発の危険性があります。
使用済みのバッテリーは、地方条例またはバッテリーメーカーの指示に従って廃棄してください。
取り外す前に、必ず製品の電源を切ってください。その後、慎重にバッテリーを取り外してください。
同一のバッテリーまたはハネウエルが推奨するバッテリーとのみ交換してください。

規制に関する声明

FCC 準拠に関する声明

ユーザーへの情報：本機器はテスト済みであり、FCC 規則のパート 15 に従ってクラス A デジタルデバイスの制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、商用環境で機器を運用する際に有害な干渉から適度に保護するように設計されています。本機器は無線周波エネルギーを生成、使用、および放射することがあるため、取扱説明書に従って設置および使用しないと、有害な干渉を無線通信にもたらす可能性があります。住宅地で本機器を運用すると、有害な干渉が生じる可能性があり、その場合、ユーザーはその干渉を自費で修正する必要があります。

準拠の責任を負う当事者によって明示的に承認されていない変更や改造は、機器を操作するユーザーの権限を無効にする可能性があります。

このクラス A デジタル機器は、カナダの ICES-003 に準拠しています。

メーカーの適合宣言

北米

本書が付属している機器は、UL 62368-1 および CSA C22.2 No. 62368-1 に適合しています。

欧州

メーカーは、提供される機器が、電気電子機器における特定の危険物質の使用制限に関する欧州議会および理事会指令（2015/863/EU）、低電圧指令（2014/35/EU）、EMC 指令（2014/30/EU）の必須要件に準拠し、放射に関する規格 EN 55032/EN 61000-3-2/EN 61000-3-3/EN 61000-6-4、耐性に関する規格 EN 50130-4/EN 55024/EN 55035、電気機器の安全性に関する規格 EN 62368-1 に適合することを宣言しています。

注意 これはクラス A の製品です。家庭環境では、本製品は無線干渉を引き起こす可能性があり、その場合、ユーザーは十分な対策を講じる必要があります。

電気電子廃棄物指令（WEEE）



本製品の正しい廃棄（欧州連合および別個の回収システムを有する他の欧州諸国で適用可能）。

本製品は、耐用期間の終了時に、適用される現地の法律、規制、および手順に従って廃棄する必要があります。

現地の廃棄物ガイドラインの確認

本製品のコンポーネントは、別個の廃棄物回収を必要とします。分別ルールについては、現地の廃棄物ガイドラインを確認してください。

一般データ保護規則

本製品は個人データを保存できることに注意してください。

欧州では、個人データは一般データ保護規則（2016/679）によって保護されるため、個人データの所有者はこの規則により特定の権利を得ています。

これらの所有者（「データ主体」）の権利と、このデータの使用と配布に関して従う必要がある制限事項を十分に認識することを強く推奨します。

詳細については、EU の GDPR ウェブサイト

（https://ec.europa.eu/commission/priorities/justice-and-fundamental-rights/data-protection/2018-reform-eu-data-protection-rules_en）を参照してください。

安全に関する注意事項

ユニットを設置または操作する前に、すべての指示を読んでそれらの指示に従ってください。設置後は、安全と操作に関する説明書を今後の参考のために保管しておいてください。

警告に注意 - ユニット上の警告と取扱説明書に記載されている警告をすべて順守してください。

設置

- メーカーの指示に従って設置してください。
- すべての現地規定に準拠し、保証を維持するためには、設置と修理は有資格の熟練技術者のみが行う必要があります。
- 本製品を壁または天井に取り付ける場合は、メーカーの指示に従い、メーカーが承認または推奨している取り付けキットを使用してください。

運用要件

- PoE フロントエンドデバイスは屋内に設置してください。
- このデバイスは壁面への取り付けに対応していません。
- 直射日光にさらされる場所や発熱機器の近くに本デバイスを配置および設置しないでください。
- 湿気のある場所、ほこりっぽい場所、すすだらけの場所に本デバイスを設置しないでください。
- 水平の設置状態を維持するか、安定した場所に設置して、落下を防止してください。
- 本デバイスに液体をたらしたり、液体をはねかけたりしないでください。液体がデバイスに流れ込むのを防止するため、液体で満たされているものをデバイスの上に置かないでください。
- 本デバイスは換気の良い場所に設置してください。換気孔を塞がないようにしてください。
- 定格の入出力範囲内でのみ本デバイスを使用してください。
- 本デバイスを勝手に分解しないでください。
- デバイスの輸送、使用、および保管は、許容される湿度範囲および温度範囲で行ってください。

電源 - 本製品は、マーキングラベルに示されているタイプの電源でのみ操作してください。お客様の施設に供給される電力のタイプが不明な場合は、製品販売店または現地の電力会社にお問い合わせください。

取り付けシステム - メーカーが推奨する取り付けシステム、または製品と一緒に販売された取り付けシステムのみを使用してください。

付属品／装備品 - 火災、感電、または人的損傷のリスクにつながる可能性があるため、製品メーカーが推奨していない付属品／装備品は使用しないでください。

クリーニング - 液体クリーナーやエアロゾルクリーナーは使用しないでください。湿った布でクリーニングしてください。

修理 - 本ユニットを自分で修理しようとししないでください。修理はすべて有資格のサービス担当者に委託してください。

交換部品 - 交換部品が必要な場合は、メーカーが指定した交換部品または元の部品と同じ特性を持つ交換部品をサービス技術者が使用していることを確認してください。非公認の部品を代用すると、火災や感電などの危険につながる可能性があります。元のメーカー以外の交換部品や装備品を使用すると、保証が無効になる場合があります。

廃棄物 - 本製品のコンポーネントは、別個の廃棄物回収を必要とします。分別ルールについては、現地の廃棄物ガイドラインを確認してください。

保証とサービス

製品保証書に記載されている諸条件に従い、保証期間中、ハネウェルは、独自の判断により、前払いで返品された不良製品を無料で修理または交換します。

ハネウェル製品に問題が生じた場合は、カスタマーサービス（1.800.323.4576）までご相談いただくか、**商品返品確認（RMA）** 番号を要求してください。

モデル番号、シリアル番号、および問題の性質を技術サービス担当者が確認できるようにしてください。

すべての返品、交換、またはクレジットは、事前に許可を得る必要があります。明確に特定された**商品返品確認（RMA）** 番号がない状態でハネウェルに送付された物品は、拒否される可能性があります。

記号のリスト

NVR に表示される可能性がある記号のリストを以下に示します。

表 1 記号のリスト

記号	説明
	<p>WEEE 記号。</p> <p>エンドユーザーが本製品を廃棄したいときには、回収・再利用のために本製品を別個の収集施設に送る必要があることを示しています。本製品を他の家庭廃棄物と区別することにより、焼却炉やごみ処理場へ送られる廃棄物の量は減少するため、天然資源が保護されます。</p>
	<p>UL 準拠ロゴ。</p> <p>製品がテスト済みであり、UL（旧称アンダーライターズラボラトリーズ）によってリストされていることを示しています。</p>
	<p>FCC 準拠ロゴ。</p> <p>製品が連邦通信委員会の準拠基準に適合することを示しています。</p>
	<p>直流電流記号。</p> <p>製品の電源入力／出力が直流電流であることを示しています。</p>
	<p>交流電流記号。</p> <p>製品の電源入力／出力が交流電流であることを示しています。</p>
	<p>LDPE 記号。</p> <p>本製品が低密度ポリエチレン（LDPE）製であることを示しています。</p>
	<p>直流電流記号。</p> <p>製品が 12 V 直流電流で動作することを示しています。</p>
	<p>無鉛記号。</p> <p>製品に鉛（Pb）が含まれていないことを示しています。</p>
	<p>CCC 準拠ロゴ。</p> <p>製品が中国強制製品認証ガイドラインに準拠していることを示しています。</p>
	<p>環境に優しい使用期間の記号。</p> <p>環境を阻害することなく本電子製品を使用できる期間を示しています。</p>

	<p>RCM 準拠記号。 製品がオーストラリアの RCM ガイドラインに準拠していることを示しています。</p>
	<p>TVU Lab 記号。 TVU Lab によって製品の安全性がテスト済みであることを示しています。</p>
	<p>直流電流記号。 製品が直流電流を操作することを示しています。</p>
	<p>製品を屋内で使用すべきであることを示しています。</p>
	<p>CE 準拠ロゴ。 製品が EU 整合法令の関連ガイドライン／基準に準拠していることを示しています。</p>
	<p>保護接地記号。 マークされた端子は保護接地／接地線への接続用であることを示しています。</p>
	<p>重要な情報に注意を向けさせるために使用されます。</p>
	<p>対応する行為が感電につながる可能性があることを警告しています。</p>
	<p>対応するコントロール／ボタン／スイッチのオン／スタンバイ機能を示しています。</p>

目次

本書について	ii
内容の概要.....	ii
1 序文.....	1
概要.....	1
主な特長.....	1
ネットワークビデオレコーダーのコンポーネント	3
フロントパネルとリアパネル.....	3
マウス操作.....	11
2 はじめに.....	13
NVR の開梱	13
外部デバイスの接続.....	13
デバイスの接続.....	14
NVR の起動とシャットダウン	17
NVR の起動.....	17
NVR のシャットダウン.....	17
リセットボタン	18
デバイスの初期化.....	19
デバイスウィザード	21
パスワードの再設定.....	26
パスワード再設定機能の有効化.....	26

ローカルインターフェイスでのパスワードの再設定.....	27
ホームページ.....	28
ブザーのミュート.....	28
双方向トーク.....	29
デバイスエンドから IPC へ.....	29
IPC エンドからデバイスエンドへ.....	29

3 ローカル基本操作..... 31

カメラの設定.....	31
カメラ.....	31
エンコード.....	37
センサー設定.....	39
OSD.....	40
POE ステータス.....	40
ストレージ設定の構成.....	41
レコードスケジュール.....	41
ディスク.....	43
ストレージモード.....	46
S.M.A.R.T.....	46
RAID.....	47
ディスク検出.....	48
ディスク計算.....	49
FTP/SFTP.....	50
イベント設定の構成.....	52
一般.....	52
モーション検出.....	54
カメラタンパリング.....	59
ビデオ損失.....	60
インテリジェント分析.....	60
アラーム入力.....	65
異常イベント.....	67
アラーム出力.....	68
ローカルインテリジェント分析.....	69
ネットワーク設定の構成.....	70
ネットワーク.....	71
802.1X.....	75
DDNS.....	75

ポートマッピング	76
電子メール	78
P2P	79
IP フィルター	80
SNMP	81
ネットワークトラフィック	83
アクセスプラットフォーム	83
フェイルオーバー	84
システム設定の構成	87
情報	87
一般	89
ユーザーアカウント	92
セキュリティセンター	96
レイアウト	98
補助画面	99
ログ	100
メンテナンス	102
ライブビュー設定の構成	105
ライブビュー	105
ライブビューコントロールインターフェイス	107
プレイバック	112
時間インターフェイス	112
画像グリッド	114
イベントレコーディング	115
バックアップリスト	116
人数カウンターの構成	117
検索	117
人数カウンター設定	117

4 ウェブ操作121

ネットワーク接続	121
ウェブログイン	122
ウェブメインメニュー	123
ライブビュー	123
プレイバック	124
イベントレコーディング	126
人数カウンター	126
設定	127

5 FAQ132



図 1	フロントパネル (HN351604xxR)	3
図 2	リアパネル (HN351604xxR)	4
図 3	フロントパネル (HN353204xxNR)	5
図 4	リアパネル (HN353204xxNR)	5
図 5	フロントパネル (HN356404xxNR)	7
図 6	リアパネル (HN356404xxNR)	7
図 7	フロントパネル (N356408xxNR/ HN353208xxNR)	8
図 8	リアパネル (N356408xxNR/ HN353208xxNR)	9
図 9	フロントパネル (HN356408xxDR)	10
図 10	リアパネル (HN356408xxDR)	10
図 11	デバイスの接続 (HN351604xxR)	15
図 12	デバイスの接続 (HN353204xxNR)	15
図 13	デバイスの接続 (HN353204xxNR)	16
図 14	デバイスの接続 (HN356408xxNR/ HN353208xxNR)	16
図 15	デバイスの接続 (HN356408xxDR)	17
図 16	リセットボタン	18
図 17	デバイスのアクティブ化	19
図 18	Question (Recovery the Password) (質問 (パスワードの復元))	20
図 19	アンロックパターンの設定	20
図 20	パスワードの復元	21
図 21	Startup Wizard (起動ウィザード)	21
図 22	ネットワーク --WAN	22
図 23	ネットワーク --LAN	22
図 24	Setup Wizard (セットアップウィザード) – Date and Time (日付と時刻)	23
図 25	Setup Wizard (セットアップウィザード) – Time Zone (タイムゾーン)	23
図 26	Setup Wizard (セットアップウィザード) – DST	24
図 27	Setup Wizard (セットアップウィザード) – Camera (カメラ)	24
図 28	Setup Wizard (セットアップウィザード) – Disk (ディスク)	25
図 29	Setup Wizard (セットアップウィザード) – P2P	25
図 30	Setup Wizard (セットアップウィザード) – Resolution (解像度)	26
図 31	パスワードの再設定	27
図 32	パスワード再設定 1	27
図 33	パスワード再設定 2	28
図 34	ホームページ (人数カウンター付き)	28
図 35	双方向トークの有効化	29
図 36	デバイスから IPC へ	29
図 37	IPC からデバイスへ	30
図 38	カメラの追加	32
図 39	Manually Add Devices (手動でデバイスを追加)	33
図 40	Update (更新) インターフェイス	35
図 41	ファイルの選択	35
図 42	オンラインチャンネルの操作	36
図 43	Protocol Management (プロトコル管理)	37

図 44 Encode (エンコード)	38
図 45 画像	39
図 46 OSD	40
図 47 PoE Status (PoE ステータス)	41
図 48 Record Schedule (レコードスケジュール)	42
図 49 レコードタイプ	42
図 50 Set Period by Drawing (描画による期間の設定)	43
図 51 Disk (ディスク) インターフェイス	44
図 52 NAS インターフェイス	45
図 53 NAS 追加インターフェイス	45
図 54 Storage Mode (ストレージモード)	46
図 55 S.M.A.R.T インターフェイス	47
図 56 RAID インターフェイス	47
図 57 Create RAID (RAID の作成) インターフェイス	48
図 58 Disk Detection (ディスク検出) インターフェイス	49
図 59 Disk Calculation (ディスク計算)	50
図 60 計算時間	50
図 61 FTP	51
図 62 SFTP	51
図 63 General (一般) ページ	53
図 64 IO Control Push (IO コントロールプッシュ)	53
図 65 Motion Detection (モーション検出)	54
図 66 Copy (コピー) ダイアログボックス	55
図 67 領域設定	56
図 68 スケジュール設定	57
図 69 Smart Motion (スマートモーション)	57
図 70 Smart Motion (スマートモーション) - Detection Area (検出エリア)	58
図 71 Smart Motion (スマートモーション) - Schedule (スケジュール)	59
図 72 Camera Tamper (カメラタンパー)	59
図 73 ビデオ損失	60
図 74 Intrusion (侵入)	61
図 75 Line Crossing (ラインクロッシング)	62
図 76 Multi Loitering (マルチロイタリング)	62
図 77 Multi Loitering (マルチロイタリング)	63
図 78 People Counter (人数カウンター)	63
図 79 People Counter (人数カウンター)	64
図 80 Face Detection (顔検出)	65
図 81 Alarm In (アラーム入力)	66
図 82 カメラアラーム入力ポート	67
図 83 Abnormal Events (異常イベント)	67
図 84 Alarm Out (アラーム出力)	68
図 85 Local Intelligent Analysis (ローカルインテリジェント分析)	69
図 86 侵入イベントアクション	70
図 87 Detection Area (検出エリア)	70
図 88 Networks (ネットワーク) - WAN	71
図 89 LAN インターフェイス	72
図 90 Port (ポート) インターフェイス	73
図 91 POE	74
図 92 802.1X インターフェイス	75

図 93 DDNS インターフェイス.....	76
図 94 Port Mapping (ポートマッピング) インターフェイス.....	76
図 95 NAT Port (NAT ポート) インターフェイス.....	77
図 96 Email (電子メール) インターフェイス.....	78
図 97 P2P インターフェイス.....	79
図 98 IP Filter (IP フィルター).....	80
図 99 IP のフィルターへの追加.....	81
図 100 SNMPv1/2.....	81
図 101 SNMPV3.....	82
図 102 Network Traffic (ネットワークトラフィック) インターフェイス.....	83
図 103 Access Platform (アクセスプラットフォーム) インターフェイス.....	84
図 104 Access Platform (アクセスプラットフォーム) -SIRA 有効化インターフェイス.....	84
図 105 Failover (フェイルオーバー) インターフェイス.....	85
図 106 Failover (フェイルオーバー) 冗長モードインターフェイス.....	85
図 107 ネットワークステータス.....	87
図 108 システムステータス.....	87
図 109 チャネルステータス.....	88
図 110 ディスク使用状況.....	88
図 111 アラームステータス.....	88
図 112 System (システム).....	89
図 113 Date and Time (日付と時刻).....	90
図 114 Time Zone (タイムゾーン).....	91
図 115 DST.....	91
図 116 Sync Camera Time (同期カメラ時間).....	92
図 117 User (ユーザー).....	92
図 118 Edit User (ユーザーの編集).....	93
図 119 Add User (ユーザーの追加).....	93
図 120 権限.....	94
図 121 Advance Setting (詳細設定).....	95
図 122 App Verification (アプリ検証).....	95
図 123 アプリ上でのセキュリティコードの入力.....	96
図 124 Password (パスワード).....	97
図 125 Unlock Pattern (アンロックパターン).....	97
図 126 Security Question (セキュリティ質問).....	98
図 127 Layout (レイアウト).....	98
図 128 Auxiliary Screen (補助画面).....	99
図 129 Auxiliary Screen (補助画面) - Layout (レイアウト).....	100
図 130 Logs (ログ) - System Log (システムログ).....	101
図 131 Event Log (イベントログ).....	101
図 132 Maintenance (メンテナンス).....	102
図 133 Update (更新) インターフェイス.....	103
図 134 エクスポートするディレクトリの選択.....	104
図 135 Network Packet Capture (ネットワークパケットキャプチャー) インターフェイス.....	104
図 136 ライブビューインターフェイス.....	105
図 137 Manual Alarm (手動アラーム).....	106
図 138 Events List (イベントリスト) ポップアップウィンドウ.....	107
図 139 ライブビューコントロールバー.....	107
図 140 イン	

スタントリプレイインターフェイス	108
☒ 141 PTZ コントロールパネル	109
☒ 142 パトロール追加パネル	110
☒ 143 デジタルズームインターフェイス	110
☒ 144 Camera Picture Parameter (カメラ画像パラメーター) インターフェイス.....	111
☒ 145 Playback (プレイバック)	112
☒ 146 Picture Grid (画像グリッド) インターフェイス.....	114
☒ 147 Replay (リプレイ) インターフェイス.....	115
☒ 148 Event Recording (イベントレコーディング) ページ.....	115
☒ 149 Backup (バックアップ) インターフェイス.....	116
☒ 150 People Counter (人数カウンター) - Search (検索)	117
☒ 151 People Counter Settings (人数カウンター設定)	117
☒ 152 人数カウンターOSD	119
☒ 153 People Counter (人数カウンター) の Schedule Linkage (スケジュールリン ケージ) - Event Action (イベントアクション)	120
☒ 154 People Counter (人数カウンター) の Schedule Linkage (スケジュールリン ケージ) - Schedule (スケジュール)	120
☒ 155 セキュリティ問題	122
☒ 156 ログイン	123
☒ 157 Liveview (ライブビュー) ページ.....	123
☒ 158 Playback (プレイバック) ページ.....	125
☒ 159 Event Recording (イベントレコーディング) ページ.....	126
☒ 160 人数カウンターページ	127
☒ 161 People Counter Settings (人数カウンター設定) ページ	127
☒ 162 Setting (設定) ページ.....	128
☒ 163 IPC ログインページ	129
☒ 164 HTTPS	129
☒ 165 Certificate Request (証明書要求)	130
☒ 166 証明書ページ	130
☒ 167 Upload Files (ファイルのアップロード) ページ	130
☒ 168 Uploaded Files (アップロードされたファイル)	131
☒ 169 CA Certificate (CA 証明書) ページ	131

表

表 1 記号のリスト	ii
表 2 NVR フロントパネルの説明 (HN351604xxR)	4
表 3 NVR リアパネルの説明 (HN351604xxR)	4
表 4 NVR フロントパネルの説明 (HN353204xxNR)	5
表 5 NVR リアパネルの説明 (HN353204xxNR)	6
表 6 NVR フロントパネルの説明 (356404xxNR)	7
表 7 NVR リアパネルの説明 (356404xxNR)	7
表 8 NVR フロントパネルの説明 (N356408xxNR/ HN353208xxNR)	8
表 9 NVR リアパネルの説明 (N356408xxNR/ HN353208xxNR)	9
表 10 NVR フロントパネルの説明 (HN356408xxDR)	10
表 11 NVR リアパネルの説明 (HN356408xxDR)	10
表 12 マウス操作手順.....	11
表 13 リモートチャンネルパラメーター.....	33
表 14 オーディオ/ビデオパラメーター.....	38
表 15 画像パラメーター.....	39
表 16 NAS パラメーター.....	45
表 17 FTP/SFTP パラメーター.....	52
表 18 モーション検出パラメーター.....	54
表 19 検出エリア設定パラメーター.....	58
表 20 人数カウンターパラメーター.....	64
表 21 アラーム入力ポートパラメーター.....	66
表 22 異常アラームパラメーター.....	68
表 23 アラーム出力パラメーター.....	68
表 24 ローカルインテリジェント分析パラメーター.....	69
表 25 IP パラメーター.....	71
表 26 LAN パラメーター.....	73
表 27 ポートパラメーター.....	74
表 28 ポートマッピングパラメーター.....	77
表 29 電子メールパラメーター.....	78
表 30 SNMP パラメーター.....	82
表 31 プライマリ NVR 有効化パラメーター.....	85
表 32 日付および時刻パラメーター.....	90
表 33 追加インターフェイスパラメーター.....	94
表 34 ナビゲーションバーのアイコン.....	105
表 35 ライブビューコントロールアイコン.....	107
表 36 PTZ コントロールパネルのパラメーター.....	109
表 37 イベントレコーディングパラメーターの説明.....	115
表 38 人数カウンターパラメーター.....	118
表 39 ライブビューのアイコンとパラメーター.....	124
表 40 プレイバックのアイコンとパラメーター.....	125
表 41 イベントレコーディングのアイコンとパラメーター.....	126
表 42 設定の記号.....	128

本書について

本書では、ハネウェルの 35 シリーズネットワークビデオレコーダーを紹介し、その設置方法と操作方法について説明します。

本書は、設置者とユーザーを対象としています。

内容の概要

本書には、以下の章と付録が含まれています。

第 1 章序文では、NVR のフロントパネルとリアパネルのレイアウトについて説明します。

第 2 章はじめにでは、NVR の接続方法とユーザーインターフェイスへのログイン方法について説明します。

第 3 章ローカル基本操作では、NVR のローカル操作について説明します。

第 4 章ウェブ操作では、ウェブ操作の設定方法について説明します。

第 5 章 FAQでは、NVR の操作時に起こりうる問題を解決するための Q&A について説明します。

章 1

序文

概要

35 シリーズ NVR は高性能のネットワークビデオレコーダーです。このシリーズの製品は、ローカルライブビュー、複数ウィンドウ表示、記録されたファイルのローカルストレージ、遠隔操作とマウスショートカットメニュー操作、およびリモート管理・制御機能をサポートしています。

35 シリーズ NVR は、センターストレージ、フロントエンドレコーディングおよびクライアントエンドレコーディングをサポートしています。フロントエンドにおけるモニターゾーンは任意の場所で設定できます。このシリーズの製品は、他のフロントエンドデバイス（IPC、NVR など）と連携することにより、HSV を通じて強力な監視ネットワークを確立できます。ネットワークシステムでは、モニターセンターからモニターゾーンへのネットワークケーブルはネットワーク全体で 1 つしかありません。モニターセンターからモニターゾーンへのオーディオ／ビデオケーブルはありません。このプロジェクト全体は、単純な接続であること、低コストであること、メンテナンス作業が少ないことを特徴としています。

35 シリーズ NVR は、治安、水利輸送、教育などの分野で幅広く使用できます。

主な特長

リアルタイム監視

- VGA、HDMI ポート：モニターに接続してリアルタイム監視を実現します。VGA/HDMI 出力を同時にサポートしています。
- プレビューのショートカットメニュー。
- 複数の一般的な PTZ デコーダー制御プロトコルをサポートしています。プリセットとパトロールをサポートしています。

プレイバック

- チャンネルごとに独立したリアルタイムレコーディングをサポートしています。また、ネットワークモニター、レコードの検索、レコードのダウンロードなどの機能もサポートしています。
- さまざまなプレイバックモード（スロー再生、早送り再生、逆再生、コマ送り再生）をサポートしています。
- 時間タイトルオーバーレイをサポートしているため、イベントの正確な発

生時間を確認できます。

- 指定したゾーンの拡大をサポートしています。

ユーザー管理

ユーザーは、ユーザーグループに追加して管理できます。各グループには、個々に編集できる一連の権限があります。

ストレージ

- 対応する設定（アラーム設定やスケジュール設定など）を使用することにより、関連するオーディオ／ビデオデータをネットワークビデオレコーダーでバックアップすることができます。
- ユーザーはウェブ経由でレコードを取得でき、レコードファイルはクライアントがある PC に保存されます。
- RAID 1/5/6 外部ストレージ互換性により、幅広い高容量ストレージオプションがサポートされます。

アラーム

- 外部アラームに同時に応答します（200 ms 以内）。ユーザーが事前に定義したリレー設定に基づいて、システムはアラーム入力を正しく処理し、画面プロンプトまたは音声プロンプト（事前に録音されたオーディオをサポートしている）をユーザーに送ります。
- 中央アラームサーバーの設定をサポートしているため、システムは自動的にアラーム情報をユーザーに通知できます。アラーム入力は、接続されたさまざまな周辺デバイスから得ることができます。
- 電子メールでアラーム情報をユーザーに通知します。

ネットワーク監視

- IPC または HSV によって圧縮されたオーディオ／ビデオデータをネットワーク経由でクライアントエンドに送信すると、そのデータが復元されて表示されます。
- HTTP、TCP、UDP、MULTICAST、RTP/RTCP などのプロトコルによってオーディオ／ビデオデータを送信します。
- SNMP によって一部のアラームデータやアラーム情報を送信します。
- WAN/LAN でのウェブアクセスをサポートしています。

ウィンドウ分割

ビデオ圧縮とデジタル処理を取り入れて、複数のウィンドウを 1 台のモニターに表示します。64 チャンネルモデルのプレビューでは 1/4/9/16/32/64 ウィンドウ分割をサポートしています。32 チャンネルモデルのプレビューでは 1/4/9/16/32 ウィンドウ分割をサポートしています。16 チャンネルモデルのプレビューでは 1/4/9/16 ウィンドウ分割をサポートしています。どのモデルもプレイバックでは 1/4/9/16 ウィンドウ分割をサポートしています。

レコード

スケジュールレコード、手動レコードおよびイベントレコードをサポートしています。記録されたファイルを HDD、USB デバイス、クライアントエンド PC またはネットワークストレージサーバーに保存すると、保存されたファイルの検索やプレイバックをローカルエンドで実行したり、ウェブ／USB デバイス経由で実行したりすることができます。

バックアップ

ネットワークバックアップと USB レコードバックアップをサポートしています。ネットワークストレージサーバー、周辺の USB 2.0 デバイスおよび USB 3.0 デバイスなどのデバイスでレコードファイルをバックアップできます。

ネットワーク管理

- イーサネット経由で NVR の構成と制御電源を監視します。
- ウェブ管理をサポートしています。
- 冗長フェイルオーバーN+1 (N の最大値 = 10) をサポートしています。

周辺機器管理

- 周辺デバイス制御をサポートしており、ユーザーは制御プロトコルと接続ポートを自由に設定できます。

補助

- システムリソース情報と実行ステータスのリアルタイム表示をサポートしています。
- ログレコードをサポートしています。
- ローカル GUI 出力。マウスによるショートカットメニュー操作。
- リモート IPC からビデオ／オーディオファイルを再生できます。

人数カウンター

- 特定のエリアに入出入りする人々に関連したデータ収集を正確に自動化するために、人数カウンター機能をサポートしています。

ネットワークビデオレコーダーのコンポーネント

フロントパネルとリアパネル

注： 以下のフロントパネルとリアパネルの図は参考用にすぎません。実際の製品が優先されるものとします。

HN351604xxR

図 1 フロントパネル (HN351604xxR)

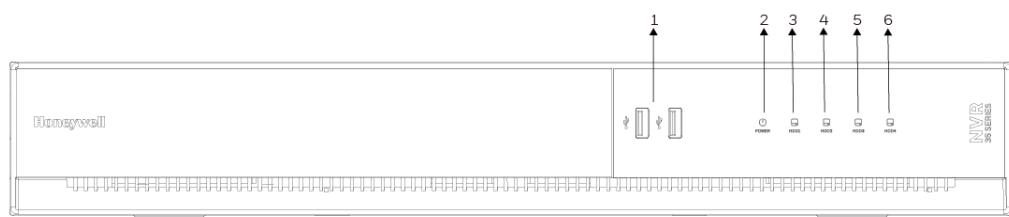


表 2 NVR フロントパネルの説明 (HN351604xxR)

番号	名称	説明
1	USB ポート	周辺の USB 2.0 ストレージデバイスやマウスなどに接続します。
2	POWER	電源接続に問題がない場合は、ライトが点灯します。
3~6	HDD1/HDD2/ HDD3/HDD4	デバイスがレコーディング中の場合は、緑色のライトが点滅します。ディスクが動作していない場合は、ライトが常時点灯します。ディスクがない場合は、ライトが消灯します。

図 2 リアパネル (HN351604xxR)

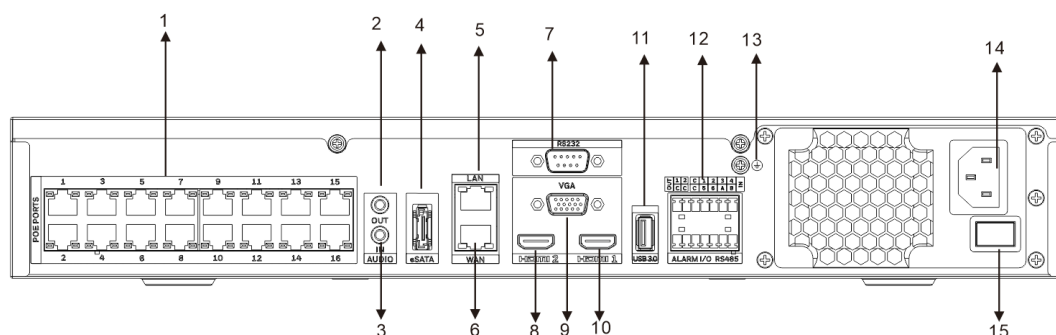



表 3 NVR リアパネルの説明 (HN351604xxR)

番号	名称	説明
1	PoE ポート	組み込みスイッチ PoE 機能をサポートしています。 PoE シリーズの製品の場合は、このポートを使用して電力をネットワークカメラに供給できます。
2	AUDIO OUT	オーディオ出力ポート サウンドボックスなどのデバイスに対するアナログオーディオ信号の出力です。 • 双方向トーク出力 • 1 ウィンドウビデオモニターのオーディオ出力 1 ウィンドウビデオプレイバックのオーディオ出力
3	AUDIO IN	双方向トーク入力ポート マイクやピックアップなどのデバイスからアナログオーディオ信号出力を受信するためのものです。
4	eSATA	ハードディスクポート
5~6	ネットワーク ポート	10M/100Mbps 自己適応イーサネットポート ネットワークケーブルに接続します。
7	RS232	RS232 ポート
8	HDMI 2	高精細度オーディオおよびビデオ信号出力ポート 圧縮されていない高精細度ビデオおよび多重チャンネルデータを表示デバイスの HDMI ポートに送信します。HDMI バージョンは 1.4 です。
9	VGA	VGA ビデオ出力ポート アナログビデオ信号を出力します。 モニターに接続すると、アナログビデオを表示できます。
10	HDMI 1	高精細度オーディオおよびビデオ信号出力ポート

番号	名称	説明
		圧縮されていない高精細度ビデオおよび多重チャンネルデータを表示デバイスの HDMI ポートに送信します。HDMI バージョンは 1.4 です。
11	USB ポート	USB ポート マウスまたは USB ストレージデバイスに接続します。
12	アラーム入力 /出力/ RS458	外部アラームソースから信号を受信します。 C は COM ポートです。1 チャンネルのアラーム入力と 8 チャンネルのアラーム出力があります。 アラーム入力デバイスが外部電源を使用している場合は、そのデバイスと NVR の GND が同じであることを確認してください。 A は RS485+、B は RS485- です。
13		GND
14	電源入力ポート	電源ソケット
15	電源スイッチ	電源オン/オフボタン

HN353204xxNR

図 3 フロントパネル (HN353204xxNR)

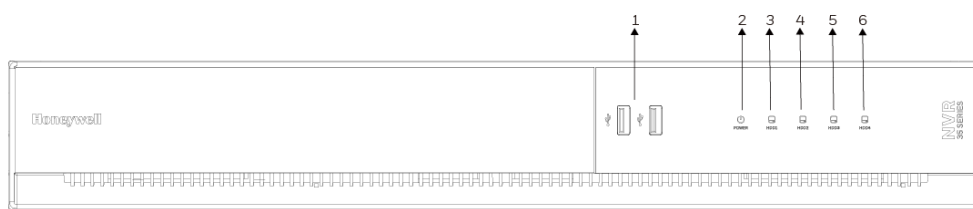


表 4 NVR フロントパネルの説明 (HN353204xxNR)

番号	名称	説明
1	USB ポート	周辺の USB 2.0 ストレージデバイスやマウスなどに接続します。
2	POWER	電源接続に問題がない場合は、ライトが点灯します。
3~6	HDD1/HDD2/ HDD3/HDD4	デバイスがレコーディング中の場合は、緑色のライトが点滅します。ディスクが動作していない場合は、ライトが常時点灯します。ディスクがない場合は、ライトが消灯します。

図 4 リアパネル (HN353204xxNR)

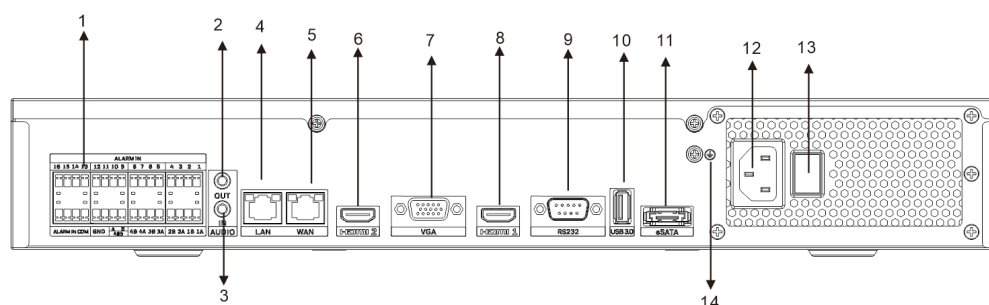



表 5 NVR リアパネルの説明 (HN353204xxNR)

番号	名称	説明
1	アラーム入力 ／出力／ RS485	外部アラームソースから信号を受信します。 C は COM ポートです。1 チャンネルのアラーム入力と 8 チャンネルのアラーム出力があります。 アラーム入力デバイスが外部電源を使用している場合は、そのデバイスと NVR が同じ GND を使用していることを確認してください。
2	AUDIO OUT	オーディオ出力ポート サウンドボックスなどのデバイスに対するアナログオーディオ信号の出力です。 <ul style="list-style-type: none"> • 双方向トーク出力。 • 1 ウィンドウビデオモニターのオーディオ出力。 1 ウィンドウビデオプレイバックのオーディオ出力
3	AUDIO IN	双方向トーク入力ポート。 マイクやピックアップなどのデバイスからアナログオーディオ信号出力を受信するためのものです。
4~5	ネットワーク ポート	10M/100Mbps 自己適応イーサネットポート ネットワークケーブルに接続します。
6	HDMI 2	高精細度オーディオおよびビデオ信号出力ポート 圧縮されていない高精細度ビデオおよび多重チャンネルデータを表示デバイスの HDMI ポートに送信します。HDMI バージョンは 1.4 です。
7	VGA	VGA ビデオ出力ポート アナログビデオ信号を出力します。モニターに接続すると、アナログビデオを表示できます。
8	HDMI 1	高精細度オーディオおよびビデオ信号出力ポート 圧縮されていない高精細度ビデオおよび多重チャンネルデータを表示デバイスの HDMI ポートに送信します。HDMI バージョンは 1.4 です。
9	RS232	RS232 ポート
10	USB ポート	USB ポート。マウスまたは USB ストレージデバイスに接続します。
11	eSATA	ハードディスクポート
12	電源入力ポ ート	電源ソケット。
13	電源スイッチ	電源オン／オフボタン。
14		GND

HN356404xxNR

図 5 フロントパネル (HN356404xxNR)



表 6 NVR フロントパネルの説明 (356404xxNR)

番号	名称	説明
1	USB ポート	周辺の USB 2.0 ストレージデバイスやマウスなどに接続します。
2	POWER	電源接続に問題がない場合は、ライトが点灯します。
3~6	HDD1/HDD2/ HDD3/HDD4	デバイスがレコーディング中の場合は、緑色のライトが点滅します。ディスクが動作していない場合は、ライトが常時点灯します。ディスクがない場合は、ライトが消灯します。

図 6 リアパネル (HN356404xxNR)

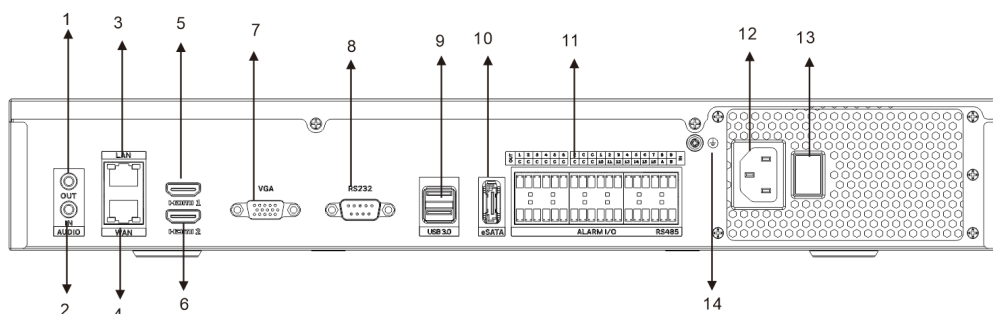



表 7 NVR リアパネルの説明 (356404xxNR)

番号	名称	説明
1	AUDIO OUT	オーディオ出力ポート サウンドボックスなどのデバイスに対するアナログオーディオ信号の出力です。 <ul style="list-style-type: none"> • 双方向トーク出力。 • 1 ウィンドウビデオモニターのオーディオ出力。 1 ウィンドウビデオプレイバックのオーディオ出力。
2	AUDIO IN	双方向トーク入力ポート マイクやピックアップなどのデバイスからアナログオーディオ信号出力を受信するためのものです。
3~4	ネットワーク ポート	10M/100Mbps 自己適応イーサネットポート ネットワークケーブルに接続します。

番号	名称	説明
5~6	HDMI 1/2	高精細度オーディオおよびビデオ信号出力ポート 圧縮されていない高精細度ビデオおよび多重チャンネルデータを表示デバイスの HDMI ポートに送信します。HDMI バージョンは 1.4 です。
7	VGA	VGA ビデオ出力ポート アナログビデオ信号を出力します。モニターに接続すると、アナログビデオを表示できます。
8	RS232	RS232 ポート
9	USB ポート	USB ポート マウスまたは USB ストレージデバイスに接続します。
10	eSATA	ハードディスクポート
11	アラーム入力 ／出力 RS485	外部アラームソースから信号を受信します。 C は COM ポートです。1 チャンネルのアラーム入力と 8 チャンネルのアラーム出力があります。 アラーム入力デバイスが外部電源を使用している場合は、そのデバイスと NVR の GND が同じであることを確認してください。 A は RS485 +、B は RS485 - です。
12	電源入力ポート	電源ソケット 冗長電源
13	電源スイッチ	電源オン／オフボタン
14		GND

HN356408xxNR/HN353208xxNR

図 7 フロントパネル (N356408xxNR/ HN353208xxNR)

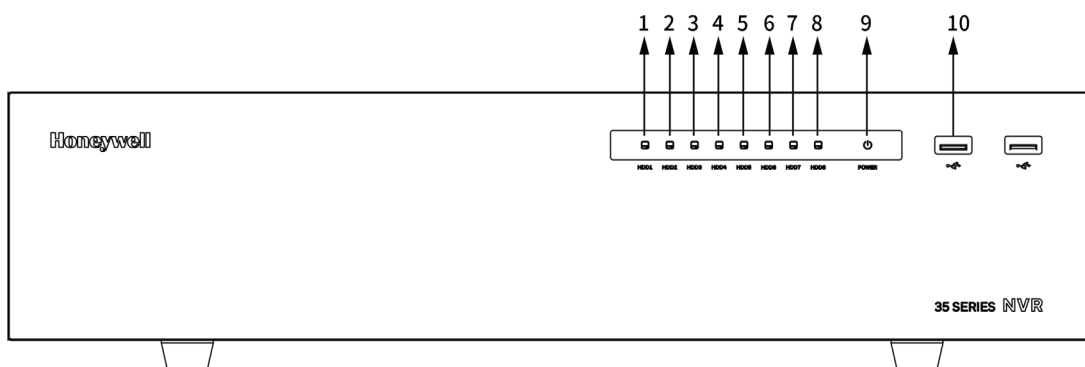


表 8 NVR フロントパネルの説明 (N356408xxNR/ HN353208xxNR)

番号	名称	説明
1~8	HDD1/HDD2/ HDD3/HDD4/ HDD5/HDD6/ HDD7/HDD8	デバイスがレコーディング中の場合は、緑色のライトが点滅しますが、ディスクが動作していない場合は、ライトが常時点灯します。ディスクがない場合は、ライトが消灯します。
9	POWER	電源接続に問題がない場合は、ライトが点灯します。
10	USB ポート	周辺の USB 2.0 ストレージデバイスやマウスなどに接続します。

図 8 リアパネル (N356408xxNR/ HN353208xxNR)

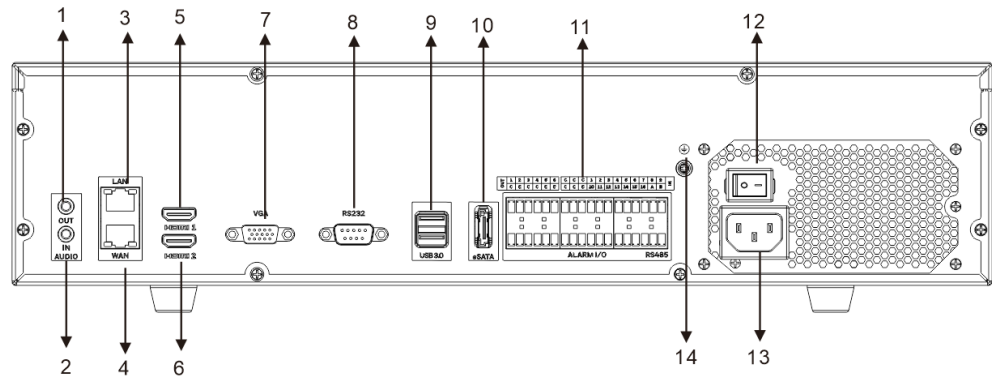



表 9 NVR リアパネルの説明 (N356408xxNR/ HN353208xxNR)

番号	名称	説明
1	AUDIO OUT	オーディオ出力ポート サウンドボックスなどのデバイスに対するアナログオーディオ信号の出力です。 <ul style="list-style-type: none"> • 双方向トーク出力。 • 1 ウィンドウビデオモニターのオーディオ出力。 1 ウィンドウビデオプレイバックのオーディオ出力。
2	AUDIO IN	双方向トーク入力ポート マイクやピックアップなどのデバイスからアナログオーディオ信号出力を受信するためのものです。
3~4	ネットワークポート	10M/100Mbps 自己適応イーサネットポート ネットワークケーブルに接続します。
5~6	HDMI 1/2	高精細度オーディオおよびビデオ信号出力ポート 圧縮されていない高精細度ビデオおよび多重チャンネルデータを表示デバイスの HDMI ポートに送信します。HDMI バージョンは 1.4 です。
7	VGA	VGA ビデオ出力ポート アナログビデオ信号を出力します。 モニターに接続すると、アナログビデオを表示できます。
8	RS232	RS232 ポート
9	USB ポート	USB ポート マウスまたは USB ストレージデバイスに接続します。
10	eSATA	ハードディスクポート
11	アラーム入力 /出力 RS485	外部アラームソースから信号を受信します。 C は COM ポートです。1 チャンネルのアラーム入力と 8 チャンネルのアラーム出力があります。 アラーム入力デバイスが外部電源を使用している場合は、そのデバイスと NVR の GND が同じであることを確認してください。 A は RS485 +、B は RS485 - です。
12	電源スイッチ	電源オン/オフボタン。

番号	名称	説明
13	電源入力ポート	電源ソケット。冗長電源。
14		GND

HN356408xxDR

図9 フロントパネル (HN356408xxDR)

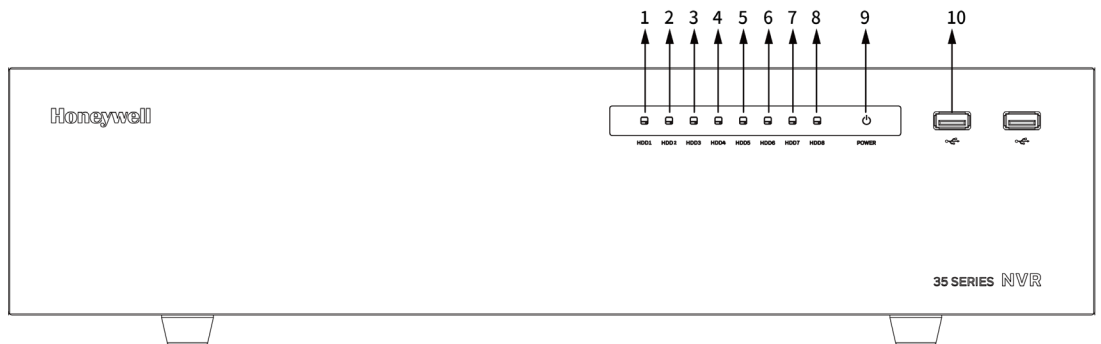


表 10 NVR フロントパネルの説明 (HN356408xxDR)

番号	名称	説明
1~8	HDD1/HDD2/ HDD3/HDD4/ HDD5/HDD6/ HDD7/HDD8	デバイスがレコーディング中の場合は、緑色のライトが点滅します。ディスクが動作していない場合は、ライトが常時点灯します。ディスクがない場合は、ライトが消灯します。
9	POWER	電源接続に問題がない場合は、ライトが点灯します。
10	USB ポート	周辺の USB 2.0 ストレージデバイスやマウスなどに接続します。

図 10 リアパネル (HN356408xxDR)

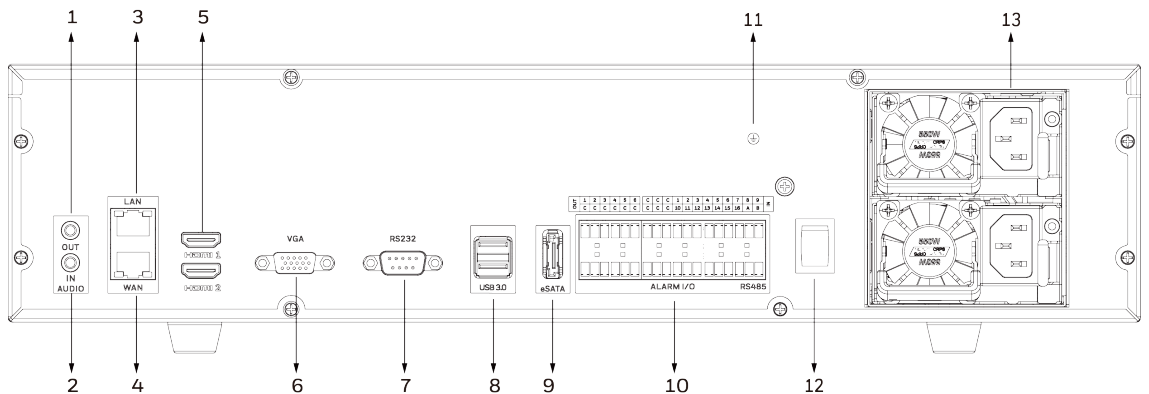



表 11 NVR リアパネルの説明 (HN356408xxDR)

番号	名称	説明
1	AUDIO OUT	オーディオ出力ポート サウンドボックスなどのデバイスにアナログオーディオ信号を出力するためのものです。


番号	名称	説明
		<ul style="list-style-type: none"> • 双方向トーク出力。 • 1 ウィンドウビデオモニターのオーディオ出力。 1 ウィンドウビデオプレイバックのオーディオ出力。
2	AUDIO IN	双方向トーク入力ポート。マイクやピックアップなどのデバイスからアナログオーディオ信号出力を受信するためのものです。
3~4	ネットワークポート	10M/100Mbps 自己適応イーサネットポート ネットワークケーブルに接続します。
5	HDMI 1/2	高精細度オーディオおよびビデオ信号出力ポート 圧縮されていない高精細度ビデオおよび多重チャンネルデータを表示デバイスの HDMI ポートに送信します。HDMI バージョンは 1.4 です。
6	VGA	VGA ビデオ出力ポート アナログビデオ信号を出力します。 モニターに接続すると、アナログビデオを表示できます。
7	RS232	RS232 ポート
8	USB ポート	USB ポート マウスまたは USB ストレージデバイスに接続します。
9	eSATA	ハードディスクポート
10	アラーム入力 /出力 RS485	外部アラームソースから信号を受信します。 C は COM ポートです。1 チャンネルのアラーム入力と 8 チャンネルのアラーム出力があります。 アラーム入力デバイスが外部電源を使用している場合は、そのデバイスと NVR の GND が同じであることを確認してください。 A は RS485 +、B は RS485 - です。
11		GND
12	電源スイッチ	電源オン/オフボタン。
13	電源入力ポート	電源ソケット。冗長電源。

マウス操作

マウス操作手順については、以下のシートを参照してください。

表 12 マウス操作手順

操作	説明
マウスを左クリックする	1 つのメニュー項目を選択したときに、マウスを左クリックしてメニューの内容を表示します。
	チェックボックスまたはモーション検出ステータスを変更します。
	コンボボックスをクリックして、ドロップダウンリストをポップアップします。

操作	説明
	<p>入力ボックスで、入力方法を選択できます。対応するボタンをパネル上で左クリックすると、英数字（小文字／大文字）を入力できます。[]はスペースボタンを表し、[←]は前の文字の削除を表します。[⇄]を左クリックすると、大文字／小文字と特殊文字が切り替わります（図を参照）。</p> 
<p>マウスを左ダブルクリックする</p>	<p>ファイルリスト内の1つの項目をダブルクリックしてビデオをプレイバックする操作など、特別な制御操作を実行します。</p> <p>複数ウィンドウモードで、1つのチャンネルを左ダブルクリックして、フルウィンドウで表示します。</p> <p>もう一度、現在のビデオを左ダブルクリックして、以前の複数ウィンドウモードに戻ります。</p>
<p>マウスを右クリックする</p>	<p>リアルタイムモニターモードで、ホームメニューに戻ります。</p> <p>変更内容を保存せずに現在のメニューを終了します。</p>
<p>中央ボタンをスライドさせる</p>	<p>チェックボックス内の項目を切り替えます（言語の切り替えなど）。</p> <p>ページを上下に移動します（カメラの追加など）。</p>
<p>マウスを移動する</p>	<p>現在のコントロールを選択するか、コントロールを移動します。</p>
<p>マウスをドラッグする</p>	<p>モーション検出ゾーン／インテリジェント分析ゾーンを選択します。</p> <p>スケジュールを手動で選択します。</p> <p>ブラバシーマスクゾーンを選択します。</p>

章 2

はじめに

この章には以下のセクションが含まれています。

- [NVR の開梱、13 ページ](#)
- [外部デバイスの接続、13 ページ](#)
- [NVR の起動とシャットダウン、17 ページ](#)
- [デバイスの初期化、19 ページ](#)
- [デバイスウィザード、21 ページ](#)
- [パスワードの再設定、26 ページ](#)
- [ホームページ、28 ページ](#)
- [ブザーのミュート、28 ページ](#)
- [双方向トーク、29 ページ](#)

NVR の開梱

NVR をセットアップする前に、以下の品目を受け取っていることを確認してください。

- クイックインストールガイド
- クイック証明書インストールガイド
- マウス
- 電源アダプターおよびケーブル
- ターミナルブロックコネクタ（実際の製品が優先されるものとして）
- ネジ

上記の品目のいずれかが欠品または損傷している場合は、ハネウェル販売店に直ちにご連絡ください。

外部デバイスの接続

1. カメラを接続する

ネットワークケーブルをカメラから PoE ポート（NVR が PoE ポートをサポートしている必要がある）またはルーターに接続します。

注： ルーターを PoE ポートに直接接続することはできません。

2. モニターを接続する

VGA ケーブル（非付属品）を VGA インターフェイスに接続するか、HDMI ケーブル（非付属品）を HDMI インターフェイスに接続します（あるいは、その両方を行います）。もう一方のケーブル端をモニターに接続します（テレビを使用しないでください）。VGA と HDMI の同時出力がサポートされています。

3. マウスを接続する

付属の USB マウスを USB 2.0 インターフェイスに接続します。

4. イーサネットケーブルを接続する

付属の CAT5e イーサネットケーブルをネットワークポートに接続します。もう一方のケーブル端をネットワーク上のルーターに接続します。

5. オーディオデバイスを接続する（該当する場合）

オーディオを録音するには、オーディオソースを AUDIO IN コネクタに接続します。オーディオを再生するには、オーディオ出力デバイス（低インピーダンスヘッドホン、スピーカー、またはアンプ）を AUDIO OUT コネクタに接続します。

6. アラームデバイスを接続する（該当する場合）

アラームデバイスをアラーム入出力インターフェイスに接続します。アラーム入力が外部電源を使用する場合は、そのデバイスと NVR の接地は同じでなければなりません。

7. PTZ カメラを接続する（該当する場合）

組み込み型 NVR は、ネットワークを介して PTZ カメラと通信します。カメラがネットワークに正しく接続されていることを確認してください。

8. 電源ケーブルを接続する

付属の 12 V DC（モデルに応じて DC 12V(3A)/DC 52V/AC 220V。実際の製品を参照のこと）電源アダプターを電源入力に接続します。無停電電源（UPS）の使用を強く推奨します。

デバイスの接続

以下の図は、典型的な NVR 接続を示しています。

図 11 デバイスの接続 (HN351604xxR)

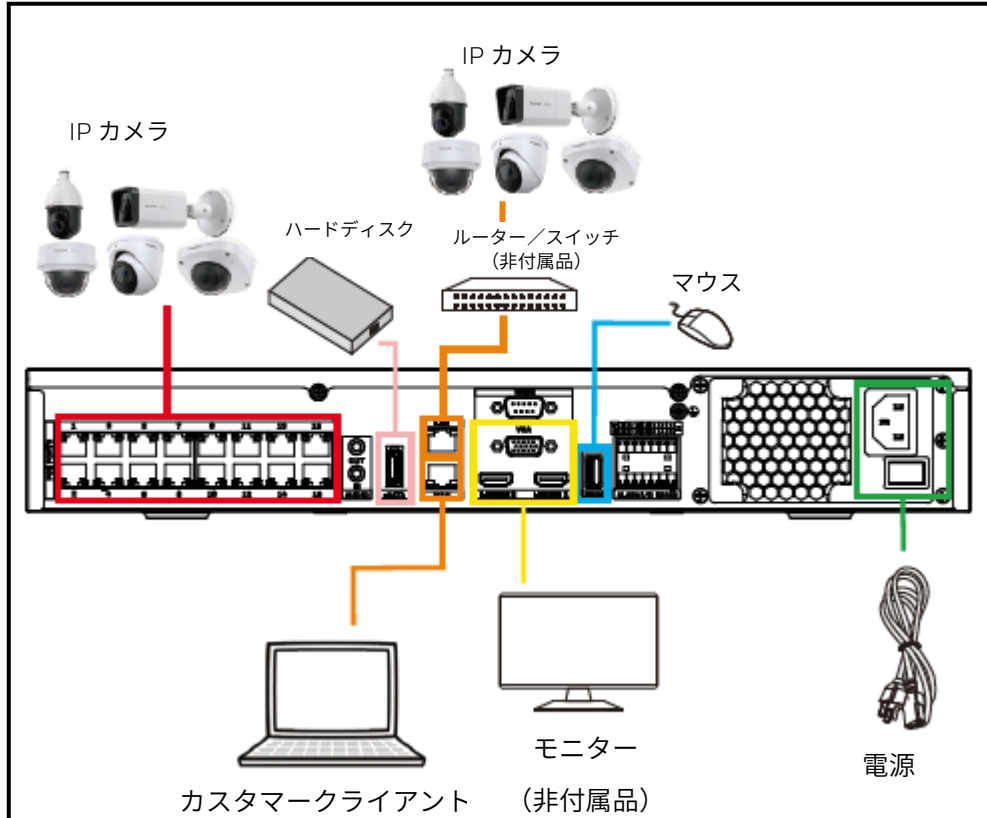


図 12 デバイスの接続 (HN353204xxNR)

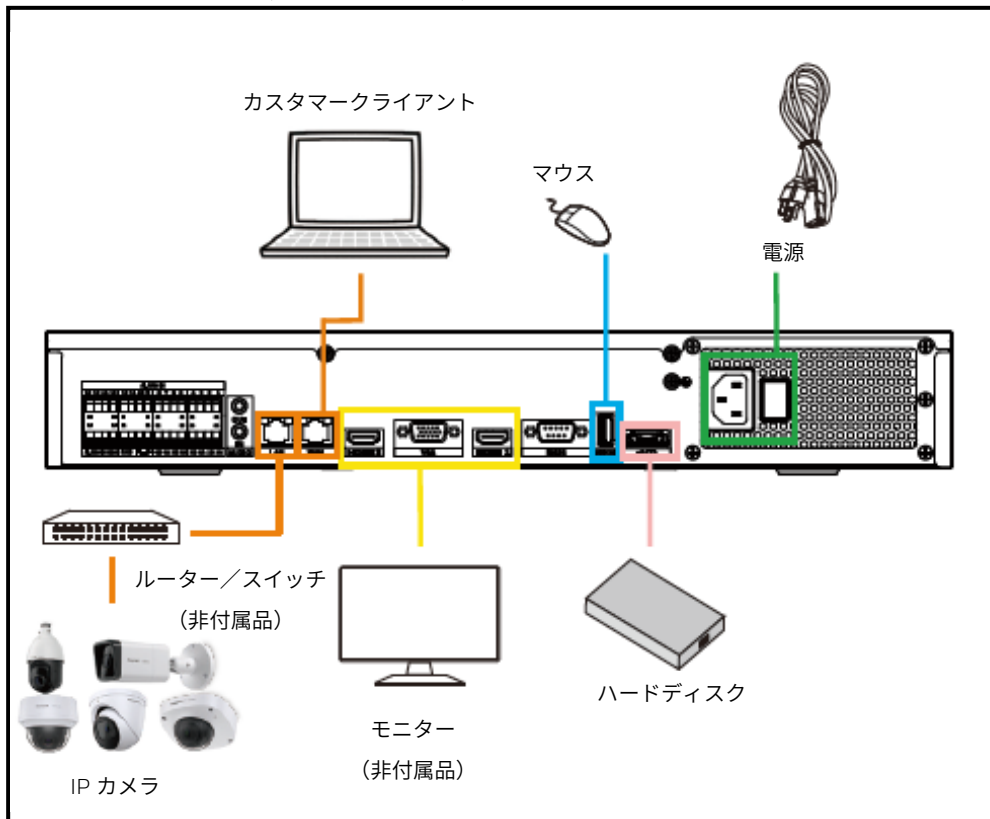


図 13 デバイスの接続 (HN353204xxNR)

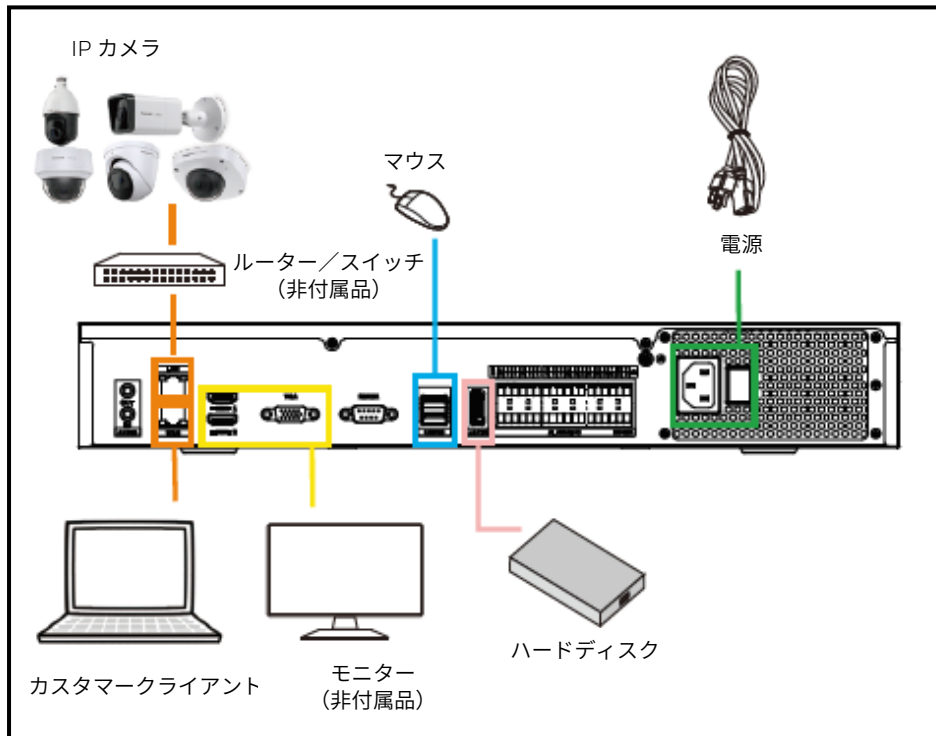


図 14 デバイスの接続 (HN356408xxNR/HN353208xxNR)

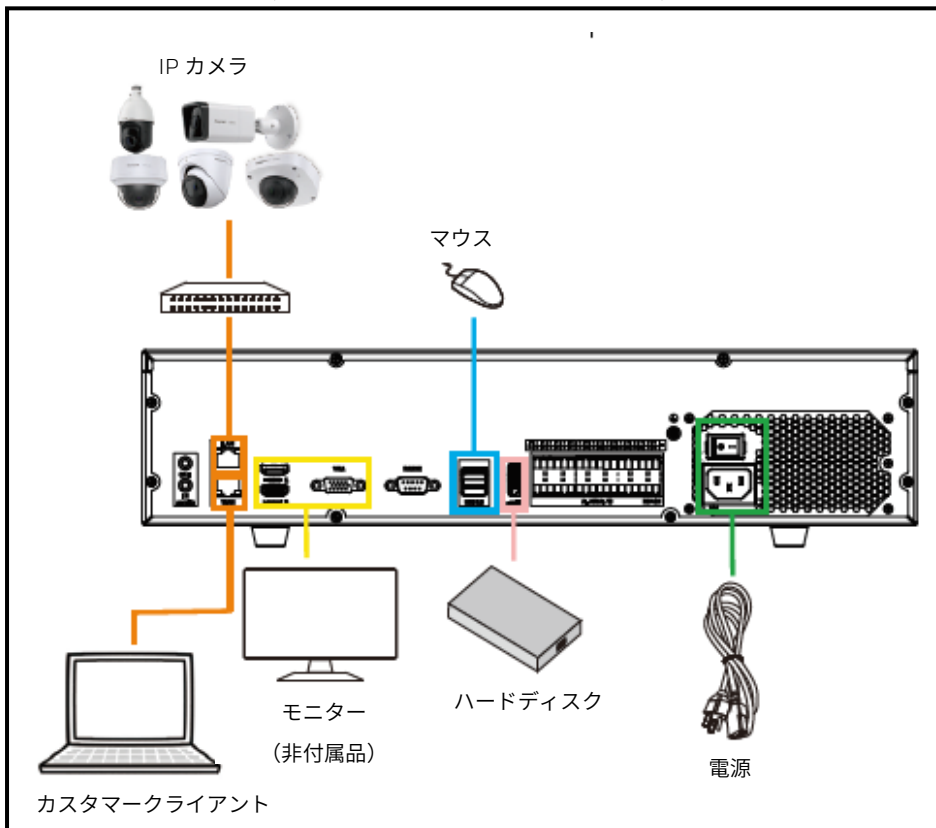
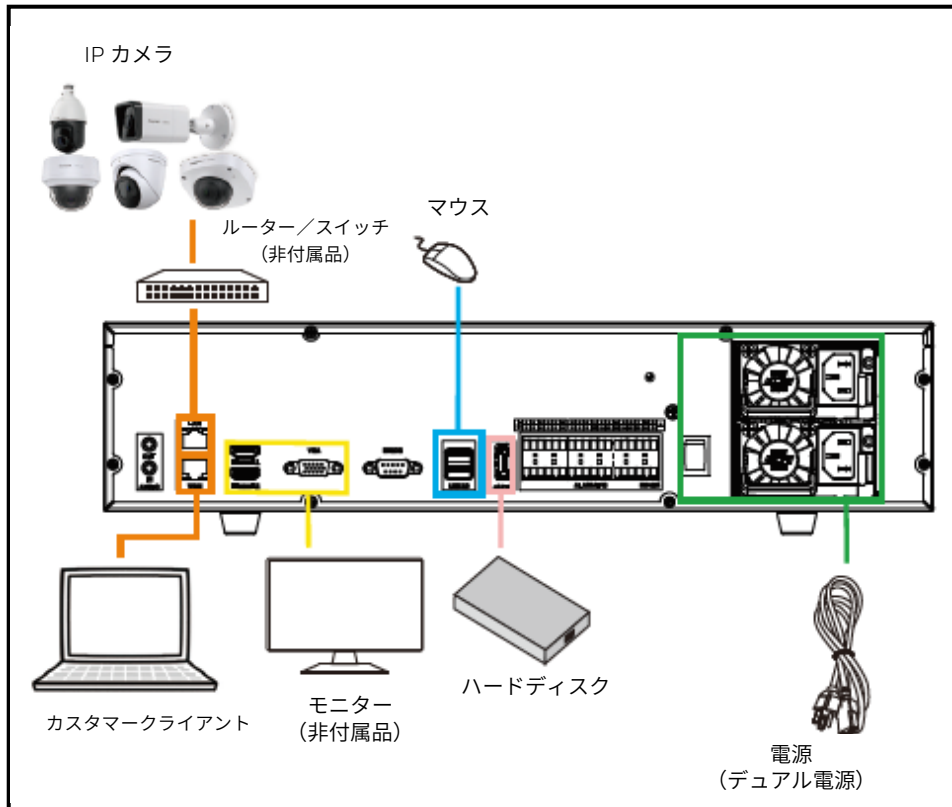


図 15 デバイスの接続 (HN356408xxDR)



NVR の起動とシャットダウン

NVR の起動

1. NVR が適切な電源に接続されていることを確認します。
2. リアパネルの電源スイッチをオンにして NVR を起動します。


注： 起動時にビープ音が鳴るのは正常です。

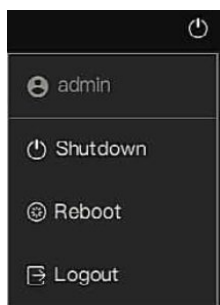
NVR のシャットダウン

注： NVR をシャットダウンするには、admin ユーザーとしてログインするか、シャットダウン権限が自分に割り当てられている必要があります。

ハードドライブの損傷を防止するには、以下の手順に従って NVR をシャットダウンします。

1. ライブビューモードで、画面上の任意の場所を右クリックして **Main Menu (メインメニュー)** を表示します。または、ライブビューページの下部にあるホームメニューアイコンをクリックして、**Main Menu (メインメニュー)** ページに入ります。
2. **Main Menu (メインメニュー) > System (システム) >**

Maintenance (メンテナンス) に移動して、Shutdown (シャットダウン) をクリックします。または、右上隅の  をクリックしてから、Shutdown (シャットダウン) をクリックします。



3. Shutdown (シャットダウン) ウィンドウで OK をクリックします。

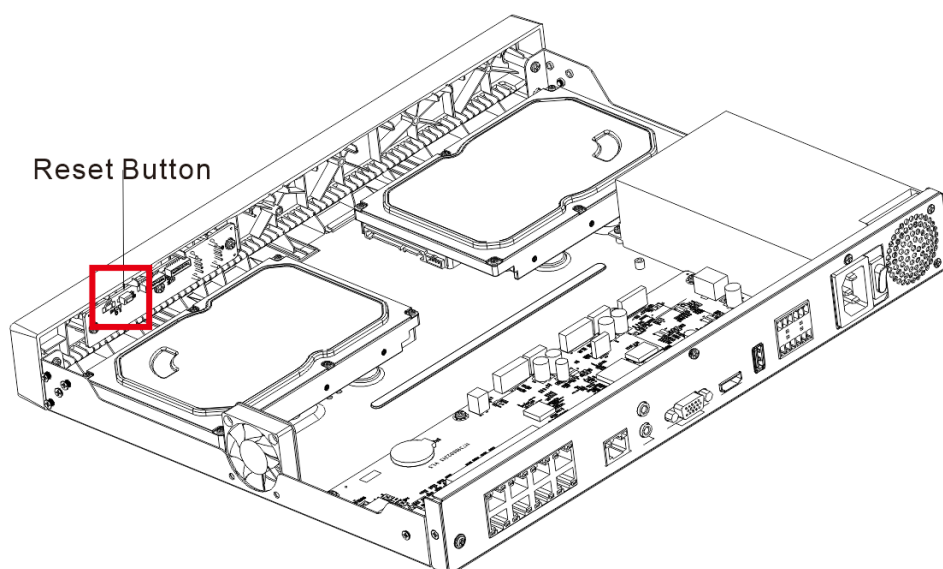
リセットボタン

ライト PCB ボード上のリセットボタンを使用すると、デバイスを工場出荷時のデフォルト設定にリセットすることができます。

1. デバイスを電源から切り離し、カバーパネルを取り外します。
2. ライト PCB ボード上のリセットボタンを見つけます。
3. デバイスを電源に接続し直して、リセットボタンを 5~10 秒押し続けます。

デバイスが自動的に再起動します。

図 16 リセットボタン



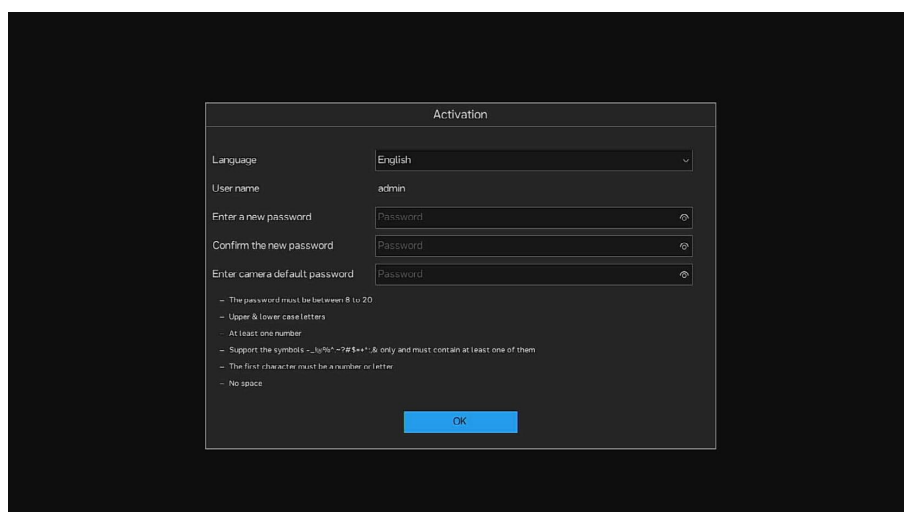
デバイスの再起動後は、設定が工場出荷時のデフォルトに戻されています。ユーザーは、パスワードの再設定を開始できます。

デバイスの初期化

- このデバイスを初めて使用する場合は、admin（システムデフォルトユーザー）のログインパスワードとチャンネルのデフォルトパスワードを設定します。必要であれば、アンロックパターンを使用してログインすることも選択できます。
- パスワードを復元するための質問を入力します。質問は数多くあり、尋ねる質問は3つ選択できます。
- デバイスの安全性のため、初期化手順後は admin のログインパスワードを適切に保存し、定期的に変更してください。

1. NVR をアクティブ化します。

図 17 デバイスのアクティブ化



The screenshot shows a dark-themed 'Activation' window. It contains the following fields and text:

- Language: English (dropdown menu)
- User name: admin
- Enter a new password: Password (text input)
- Confirm the new password: Password (text input)
- Enter camera default password: Password (text input)

Below the password fields, there is a list of requirements:

- The password must be between 8 to 20
- Upper & lower case letters
- At least one number
- Support the symbols - _ ! % ^ * ? # + = ; & only and must contain at least one of them
- The first character must be a number or letter
- No space

An 'OK' button is located at the bottom center of the window.

2. 質問に答えてパスワードを復元します。パスワードを忘れてしまった場合は、設定した質問に答えて、パスワード再設定ページに入ります。

質問を設定したくない場合は、その手順をスキップできますが、ログインウィンドウには **Forget password（パスワードを忘れる）** ボタンが表示されなくなります。ハネウェルは、パスワードを忘れた場合に備えて質問を設定しておくことを推奨しています。

注：

図 18 Question (Recovery the Password) (質問 (パスワードの復元))

Question (Recovery The Password)

Question one: What was your childhood nickname?

Question one answer: [Input field]

Question two: In what city or town was your first job?

Question two answer: [Input field]

Question three: What is your best friend's birthday month and year?

Question three answer: [Input field]

- Please enter at least 1 characters for the answer
- Please enter up to 32 characters for the answer

SKIP THIS STEP OK

3. Unlock Pattern (アンロックパターン) を設定します。

図 19 アンロックパターンの設定

Unlock Pattern

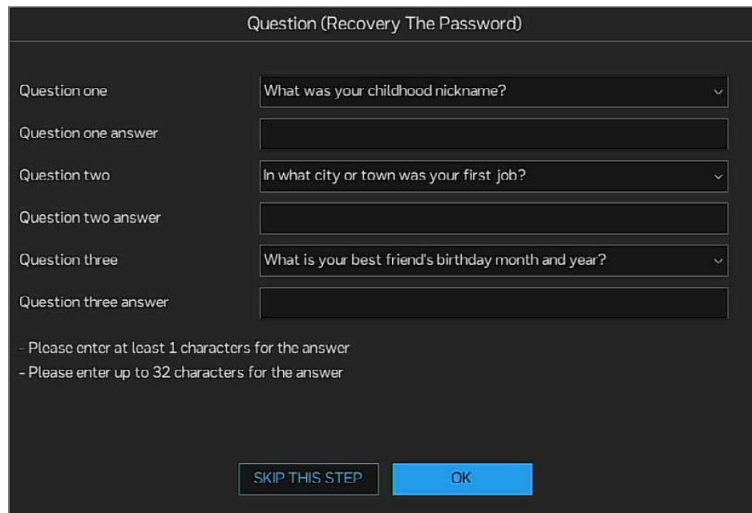
Please draw a pattern

REDRAW SKIP THIS STEP OK

Question (Recovery Password) (質問 (パスワードの復元)) を設定すると、Unlock Pattern (アンロックパターン) インターフェイスが表示されます。

- アンロックパターンを設定したくない場合は、SKIP THIS STEP (このステップをスキップする) をクリックします。
- アンロックパターンを設定すると、システムはアンロックパターンをデフォルトのログイン方法として要求します。アンロックパターンには少なくとも5つのポイントが必要です。この設定をスキップする場合は、ログイン用のパスワードを入力します。

図 20 パスワードの復元

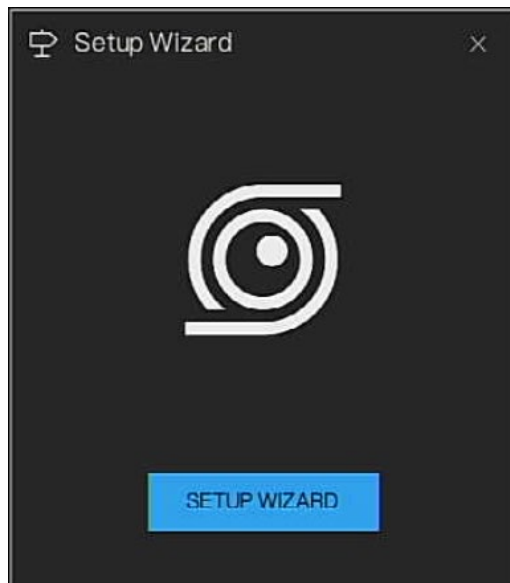


3つの質問に正しく答えると、パスワード再設定ウィンドウに入ることができます。

デバイスウィザード

デバイスを初期化すると、**Setup Wizard (セットアップウィザード)**が開きます。

図 21 Setup Wizard (セットアップウィザード)



このウィザードでは、以下を行うことができます。

- ネットワーク設定を構成する
- 日付と時刻、タイムゾーン、DSTを設定する
- P2Pを設定する
- IPカメラを検索および追加する
- ディスクマネージャーを設定する

- 解像度を設定する
1. **Setup Wizard (セットアップウィザード)** ウィンドウで **SETUP WIZARD (セットアップウィザード)** をクリックします。**Network (ネットワーク)** ページで、実際の環境に従って **Network (ネットワーク)** を設定してから、**Next (次へ)** をクリックします。
 - デバイスに WAN ポートと LAN ポートがある場合は、両方のポートを **Setup Wizard (セットアップウィザード)** ウィンドウで設定できます。

図 22 ネットワーク --WAN

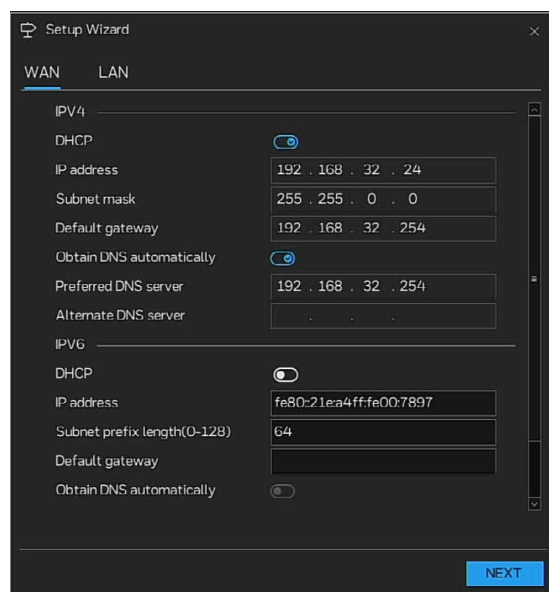
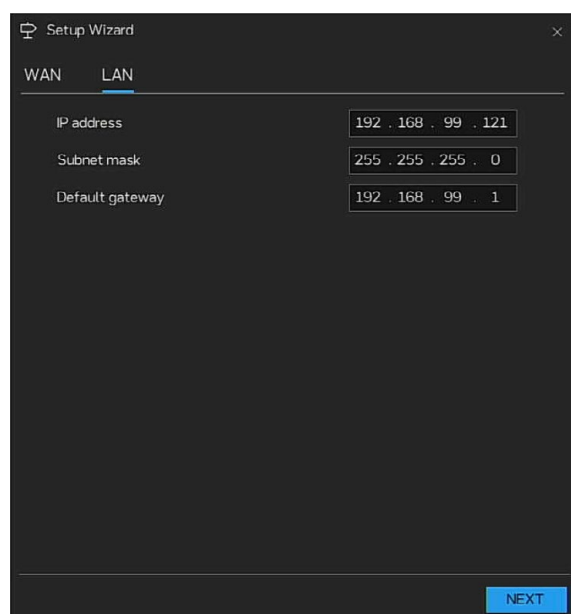


図 23 ネットワーク --LAN



2. 実際の環境に従って **Date and Time (日付と時刻)**、**Time Zone (タイムゾーン)**、**DST** を設定してから、**Next (次へ)** をクリックします。

図 24 Setup Wizard (セットアップウィザード) – Date and Time (日付と時刻)

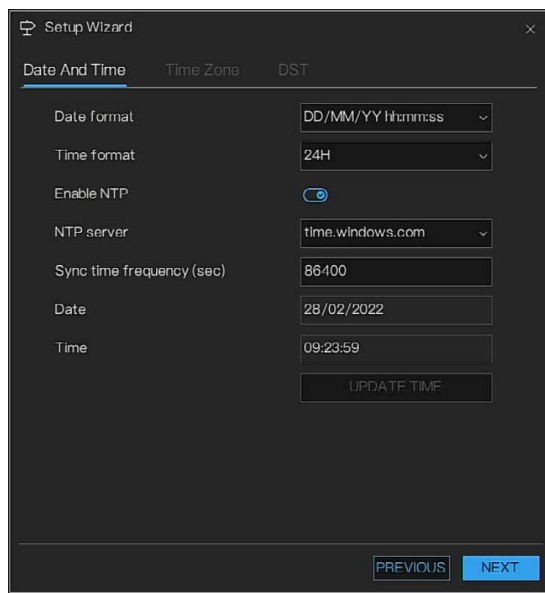


図 25 Setup Wizard (セットアップウィザード) – Time Zone (タイムゾーン)

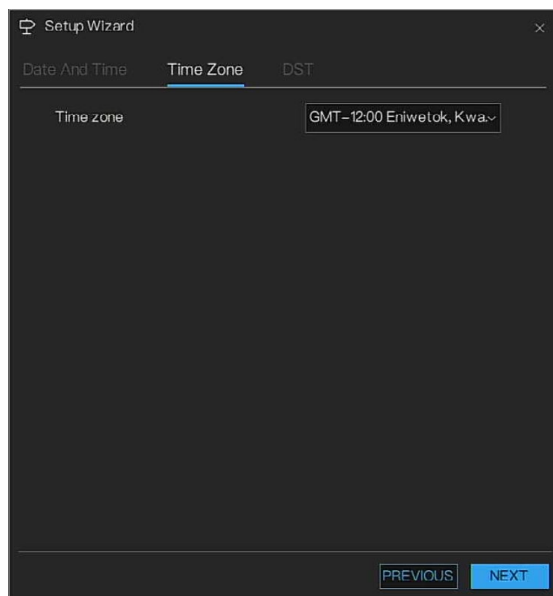
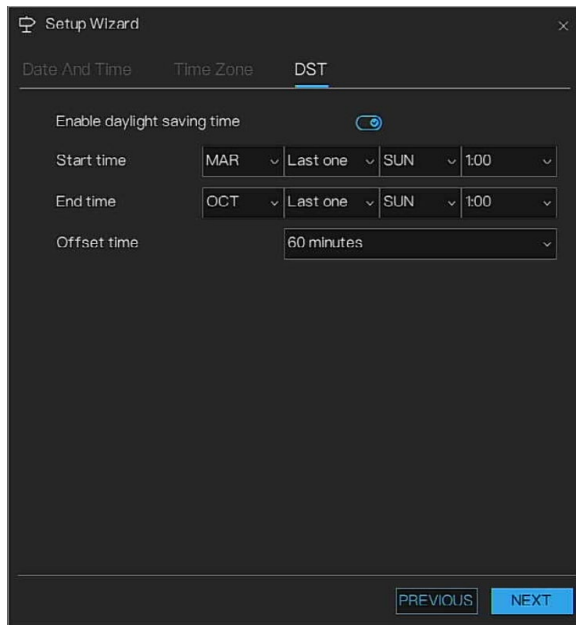
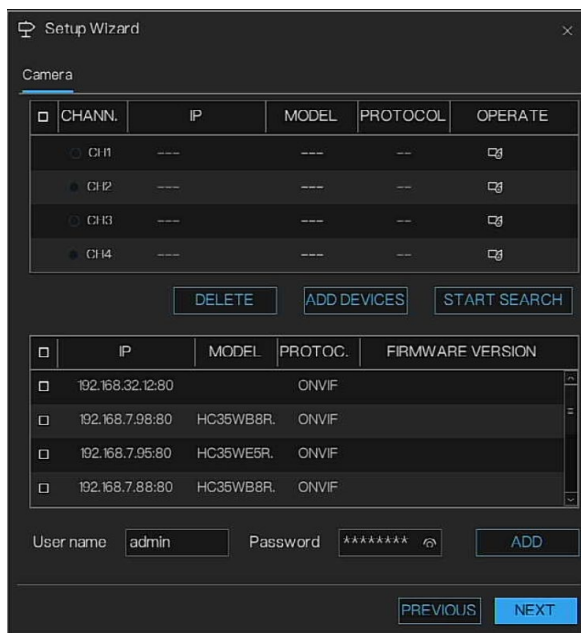


図 26 Setup Wizard (セットアップウィザード) – DST



3. Camera (カメラ) 情報を設定します。

図 27 Setup Wizard (セットアップウィザード) – Camera (カメラ)

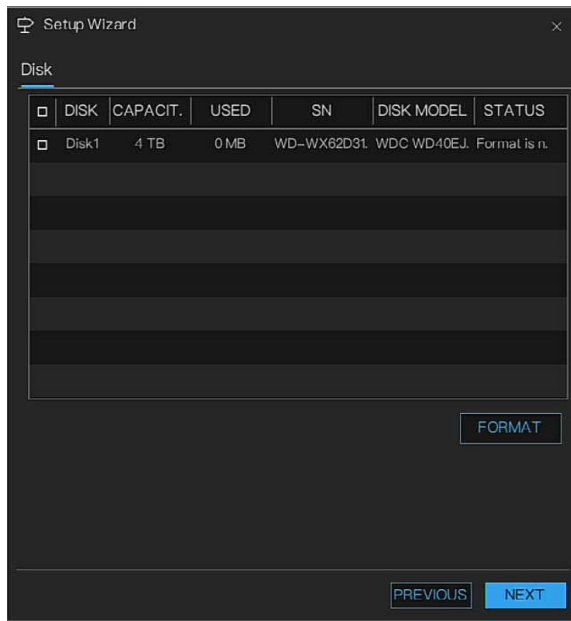


カメラがプラグアンドプレイで NVR に接続されている場合は、NEXT (次へ) を直接クリックします。

または、START SEARCH (検索開始) をクリックして、カメラを検索します。検索したカメラを選択し、ユーザー名とパスワードを入力してカメラを追加します。TLS モードを設定します。NEXT (次へ) をクリックします。

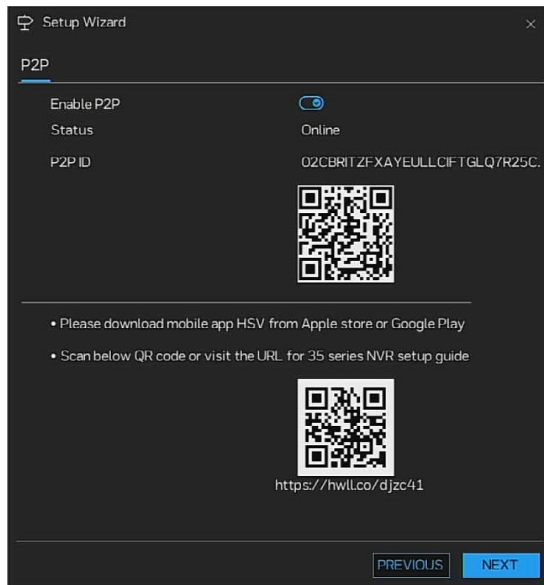
4. ディスクをフォーマットします。

図 28 Setup Wizard (セットアップウィザード) – Disk (ディスク)



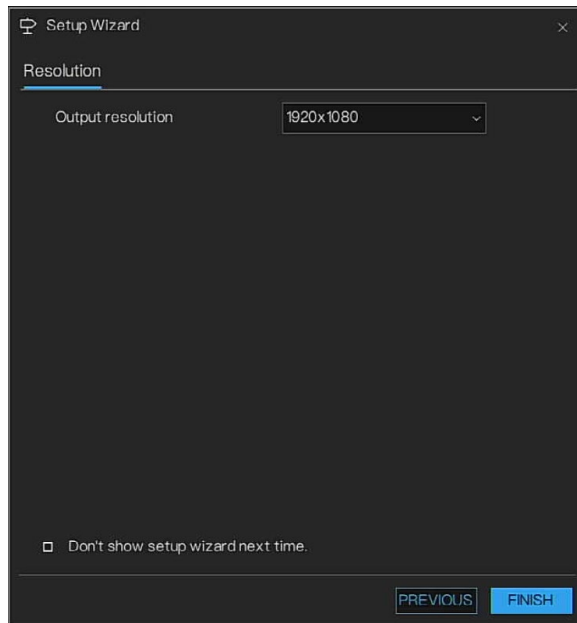
5. **NEXT (次へ)** をクリックして、P2P 情報を表示します。NVR がオンラインの場合は、P2P ID のスキャンによって NVR を HSV に追加できます。

図 29 Setup Wizard (セットアップウィザード) – P2P



6. **NEXT (次へ)** をクリックします。**Resolution (解像度)** を設定します。

図 30 Setup Wizard (セットアップウィザード) – Resolution (解像度)



注： ユーザーがNVR をオンにしてライブビューインターフェイスに直接入る場合は、**Don't show setup wizard next time (次回はセットアップウィザードを表示しない)** のチェックボックスをチェックしてください。

7. **FINISH (完了)** をクリックして設定を保存します。

パスワードの再設定

admin パスワードを忘れた場合は、セキュリティ質問に答えることによってパスワードを再設定できます。

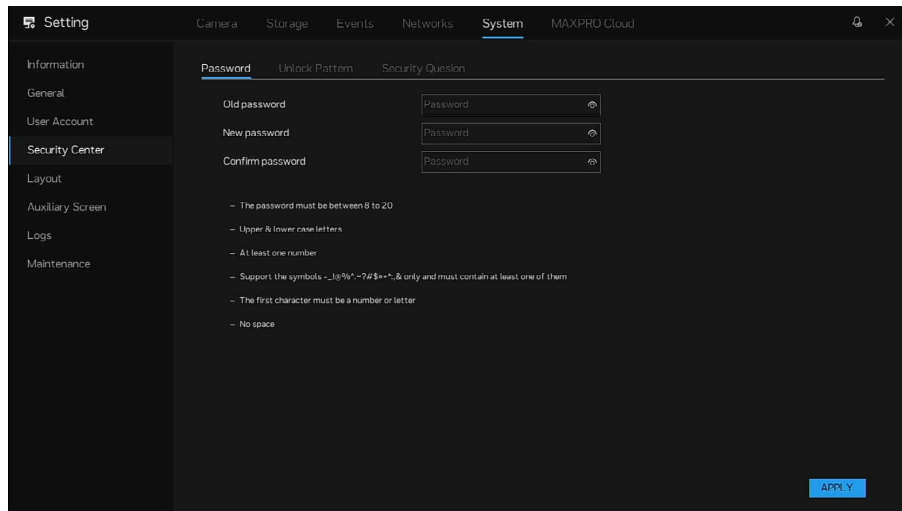
注： セキュリティ質問に答えてパスワードを再設定するには、このパスワード再設定機能をあらかじめ設定しておく必要があります。[デバイスの初期化](#)または[セキュリティ質問](#)を参照してください。

パスワード再設定機能の有効化

1. **Main Menu (メインメニュー) > System (システム) > Security Center (セキュリティセンター) > Password (パスワード)** に移動します。

パスワード再設定インターフェイスが表示されます。

図 31 パスワードの再設定



2. 古いパスワードを入力し、新しいパスワードを作成して確認します。
3. **APPLY (適用)** をクリックして設定を確定します。

ローカルインターフェイスでのパスワードの再設定

1. **Login (ログイン)** インターフェイスに入ります。
 - アンロックパターンを設定した場合は、アンロックパターンログインインターフェイスが表示されます。**Password (パスワード)** をクリックすると、パスワードログインインターフェイスが表示されます。
 - アンロックパターンを設定していない場合は、パスワードログインインターフェイスが表示されます。
2. **Forgot Password (パスワードを忘れた)** をクリックします。ページ上の指示に従ってパラメーターを設定します。

図 32 パスワード再設定 1

3. 新しいパスワードを設定します。

New Password (新しいパスワード) ボックスで新しいパスワードを入力し、そのパスワードを **Confirm Password (パスワードの確認)** ボックスに再入力します。

図 33 パスワード再設定 2

Modify password

New password Password

Confirm password Password

Modify password

- The password must be between 8 to 20
- Upper & lower case letters
- At least one number
- Support the symbols _!@%^&*~?#\$%+&, and only and must contain at least one of them
- The first character must be a number or letter
- No space

4. **Modify password (パスワードの変更)** をクリックします。パスワードの再設定が完了します。

ホームページ


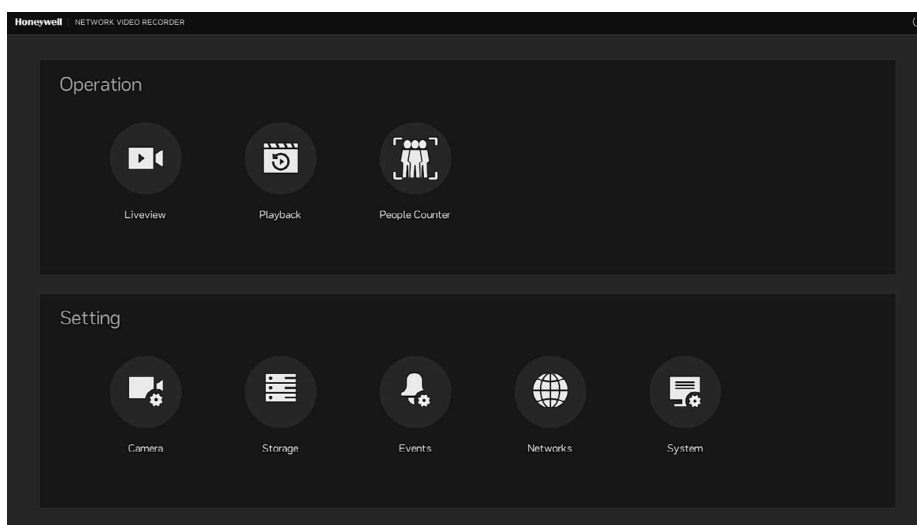

ライブページで、 をクリックしてホームページに入るか、右クリックしてホームページに直接入ります。

図 34 ホームページ (人数カウンター付き)



ブザーのミュート

Setting (設定) インターフェイスで  をクリックすると、ブザーの動作時に迅速にブザーをミュートすることができます。



双方向トーク

デバイスエンドから IPC へ

デバイスのリアパネルにある最初のオーディオ入力ポートにスピーカーまたはピックアップを接続してください。その後、イヤホンまたはサウンドボックスを IPC のオーディオ出力ポートに接続します。

ライブビデオを左クリックすると、クイックメニューが表示されます。

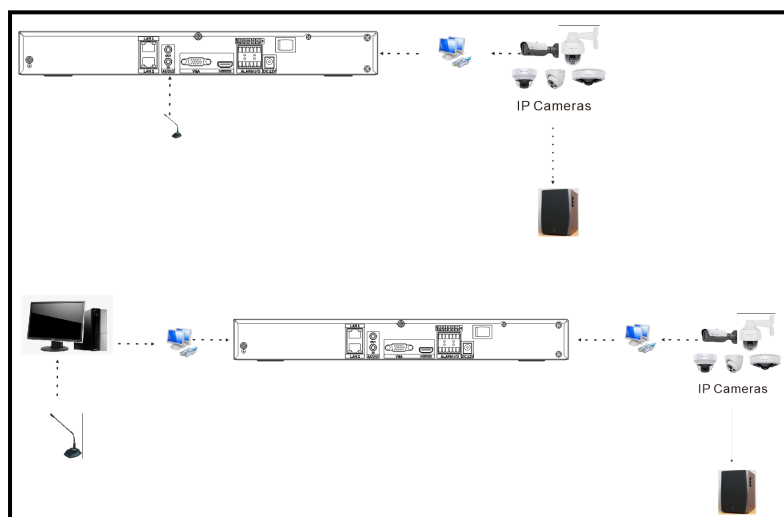
図 35 双方向トークの有効化



以下のインターフェイスを参照して双方向トークを有効にしてください。

デバイスエンドでは、スピーカーまたはピックアップで発話します。その後、ユーザーは IPC エンドでイヤホンまたはサウンドボックスからオーディオを得ることができます。

図 36 デバイスから IPC へ



IPC エンドからデバイスエンドへ

デバイスの接続

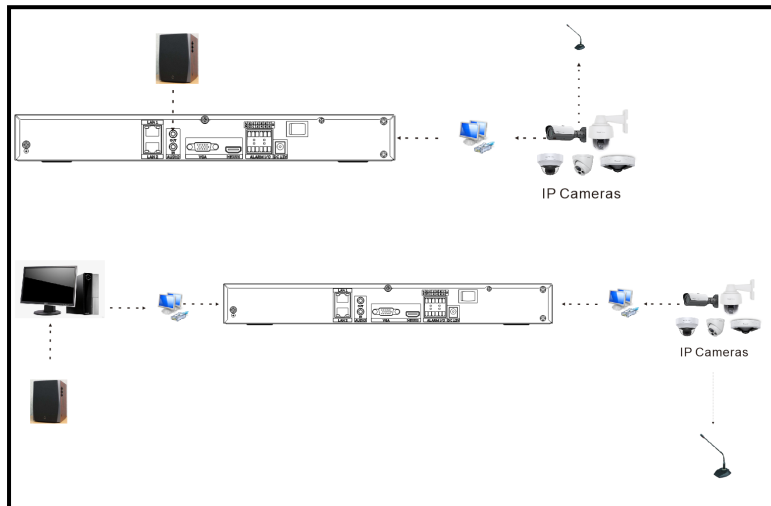
スピーカーまたはピックアップを IPC のオーディオ出力ポートに接続してから、イヤホンまたはサウンドボックスをデバイスのリアパネルにある最初のオーディオ入力ポートに接続します。

ウェブにログインして、対応するチャンネルのリアルタイムモニターを有効にします。

リスニング操作

IPC エンドでは、スピーカーまたはピックアップで発話します。その後、ユーザーはデバイスエンドでイヤホンまたはサウンドボックスからオーディオを得ることができます。

図 37 IPC からデバイスへ



章 3

ローカル基本操作

注： ユーザーインターフェイスには多少の違いが見られる場合があります。以下の図は参考用にすぎません。

この章には以下のセクションが含まれています。

- [カメラの設定](#)、31 ページ
- [ストレージ設定の構成](#)、ページ 41
- [イベント設定の構成](#)、52 ページ
- [ネットワーク設定の構成](#)、70 ページ
- [システム設定の構成](#)、87 ページ
- [ライブビュー設定の構成](#)、105 ページ
- [プレイバック](#)、112 ページ
- [人数カウンターの構成](#)、117 ページ

カメラの設定

カメラ

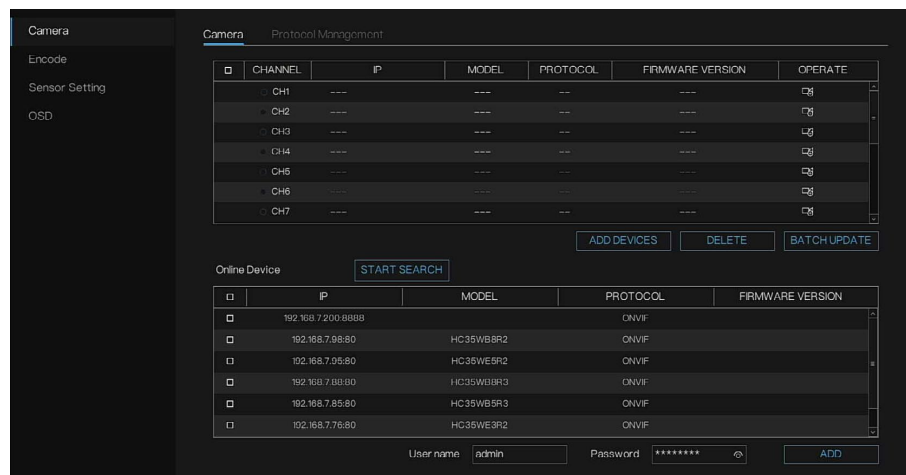
カメラの追加

カメラを PoE ポート経由で NVR に接続すると、NVR は自動的にカメラを初期化します。NVR は、新しいカメラの新規パスワードを有効化および作成できます。そのパスワードは、作成されたチャンネルパスワードと同じです（図 17 「デバイスのアクティブ化」）。[図 17 デバイスのアクティブ化](#)

リモートデバイスを NVR に追加すると、ビデオを NVR 上で表示し、ビデオファイルの管理と保存を行うことができます。異なるシリーズの製品は、サポートしているリモートデバイス数がそれぞれ異なります。

1. **Main Menu (メインメニュー) > Camera (カメラ) > Camera (カメラ)** に移動します。

図 38 カメラの追加



2. カメラを追加します。

- a. **START SEARCH (検索開始)** をクリックします。

見つかったデバイスは上部ペインに表示されます。すでに追加されているデバイスは、検索結果には表示されません。

- b. デバイスを選択し、**ADD Devices (デバイスの追加)** をクリックして、カメラをオンラインデバイスリストに直接登録します。

ポップアップウィンドウで、**YES/NO (はい/いいえ)** を選択して、追加するデバイスに TLS 接続を使用するかどうかを設定します。TLS 接続を使用する場合は、全チャンネルの合計ビットレートが 40M 未満でなければなりません。合計ビットレートが 40M を超える場合、システムは「**TLS bitrate exceeded (TLS ビットレートの超過)**」を注意喚起します。その場合は、ポップアップウィンドウで **NO (いいえ)** を選択して TLS を未使用にする必要があります。

- 注：**
- 追加するカメラの数は、NVR のキャプティビティに適合する必要があります。カメラがそのキャプティビティを超えると、チャンネルは追加されません。
 - 暗号化接続は、40 Mbps までサポートできます。暗号化接続が 40 Mbps に達した場合、非暗号化接続は 40 Mbps までしかサポートできません。
 - 30/60 シリーズの IP カメラは、PoE ポートに直接接続できません。ユーザーは IP カメラのウェブインターフェイスでパスワードを設定する必要があります。そのパスワードは NVR のチャンネルパスワードと同じでなければなりません。
 - 追加した PoE カメラは、NVR UI インターフェイスでは手動で削除できません。PoE ネットワークケーブルを抜くと削除できます。
 - **Network (ネットワーク) > Failover (フェイルオーバー)** インターフェイスでは、冗長モードが設定され、カメラ管理、レコードスケジュールおよびストレージモードモジュールは無効になります。

手動でデバイスを追加

- a. **Channel (チャンネル)** リストで  をクリックします。

Manually Add Devices (手動でデバイスを追加) インターフェイスが表示されます。

図 39 Manually Add Devices (手動でデバイスを追加)

CHANNEL	IP	PROTOCOL
CH1	192.168.9.111:80	ONVIF
CH2	192.168.9.110:80	ONVIF
CH3	192.168.9.108:80	ONVIF

Channel: 9

IP address: [Empty]

Protocol: ONVIF

Port: 0

User name: User name

Password: Password

Enable TLS: Unselected

Enable metadata:

RESET CANCEL OK

b. パラメーターを設定します。

表 13 リモートチャンネルパラメーター



パラメーター	説明
Channel (チャンネル)	-
IP address (IP アドレス)	IP address (IP アドレス) ボックスにリモートデバイスの IP アドレスを入力します。 ユーザーは、追加したチャンネルをクリックしてチャンネル情報をコピーしてから、リモートチャンネルなどの情報を変更できます。
Protocol (プロトコル)	ONVIF /RTSP1-16


パラメーター	説明
RTSP Port (RTSP ポート)	デフォルトの設定値は 554 です。実際の状況に従って値を選択できます。
HTTP Port (HTTP ポート)	デフォルトの設定値は 80 です。実際の状況に従って値を入力できます。 他の値、たとえば 70 を入力した場合は、ブラウザでデバイスにログインするときに IP アドレスの後に 70 を入力する必要があります。
User name (ユーザー名)	リモートデバイスのユーザー名を入力します。
Password (パスワード)	リモートデバイスのユーザーのパスワードを入力します。
Remote CH No. (リモートチャンネル番号)	追加するリモートデバイスのリモートチャンネル番号を入力します。
Enable TLS (TLS を有効にする)	ONVIF プロトコルを通じてリモートデバイスを追加する場合、TLS を有効にすると、送信されるデータが暗号化保護されます。 YES (はい) を選択すると、ポートは 443 になり、 NO (いいえ) を選択すると、ポートは 80 になります。 この機能を使用するには、HTTPS 機能をリモート IP カメラに対して有効にする必要があります。
Enable metadata (メタデータを有効にする)	デバイスがハネウェルのプラットフォームに接続されている場合は、この機能が使用されます。チャンネルカメラが有効な場合、ライブビデオにはキャプチャーしている人面ボックスが表示されます。

注： ドロップダウンリストからプロトコルを選択してください。プロトコルは、プロトコル管理インターフェイスで設定されます。カメラは、そのプロトコルに対して確認される必要があります。

c. **OK** をクリックします。

リモートデバイス情報が **Added Device (追加されたデバイス)** リストに表示されます。

 をクリックすると、リモートデバイス情報を変更できます。リモートデバイスを削除するには、 をクリックします。

チャンネルウィンドウで  をクリックして、ライブビューインターフェイスにカメラを追加することもできます。

UI ローカル更新

接続されたネットワークカメラのファームウェアをアップグレードすることができます。


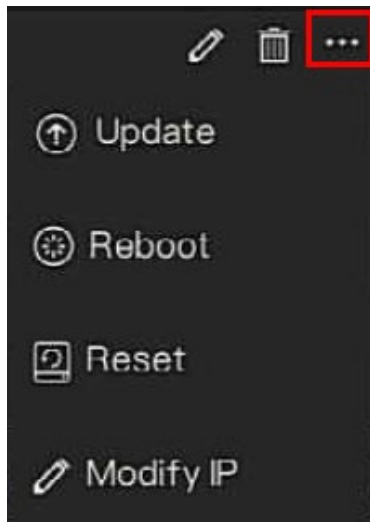
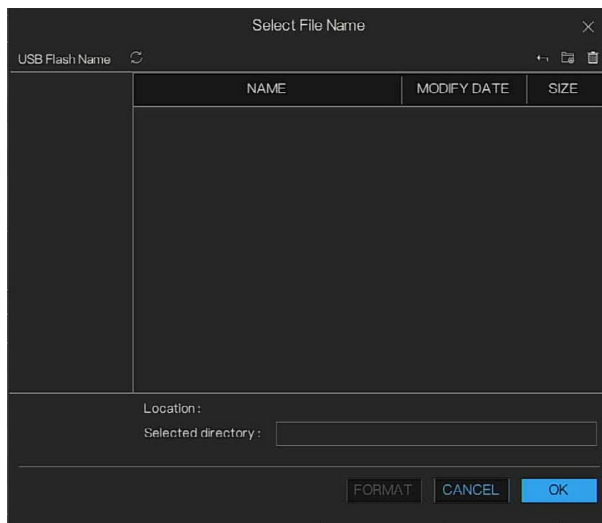
1. カメラのファームウェアが保存されている USB ディスクを接続します。
2. **Main Menu (メインメニュー) > Camera (カメラ) > Camera (カメラ)** に移動します。カメラがオンラインのときに、 をクリックします。

図 40 Update (更新) インターフェイス



3. 接続されているカメラのファームウェアを更新します。
 - a. ポップアップインターフェイスで更新ファイルを選択します。

図 41 ファイルの選択




- b. 更新ファイルを選択して、OK をクリックします。

操作に成功すると、更新成功ダイアログボックスが表示されます。

同一モデルのカメラが多すぎる場合は、必要に応じてカメラを選択し、**BATCH UPDATE (バッチ更新)** をクリックします。ポップアップインターフェイスでファームウェアファイルを選択します。

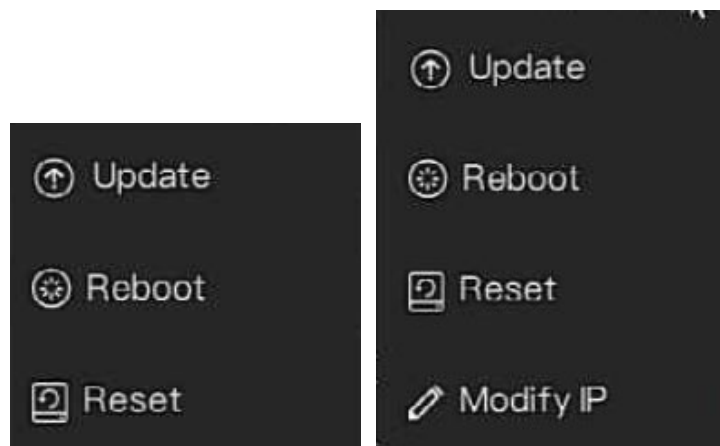
カメラをリモートで更新する場合は、NVR にウェブからアクセスできるのであれば、リモートポートでカメラを更新できます。

非 PoE ポートによって NVR に接続されているカメラの場合は、チャンネルリストでカメラを選択し、**DELETE (削除)** をクリックしてカメラを一括削除します。または、 をクリックして、選択したカメラを削除します。NVR の PoE ポートによって追加されたカメラは、ここでは削除できません。

オンラインチャネルの操作

1. **Main Menu (メインメニュー) > Camera (カメラ) > Camera (カメラ)** に移動します。カメラがオンラインのときに、**...** をクリックします。
2. **Update (更新) /Reboot (再起動) /Reset (リセット)** をクリックして、カメラを設定します。リモートネットワークで追加されたカメラの場合は、**Modify IP (IP の変更)** をクリックして IP 情報を設定できます。

図 42 オンラインチャネルの操作



- **Update (更新)** をクリックして、カメラ情報を更新します。
- **Reboot (再起動)** をクリックします。「Are you sure reboot (本当に再起動しますか)」ポップアップウィンドウで、**OK** をクリックしてカメラを再起動します。
- **Reset (リセット)** をクリックします。**Reserve IP address (IP アドレスを予約する)** を有効または無効にします。**OK** をクリックして、カメラを再起動します。
- **Modify IP (IP の変更)** をクリックします。IP アドレスとサブネットマスクを入力して、**OK** をクリックします。

プロトコル管理

ユーザーが異なるプロトコルのカメラを NVR に追加したい場合は、プロトコル管理を設定し、カメラを 1 つずつ追加できます。

1. **Main Menu (メインメニュー) > Camera (カメラ) > Camera (カメラ) > Protocol Management (プロトコル管理)** に移動します。**Protocol Management (プロトコル管理)** インターフェイスが表示されます。

図 43 Protocol Management (プロトコル管理)

2. カスタムプロトコルをドロップダウンリストから選択します。
3. プロトコル名を入力します。
4. メインストリームとサブストリームを選択します。メインストリームは、全画面ライブビデオで画像を表示します。サブストリームは、分割画面で画像を表示します。メインストリームのみを選択した場合、チャンネルは分割画面で画像を表示しません。
5. プロトコルのタイプを選択します。デフォルト値は RTSP です。IP カメラに依存するポートを入力します。
6. パスを入力します。パスは、カメラのメーカーによって異なります。
7. **APPLY (適用)** をクリックして、設定を保存します。

エンコード

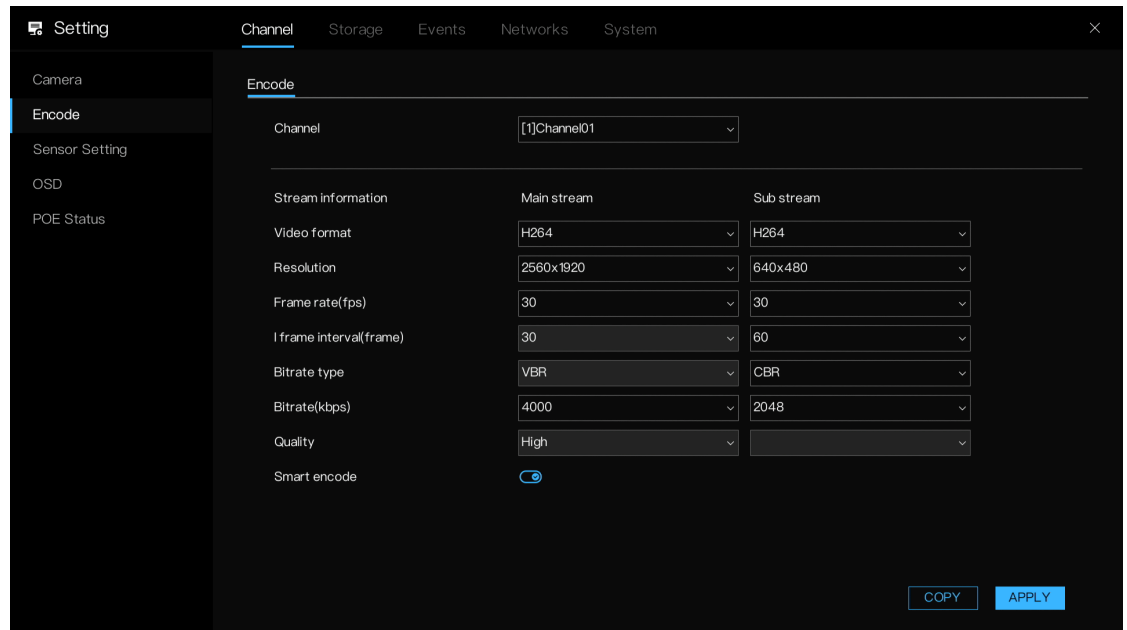
フォーマット、解像度、フレームレート (fps) などのビデオビットストリームパラメーターを設定できます。

注： どのモデルも 2 つのストリーム (メインストリームとサブストリーム) をサポートしています。サブストリームは、最大で D1 をサポートしません。

1. **Main Menu (メインメニュー) > Camera (カメラ) > Encode (エンコード)** に移動します。

Encode (エンコード) インターフェイスが表示されます。

図 44 Encode (エンコード)



2. パラメーターを設定します。

注： **Video format (ビデオフォーマット)** と **Resolution (解像度)** を変更する場合は、約 10 秒間、デバイスを再びオンラインにする必要があります。この期間中に他の操作を行うと、パラメーターの取得に失敗する可能性があります。

表 14 オーディオ/ビデオパラメーター

パラメーター	説明
Channel (チャンネル)	Channel (チャンネル) リストで、設定を構成するチャンネルを選択します。
Smart encode (スマートエンコード)	重要でない録画ビデオのビデオビットストリームを削減してストレージスペースを最大化するには、スマートエンコード機能を有効にします。一部のモデルでは、スマートエンコードをサブストリーム用に設定できません。
Video format (ビデオフォーマット)	Compression (圧縮) リストで、エンコードモードを選択します。 H.265：メインプロファイルエンコーディング。この設定を推奨します。 H.264：メインプロファイルエンコーディング。
Resolution (解像度)	Resolution (解像度) リストで、ビデオの解像度を選択します。 最大ビデオ解像度は、デバイスモデルによって異なる場合があります。
Frame rate (fps) (フレームレート (fps))	ビデオの 1 秒当たりのフレーム数を設定します。値を大きくすると、画像はより明瞭かつ滑らかになります。フレームレートは、解像度と共に変化します。 一般的に、PAL フォーマットでは 1~25 の値を選択でき、NTSC フォーマットでは 1~30 の値を選択できます。ただし、選択できる実際のフレームレート範囲は、デバイスの性能によって決まります。 NVR は最大 30 fps をサポートしています。追加するカメラの性能が 30 fps を超えている場合、NVR はそれらを 30 fps に低下させます。
I frame interval(frame) (I フレーム間隔 (フレーム))	2 つの基準フレームの間隔。

パラメーター	説明
Bitrate type (ビットレートタイプ)	Bit Rate Type (ビットレートタイプ) リストで、 CBR (固定ビットレート) または VBR (可変ビットレート) を選択します。 CBR を選択した場合は、画像品質を設定できません。 VBR を選択した場合は、画像品質を設定できます。
Bitrate(kbps) (ビットレート (kbps))	ビットレートの最大値を示します。ドロップダウンリストの最大値を超えない値を入力できます。それ以外の値を入力すると、その値は無効になります。または、ドロップダウンリストから値を選択できます。
Quality (品質)	この機能は、 Bit Rate (ビットレート) リストで VBR を選択した場合に使用できます。 値を大きくすると、画像の品質が向上します。

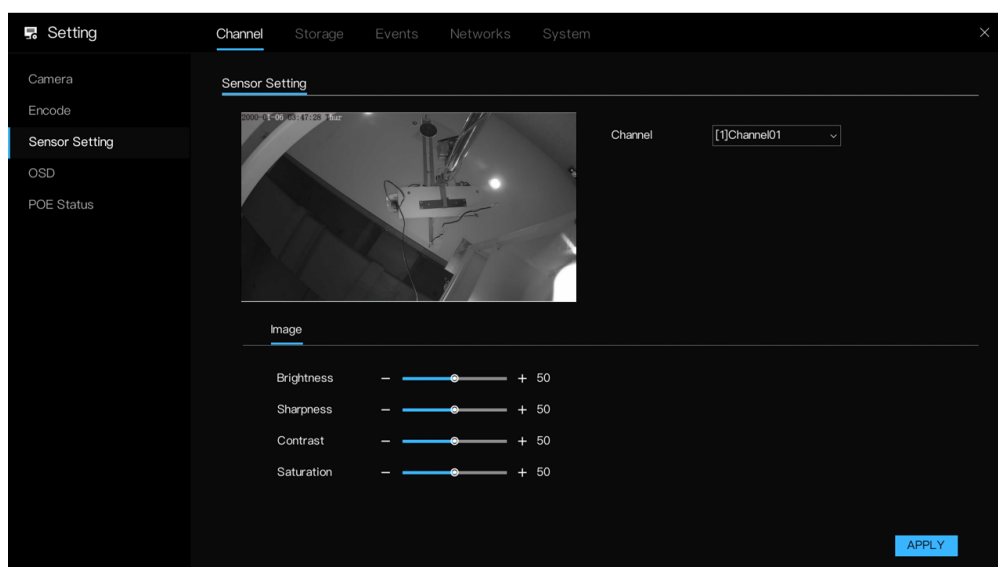
3. **APPLY (適用)** をクリックして、設定を完了します。

センサー設定

1. **Main Menu (メインメニュー) > Camera (カメラ) > Sensor Setting (センサー設定)** に移動します。

Sensor Setting (センサー設定) インターフェイスが表示されます。

図 45 画像



2. パラメーターを設定します。

注： 異なるシリーズのネットワークカメラでは、異なるパラメーターが表示されます。実際の製品が優先されるものとします。

表 15 画像パラメーター

パラメーター	説明
Channel (チャンネル)	Channel (チャンネル) リストで、設定するチャンネルを選択します。
Brightness (ブライトネス)	実際の環境に従ってブライトネスを調整します。
Sharpness (シャープネス)	実際の環境に従ってシャープネスを調整します。

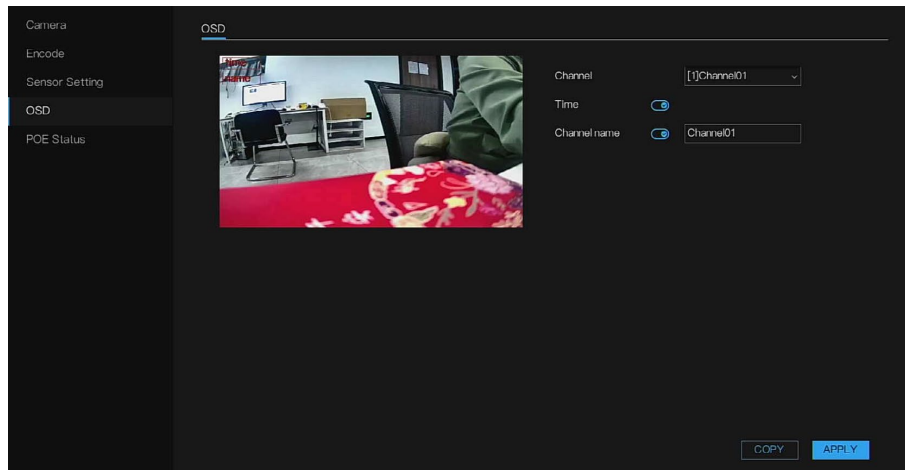
パラメーター	説明
Contrast (コントラスト)	実際の環境に従ってコントラストを調整します。
Saturation (彩度)	色合いを調整します。値を大きくすると、色は明るくなります。実際の環境に従って彩度を調整します。

OSD

3. **APPLY (適用)** をクリックします。

1. Main Menu (メインメニュー) > Camera (カメラ) > OSD に移動します。OSD インターフェイスが表示されます。

図 46 OSD



2. Channel (チャンネル) リストで、チャンネルを選択して OSD を設定します。
3. **Time (時間)** を表示できるようにします。**Channel name (チャンネル名)** を表示できるようにし、チャンネル名を入力して、さまざまな場所のカメラを区別します。

表示ボックスは、画面の左上に表示されています。時間 (チャンネル) の表示ボックスをクリックしてドラッグし、特定の位置に移動します。

注： 表示時間のフォーマットを変更するには、Main Menu (メインメニュー) > SYSTEM (システム) > General (一般) > Date and Time (日付と時刻) に移動して設定します。詳細については、[日付と時刻](#)を参照してください。
チャンネル名には最大 32 文字を使用できます。

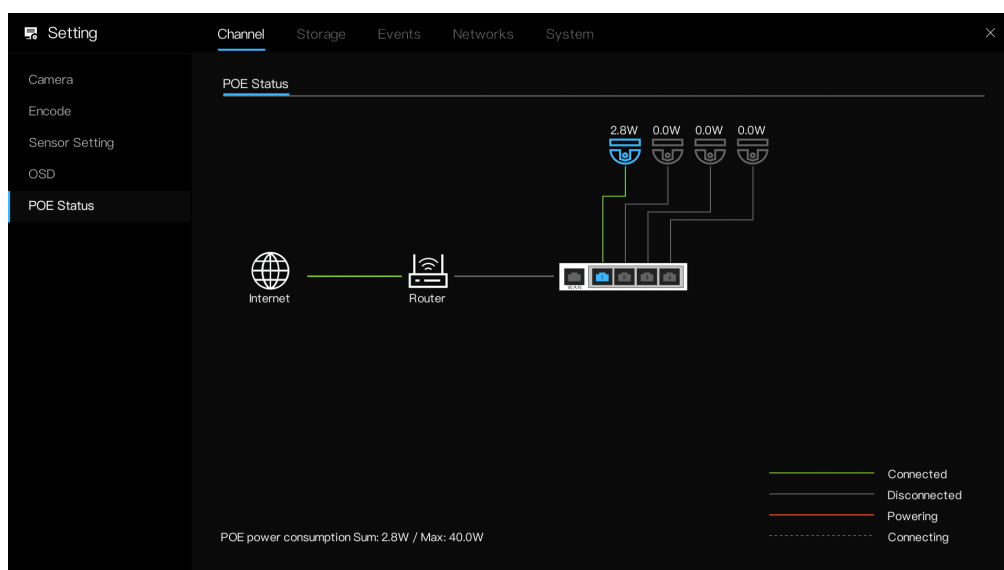
4. **APPLY (適用)** をクリックして、設定を完了します。

POE ステータス

この機能は、PoE NVR の場合にのみ適用できます。

1. Main Menu (メインメニュー) > Camera (カメラ) > POE Status (POE ステータス) に移動します。
2. POE のステータスをチェックします。POE Status (POE ステータス) インターフェイスが表示されます。

図 47 PoE Status (PoE ステータス)



ストレージ設定の構成

ストレージリソース（ストレージモードなど）とストレージスペースを管理できます。そのため、ストレージスペース使用状況を容易に利用および改善することができます。

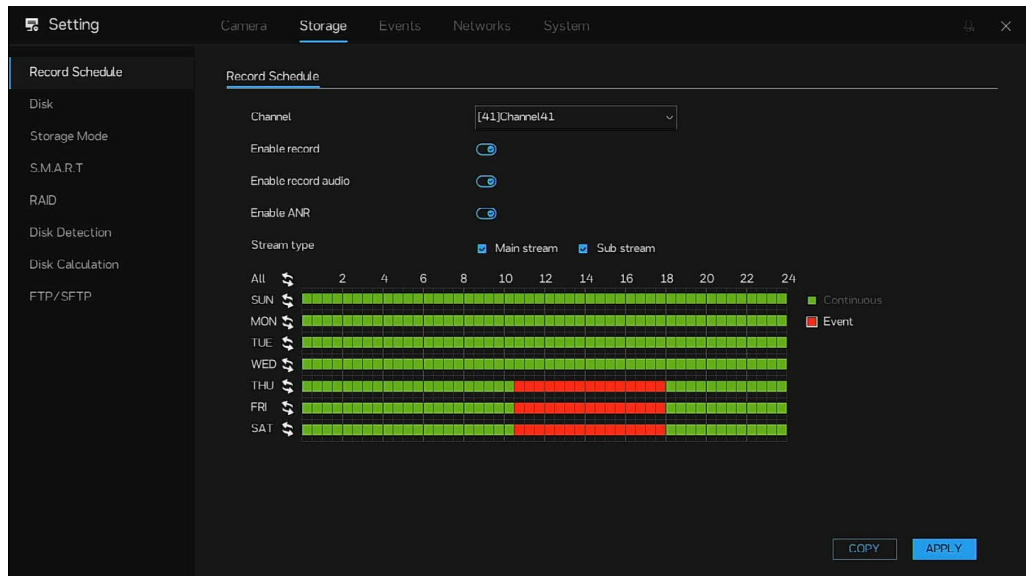
レコードスケジュール

スケジュールレコードを設定すると、デバイスはここで設定した期間に従ってビデオファイルを記録できます。たとえば、アラームレコード期間が月曜日の 6:00 から 18:00 までの場合、デバイスはアラームビデオファイルを 6:00 から 18:00 まで記録できます。

デフォルトでは、すべてのチャンネルが継続的に記録されます。カスタマイズしたレコード期間とレコードタイプを設定できます。

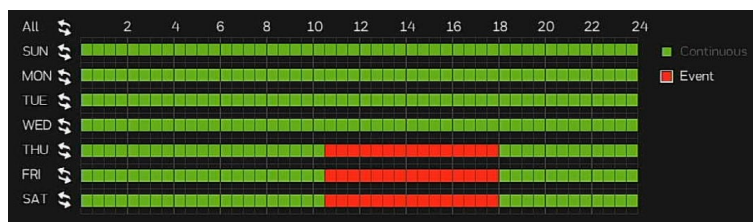
1. **Main Menu (メインメニュー) > Storage (ストレージ) > Record Schedule (レコードスケジュール)** に移動します。

図 48 Record Schedule (レコードスケジュール)



2. ドロップダウンリストからチャンネルを選択します。チャンネルごとに異なるレコードプランを設定できます。**COPY** (コピー) を選択して、他のチャンネルの設定をコピーします。
3. レコードとレコードオーディオを有効にします。
4. ANR (自動ネットワークレコーディング) を有効にします。カメラがSDカードと共に設置されていて、ネットワークから切り離されている場合、NVRはネットワークの復旧時にカメラのレコーディングを読み込み、失われたビデオをSDカードからコピーすることができます。
5. チェックマークを付けてメインストリームまたはサブストリームを選択します。
6. レコーディングのスケジュールを設定します。


図 49 レコードタイプ



描画によって期間を定義します。

- a. 設定する該当日付を選択します。
- b. タイムライン上でマウスを左クリックし、ドラッグして期間を定義します。

Set Period by Drawing (描画による期間の設定) では、ユーザーは連続レコードまたはイベントレコードを設定できます。

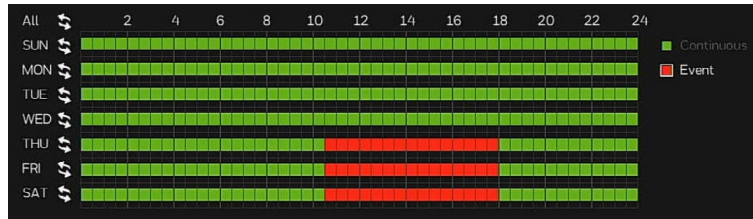
- 青色は連続レコードを表します。
- 赤色はイベントレコードを表します。
- レコードタイプを選択してから、左クリックして設定するか、

をクリックして、終日または週全体を設定します。対応する期間


をクリアするには、もう一度左クリックします。


注： 色付きのスケジュールは閲覧専用です。ディスクのレコーディングではこれらの色を表示できません。レコーディングのタイプは2つしかありません。

図 50 Set Period by Drawing (描画による期間の設定)



方法 1：左マウスボタンを押したままマウスをドラッグして放し、月曜日から日曜日までの 00:00～24:00 の範囲内でアーミング時間を選択します。

方法 2：レコードスケジュールページで  をクリックして、終日または週全体を選択します。

レコードスケジュールの削除： をもう一度クリックするか、選択を反転させて、選択したレコードスケジュールを削除します。

- ・カーソルをドラッグして時間を選択する場合は、カーソルを時間エリアの外に移動することはできません。カーソルを時間エリアの外に移動した場合、時間は選択されません。
- ・選択したエリアは青色になります。デフォルトは週全体です。
- ・ユーザーは、記録するアラームタイプを選択できます。選択したアラームが設定時間に発生すると、そのアラームが記録されます。そのため、アラームはディスクを効率的に使用し、無駄なレコーディングの繰り返しを回避します。
- ・ANR 機能は、補助的なレコーディング機能を備えたカメラにのみ使用できます。
- ・ユーザーは、さまざまなアラームを設定して記録できます。

7. **APPLY (適用)** をクリックして、設定を完了します。

自動レコード機能を有効にして、レコードプランをアクティブ化できるようにします。詳細については、[ストレージ](#)を参照してください。

ディスク

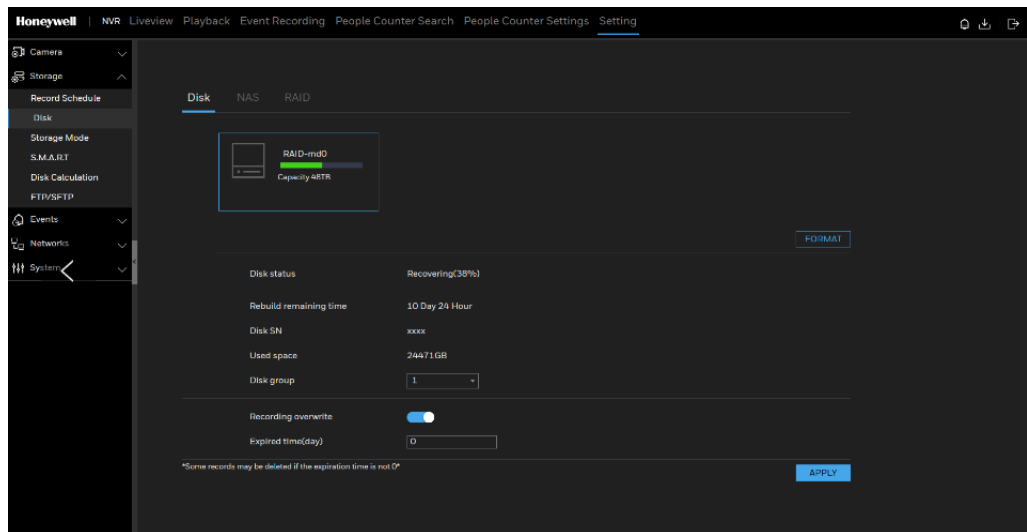
HDD プロパティの表示と設定、HDD のフォーマット、および現在の HDD タイプ、ステータス、容量などの表示を行うことができます。操作には、HDD のフォーマットと HDD プロパティ (読み取りと書き込み/読み取り専用/冗長) の変更が含まれます。

記録されたビデオファイルをバックアップする場合は、HDD を冗長 HDD として設定できます。

1. **Main Menu (メインメニュー) > Storage (ストレージ) > Disk (ディスク)** に移動します。

Disk（ディスク）インターフェイスが表示されます。

☒ 51 Disk（ディスク）インターフェイス



2. HDD（RAID の場合は、RAID が HDD の代わりに使用される）を選択してから、ディスクグループをドロップダウンリストから選択します。
3. （オプション）HDD をフォーマットします。
 - a. HDD を選択して、**FORMAT（フォーマット）** をクリックします。

注： この操作は、HDD 内のデータをすべて消去します。注意して操作を進めてください。

HDD をフォーマットすると、データが失われます。

- b. **OK** をクリックします。
4. **Recording overwrite（レコーディングの上書き）** を有効にします。ディスクが一杯の場合は、ディスクが上書きされます。
5. **Expired time(day）（失効時刻（日付））** を設定します。失効時刻が 0 でない場合は、時刻が設定値を過ぎると、レコードが削除されます。
6. **APPLY（適用）** をクリックして、セットアップを完了します。

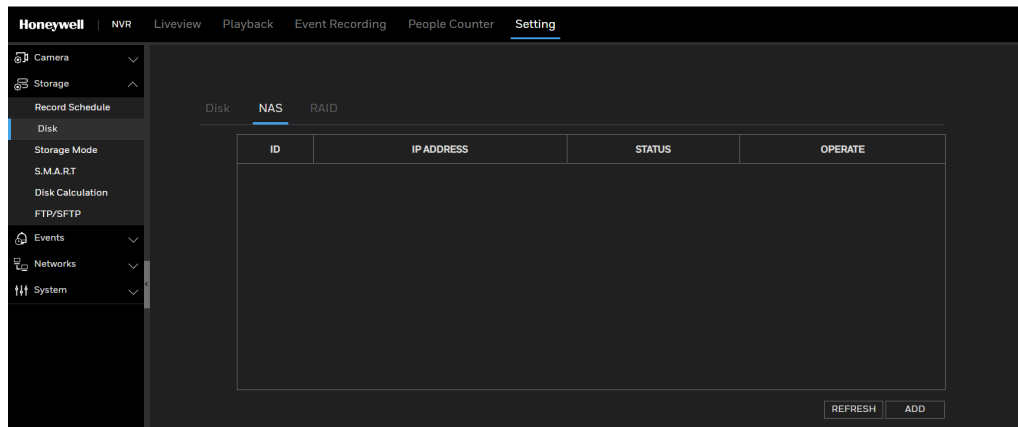
NAS

ユーザーは、レコーディングをバックアップするための NAS パスを追加できます。

1. **Main Menu（メインメニュー） > Storage（ストレージ） > Disk（ディスク） > NAS** に移動します。

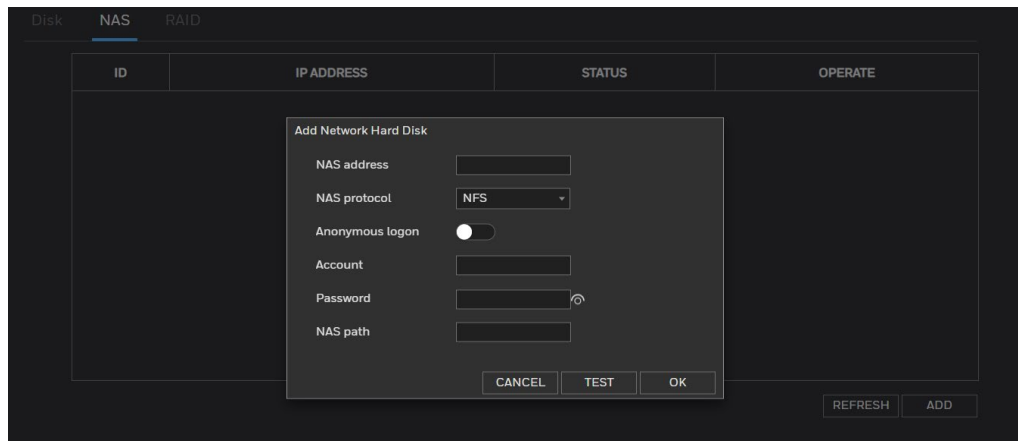
NAS インターフェイスが表示されます。

図 52 NAS インターフェイス



2. **ADD (追加)** をクリックして、ネットワークハードディスクの NAS アカウントを追加します。NAS バックアップは、ファイルの安全性を保証できません。ユーザーは再度確認する必要があります。

図 53 NAS 追加インターフェイス



3. NAS 設定パラメーターの設定を構成します。

表 16 NAS パラメーター

パラメーター	説明
NAS address (NAS アドレス)	NAS サーバーの IP アドレス。
NAS protocol (NAS プロトコル)	デフォルトは NFS です。
Anonymous login (匿名ログイン)	NAS サーバーへのログインを有効または無効にします。
Account (アカウント)	NAS サーバーにログインするためのアカウントとパスワードを入力します。
Password (パスワード)	
NAS path (NAS パス)	NAS のパス。

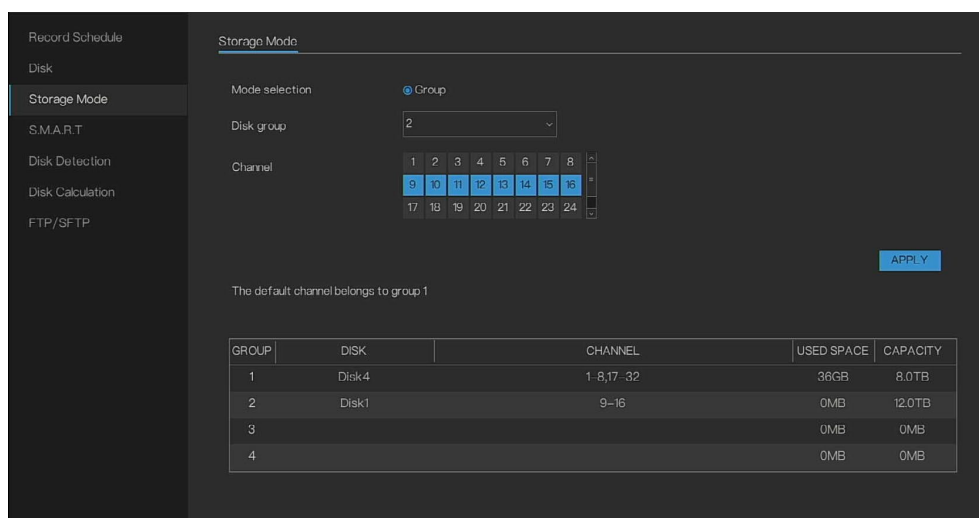
4. **TEST (テスト)** をクリックします。
システムはメッセージをポップアップして成功または失敗を示します。失敗した場合は、ネットワーク接続または構成をチェックしてください。
5. **OK** をクリックして、設定を保存します。

ストレージモード

NVR が複数の HDD と共に設置されている場合は、HDD を異なるグループで構成でき、異なる HDD はそれぞれ異なるチャンネルを記録できるため、ユーザーは HDD に迅速にアクセスし、効率的に HDD を使用できます。

1. **Main Menu (メインメニュー) > Storage (ストレージ) > Storage Mode (ストレージモード)** に移動します。

☒ 54 Storage Mode (ストレージモード)



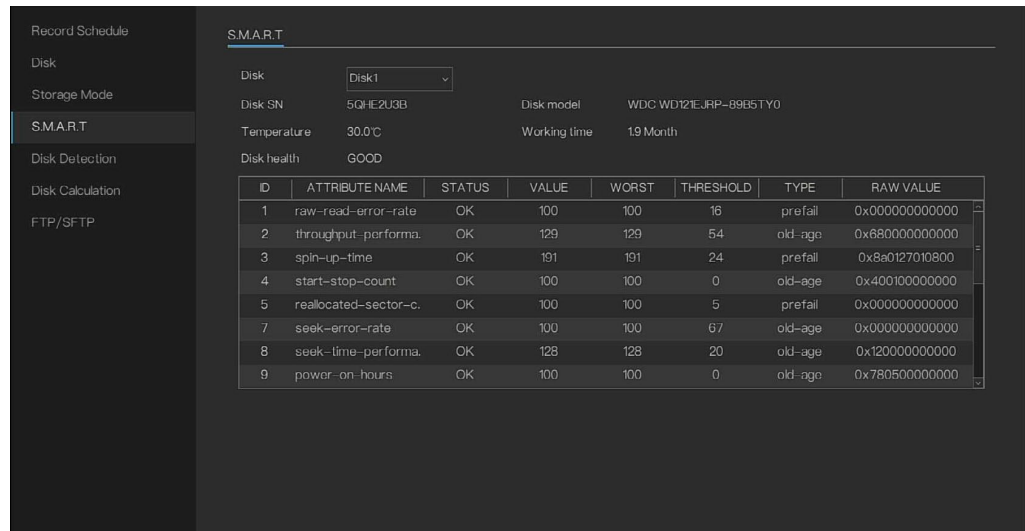
2. **Disk group (ディスクグループ) と Channels (チャンネル)** を選択します。構成の詳細がリストに表示されます。
3. **APPLY (適用)** をクリックして、設定を完了します。

注： 1つのグループ内でチャンネルの合計ビットレートが200 Mを超えている場合は、チャンネルを複数のグループに分散させる必要があります。たとえば、1つのチャンネルのメインストリームレートが8 Mで、サブストリームレート（非暗号化）が2 Mの場合、32チャンネルの合計ビットレートは320 Mであるため、32チャンネルを2つのグループに分散させる必要があります。チャンネルは、ランダムにグループに分散させることができます。

S.M.A.R.T

S.M.A.R.T は自己監視分析および報告テクノロジーであり、これによってユーザーは対応する情報を表示できます。データ損失が生じている場合は、動作不良の HDD を交換してください。

図 55 S.M.A.R.T インターフェイス

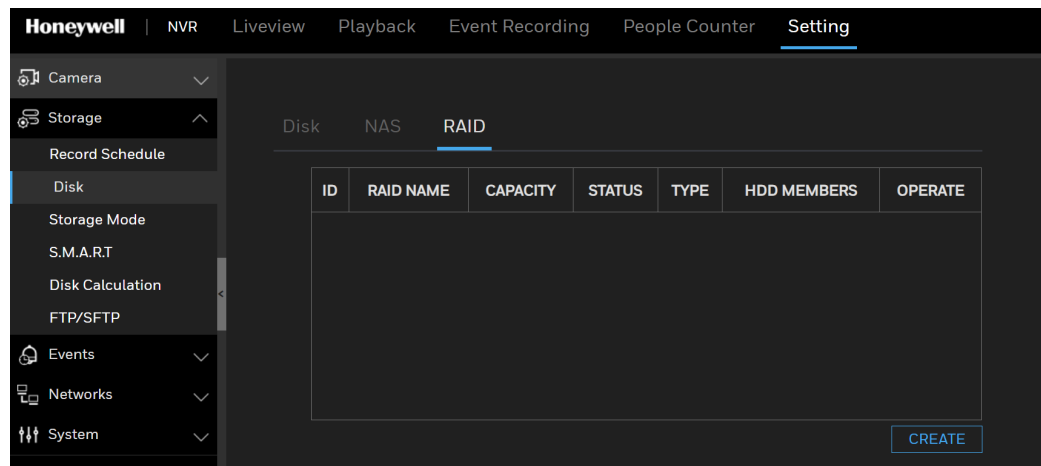


RAID

どのモデルも RAID の構築／編集／削除をサポートしています。ユーザーは、レコーディングの重要度に従って RAID のタイプを選択できます。

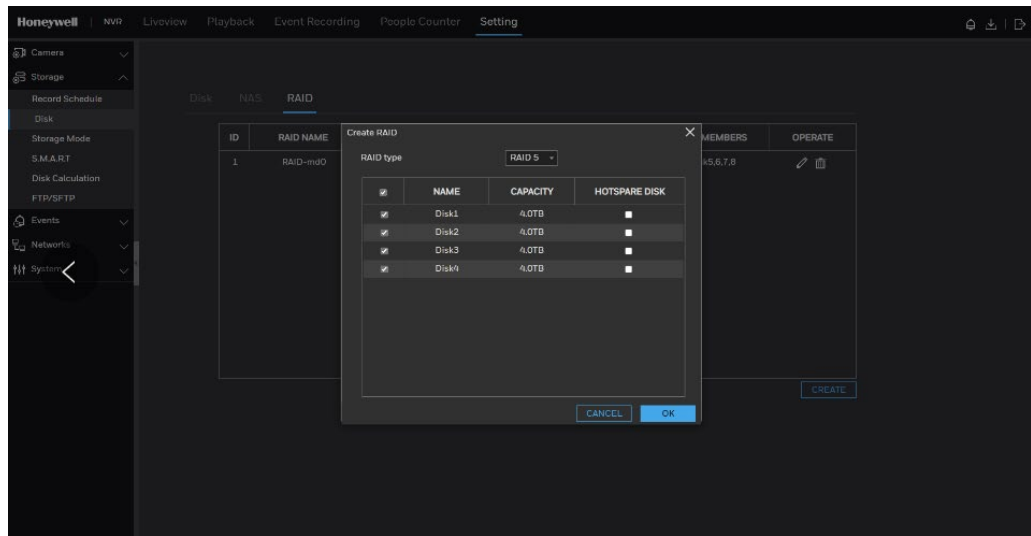
Main Menu (メインメニュー) > Storage (ストレージ) > RAID に移動します。

図 56 RAID インターフェイス



CREATE (作成) をクリックして、RAID (RAID1/RAID5/RAID6) を作成します。

図 57 Create RAID (RAID の作成) インターフェイス



ユーザーは、ディスクを選択して RAID を作成し、ホットスペースディスクとして機能するディスクを 1 つまたは複数選択します。

- 注：
- RAID を作成するために使用するディスクは、エンタープライズレベルのディスクでなければなりません。効率的に使用するために、各ディスクの容量は同じである必要があります。
 - RAID が正常に作成されたら、その RAID をフォーマットする必要があります。
 - RAID の最大容量は 100T 以下でなければなりません。
 - RAID1 には少なくとも 2 つのディスクが必要です。
 - RAID5 には少なくとも 3 つのディスクが必要です。
 - RAID6 には少なくとも 4 つのディスクが必要です。
 - ホットスペアディスクを作成するには、もう 1 つのディスクまたはダブルベアシックディスクが必要です。
 - ウェブおよびローカル GUI で RAID 機能を設定できます。RAID でのスループット設定については、以下の表を参照してください。

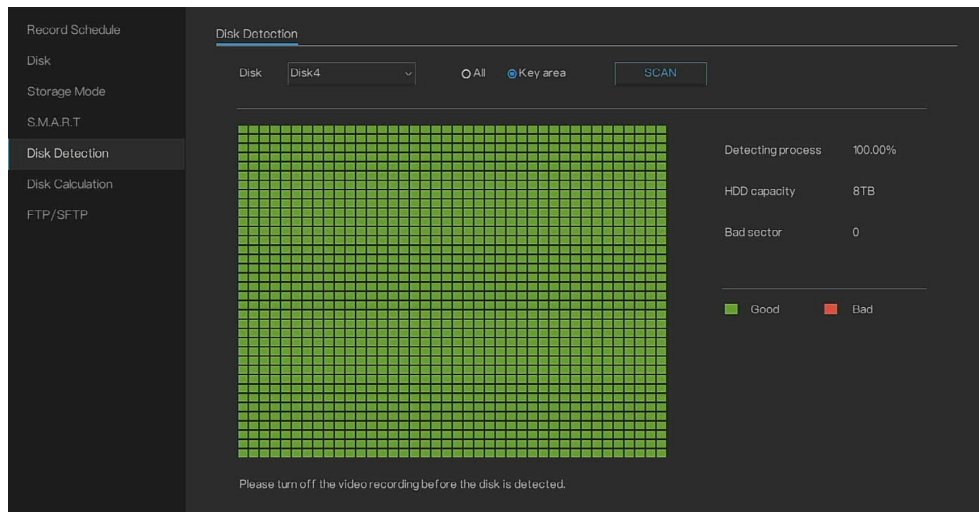
Channel (チャンネル)	SATA 番号	スループット (Mbps)	RAID1/5/6	非 RAID
64	4	400	NA	1. カメラと NVR はどちらも非暗号化 2. 少なくとも 2 つのグループに分ける
	8	400	1. 2 RAID 2. カメラと NVR はどちらも非暗号化 3. 少なくとも 2 つのグループに分ける	1. カメラと NVR はどちらも非暗号化 2. 少なくとも 2 つのグループに分ける
64	4	320	1. 入力が 320Mbps http の場合、出力は 85Mbps https 以内である必要があります。	
	8	320		

ディスク検出

HDD 検出機能は、HDD のパフォーマンスを明確に理解して動作不良の HDD を交換するための HDD ステータスを検出できます。

1. **Main Menu (メインメニュー) > Storage (ストレージ) > Disk Detection (ディスク検出)** に移動します。
Disk Detection (ディスク検出) インターフェイスが表示されます。

☒ 58 Disk Detection (ディスク検出) インターフェイス



2. 検出したいディスクを選択します。All (すべて) または Key area (キーエリア) を選択します。すべてを検出する場合は、慎重かつ包括的に検出が行われるため、ある程度の時間がかかります。キーセクションの検出には数分かかる可能性があります。
3. **SCAN (スキャン)** をクリックします。

システムは HDD の検出を開始し、検出情報を表示します。

- 緑色のブロックは良好、赤色のブロックは不良を意味します。赤色のブロックが多すぎる場合やキーセクションにある場合は、ディスクを直ちに交換してください。
- ディスクを検出する前に、ビデオレコーディングをオフにしてください。そうしないと、ビデオのレコーディングが失われる可能性があります。

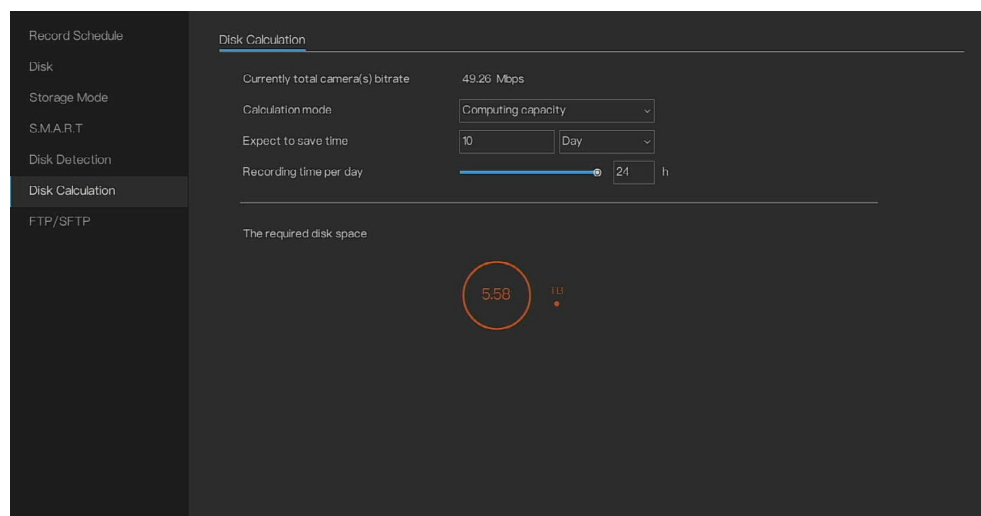
注： システムがHDDを検出しているときに現在の検出を停止するには、**CANCEL (キャンセル)** をクリックします。ポップアップウィンドウに「Would you like to stop disk detection? (ディスク検出を停止しますか?)」と表示されたら、**OK** をクリックして検出を終了します。

ディスク計算

レコード概算機能は、どれだけ長くビデオを記録できるのかを HDD 容量に従って計算し、必要な HDD 容量をレコード期間に従って計算できます。

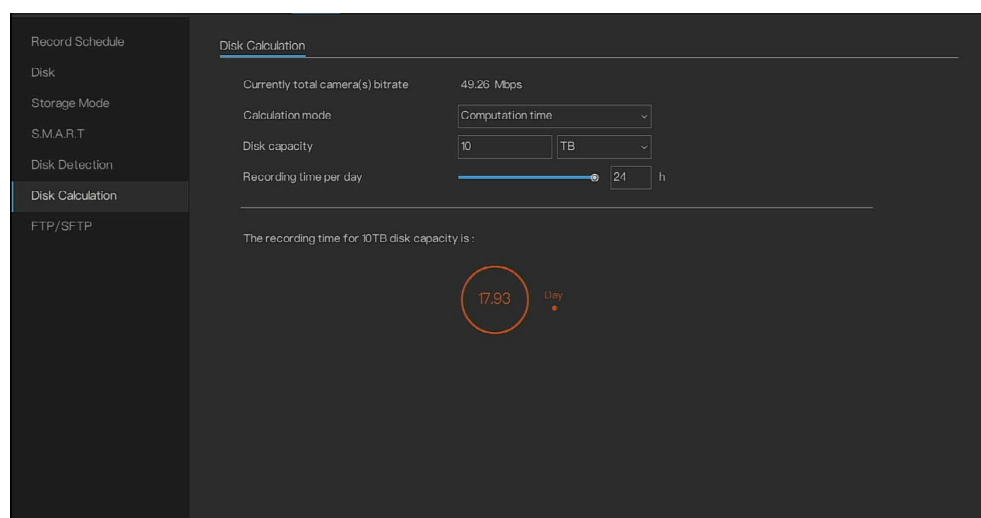
1. **Main Menu (メインメニュー) > Storage (ストレージ) > Disk Calculation (ディスク計算)** に移動します。
Disk Calculation (ディスク計算) インターフェイスが表示されます。

図 59 Disk Calculation (ディスク計算)



2. 計算モード (Computing capacity (容量計算) または Computation time (計算時間)) を選択します。
3. Expect to save time (期待する時間節約) の値を入力します。
4. Recording time per day (1 日当たりのレコーディング時間) を設定します。結果は図に示されます。

図 60 計算時間



注： 計算は、現在オンラインであるカメラのビットレート (メインストリームとサブストリームを含む) に基づいています。

FTP/SFTP

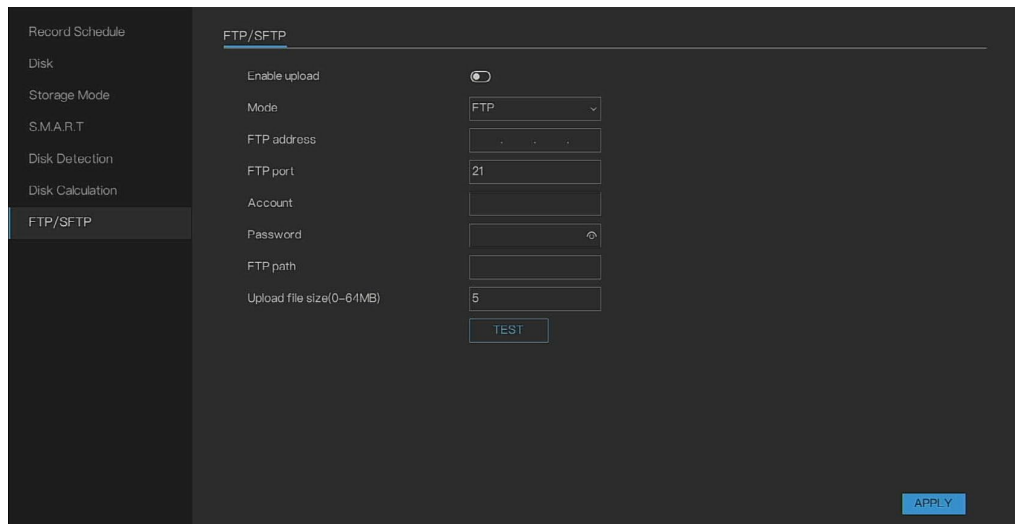
FTP サーバーでは、記録されたビデオとスナップショットを保存および表示できません。

FTP (ファイル転送プロトコル) または SFTP (セキュアファイル転送プロトコル) サーバーを購入またはダウンロードして、自分の PC にインストールしてください。

注： 作成したFTP ユーザーには、書き込み権限を設定する必要があります。 そうしないと、記録されたビデオとスナップショットのアップロードに失敗します。

1. Main Menu (メインメニュー) > Storage (ストレージ) > FTP/SFTP に移動します。
2. Mode (モード) を FTP または SFTP として選択します。

☒ 61 FTP

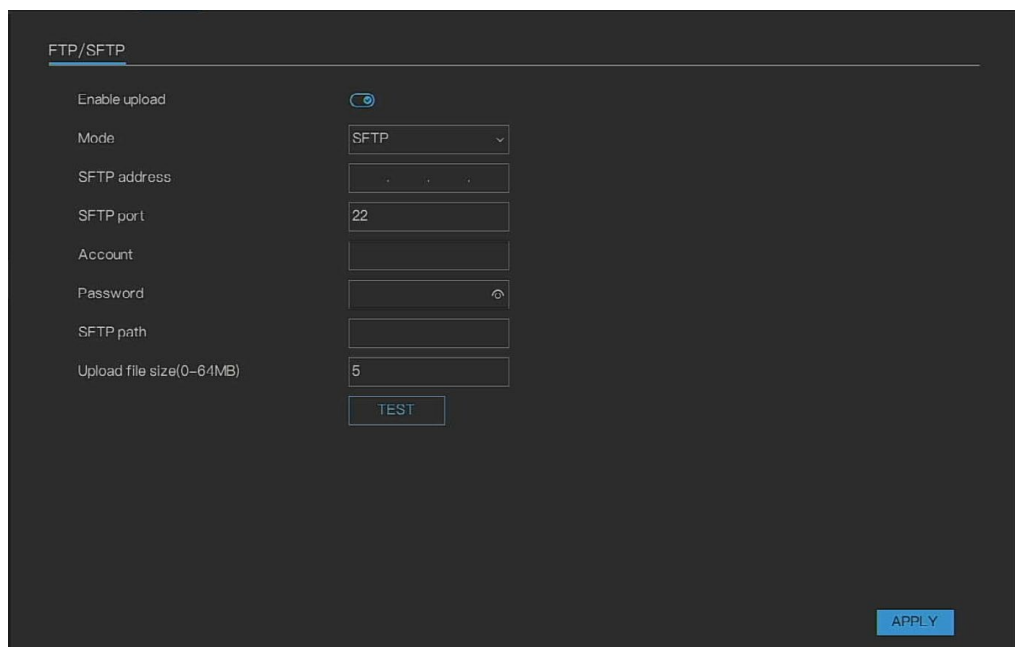


The screenshot shows the 'FTP/SFTP' configuration page. On the left is a navigation menu with options: Record Schedule, Disk, Storage Mode, S.M.A.R.T, Disk Detection, Disk Calculation, and FTP/SFTP (highlighted). The main area is titled 'FTP/SFTP' and contains the following settings:

- Enable upload:
- Mode: FTP (selected in a dropdown menu)
- FTP address: [. . .]
- FTP port: 21
- Account: []
- Password: [] (with a toggle for visibility)
- FTP path: []
- Upload file size(0-64MB): 5

There is a 'TEST' button below the upload file size field and an 'APPLY' button in the bottom right corner.

☒ 62 SFTP



The screenshot shows the 'FTP/SFTP' configuration page with the 'Mode' set to SFTP. The settings are:

- Enable upload:
- Mode: SFTP (selected in a dropdown menu)
- SFTP address: [. . .]
- SFTP port: 22
- Account: []
- Password: [] (with a toggle for visibility)
- SFTP path: []
- Upload file size(0-64MB): 5

There is a 'TEST' button below the upload file size field and an 'APPLY' button in the bottom right corner.

3. FTP/SFTP 設定パラメーターの設定を構成します。

表 17 FTP/SFTP パラメーター

パラメーター	説明
Enable upload (アップロードを有効にする)	FTP/SFTP アップロード機能を有効にします。
FTP address/SFTP address (FTP アドレス/SFTP アドレス)	FTP/SFTP サーバーの IP アドレス。
FTP Port/SFTP Port (FTP ポート/SFTP ポート)	デフォルトは 21/22 です。
Account (アカウント)	FTP サーバーにログインするためのアカウントとパスワードを入力します。
Password (パスワード)	
FTP path/SFTP path (FTP パス/SFTP パス)	<p>FTP/SFTP サーバーにフォルダーを作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> リモートディレクトリの名前を入力しなかった場合、システムは IP と時間に従って自動的にフォルダーを作成します。 リモートディレクトリの名前を入力した場合、システムは入力された名前のフォルダーを FTP/SFTP ルートディレクトリの下に作成してから、IP と時間に従って自動的にフォルダーを作成します。
Upload file size(0-64MB) (アップロードファイルサイズ (0-64MB))	<p>アップロードされる記録済みビデオの長さを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 入力した長さが記録されたビデオの長さより短い場合は、記録されたビデオの一部しかアップロードできません。 入力した長さが記録されたビデオの長さより長い場合は、記録されたビデオ全体をアップロードできます。 入力した長さが 0 の場合は、記録されたビデオ全体がアップロードされます。

4. **TEST (テスト)** をクリックします。

システムはメッセージをポップアップして成功または失敗を示します。失敗した場合は、ネットワーク接続または構成をチェックしてください。

5. **APPLY (適用)** をクリックして、設定を完了します。

イベント設定の構成

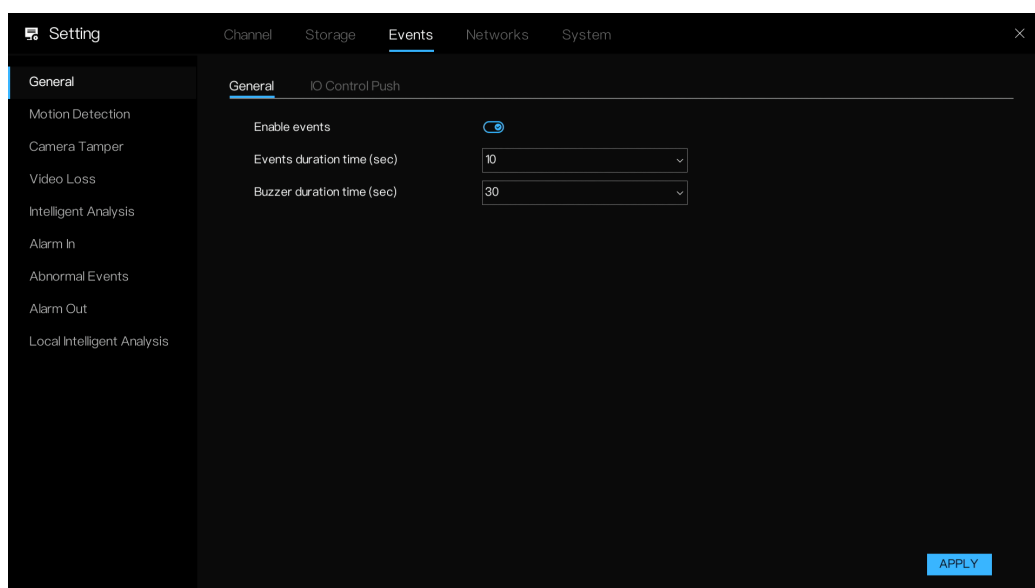
注： NVR は、最大 5 つのアプリをサポートしてプッシュメッセージを受信できます。
 イベントメッセージ通知をアプリで使用するには、**Me (自分)** > **Settings (設定)** > **Event notification (イベント通知)** に移動し、**New event message notification (新しいイベントメッセージ通知)** の下でデバイスを有効にします。

一般

一般的なイベントと IO コントロールプッシュを有効にすることができます。

1. **Main Menu (メインメニュー)** > **Events (イベント)** > **General (一般)** > **General (一般)** に移動します。
 General (一般) インターフェイスが表示されます。

図 63 General (一般) ページ

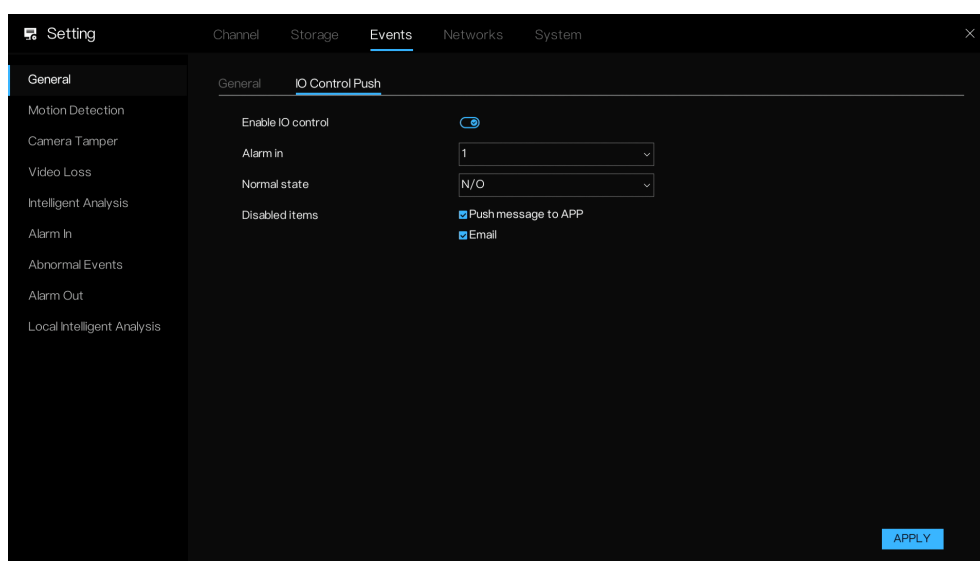


2. イベントを有効にし、Events duration time(sec) (イベント継続時間 (秒)) と Buzzer duration time(sec) (ブザー継続時間 (秒)) を設定します。
3. **APPLY (適用)** をクリックして、設定を保存します。

IO コントロールプッシュ

1. **Main Menu (メインメニュー) > Events (イベント) > General (一般) > IO Control Push (IO コントロールプッシュ)** に移動します。
IO Control Push (IO コントロールプッシュ) インターフェイスが表示されます。

図 64 IO Control Push (IO コントロールプッシュ)



2. **IO Control Push (IO コントロールプッシュ)** を有効にし、ドロップダウンリストから **Alarm in (アラーム入力)** を選択します。
3. ドロップダウンリストから **Normal state (ノーマル状態)** を選択します (N/C または N/O)。

4. **Disabled items (無効な項目)** (Push message to APP (アプリへのプッシュメッセージ) と Email (電子メール)) を選択します。

注： ノーマルオープンを選択し、無効な項目を選択した場合、アラーム入力1は、ノーマルオープン状態ではメッセージをプッシュしません。アラーム入力1は、ノーマルクローズ状態の場合にのみアラームメッセージをプッシュできます。

5. **APPLY (適用)** をクリックして、設定を保存します。

モーション検出

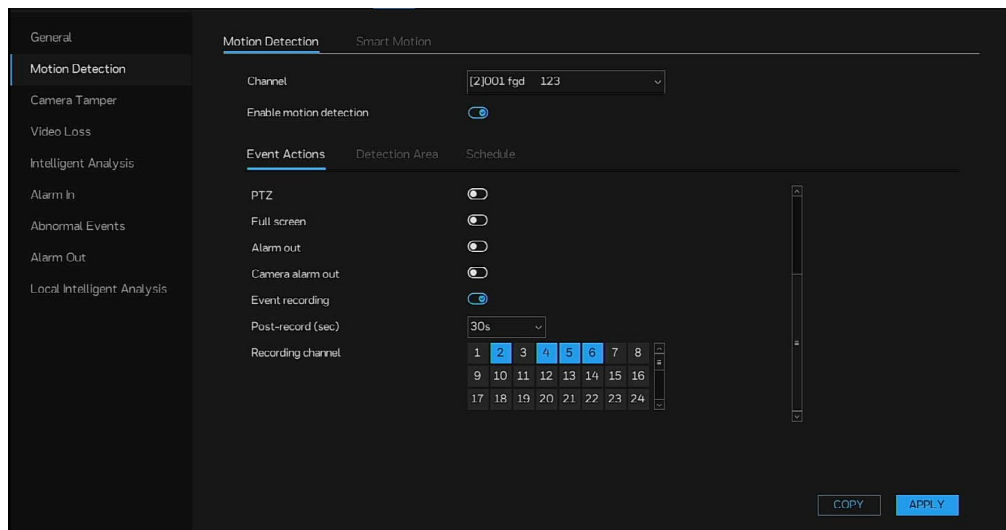
モーション検出設定

移動物体が現れて、プリセット感度値に達するのに十分な速さで移動すると、システムはアラームをアクティブ化します。

1. **Main Menu (メインメニュー) > Events (イベント) > Motion Detection (モーション検出)** に移動します。

Motion Detection (モーション検出) インターフェイスが表示されます。

図 65 Motion Detection (モーション検出)



2. モーション検出パラメーターの設定を構成します。

表 18 モーション検出パラメーター

パラメーター	説明
Channel (チャンネル)	Channel (チャンネル) リストで、チャンネルを選択してモーション検出を設定します。
Enable (有効化)	モーション検出機能を有効または無効にします。この機能を有効にすると、NVR に変更が加えられ、その結果をカメラに同期させることができます。

パラメーター	説明
Event Actions (イベントアクション)	<p>Push message to APP (アプリへのプッシュメッセージ) : NVR を管理しているアプリへのポップアップメッセージを有効にします。</p> <p>Pop up message to monitor (モニターへのポップアップメッセージ) : UI モニターでのポップアップメッセージを有効にします。</p> <p>Email (電子メール) : アラームが発生すると、NVR デバイスは設定されたメールボックスに電子メールを送信して、ユーザーに通知します。最初に電子メールを設定する必要があります。詳細については、電子メールを参照してください。</p> <p>Buzzer (ブザー) : アラームの発生時にブザーをアクティブ化します。継続時間は、Event (イベント) > General (一般) で設定します。</p> <p>FTP : FTP で FTP パスにスナップショットを送信できるようにします。</p> <p>Storage (ストレージ) > FTP インターフェイスで FTP を設定します。</p> <p>PTZ : PTZ を有効にして、Channel (チャンネル) と Preset (プリセット) を選択します。アラームが発生すると、NVR デバイスはチャンネルを関連付けて、対応する PTZ アクションを実行します。たとえば、チャンネル 1 で PTZ をアクティブ化して、プリセットポイント X に向けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> トリップワイヤーアラームは、PTZ プリセットポイントのアクティブ化のみをサポートしています。 対応する PTZ アクションを先に設定する必要があります。「PTZ コントロール」を参照してください。 <p>Full Screen (全画面) : アラーム発生時にチャンネルのライブビデオを全画面で表示できるようにします。</p> <p>Alarm out (アラーム出力) : アラーム出力をリンクできるようにします。パラメーターは、Event (イベント) > Alarm out (アラーム出力) インターフェイスで設定する必要があります。アラームデバイス (ライトやサイレンなど) は、アラーム出力ポートに接続されます。アラームが発生すると、NVR デバイスはアラーム情報をアラームデバイスに送信します。</p> <p>Camera alarm out (カメラアラーム出力) : カメラのアラーム出力ポートをリンクできるようにします。</p> <p>Event recording (イベントレコーディング) : アラーム発生時に記録できるようにします。Post-record(sec) (ポストレコード (秒)) : アラームビデオを記録するための他のチャンネルの継続時間を選択します。Recording channel (レコーディングチャンネル) : 記録するチャンネルを選択します。</p>
Detection Area (検出エリア)	<p>モーション検出エリアの選択後にそのエリアをダブルクリックすると、選択したエリアが削除されます。</p> <p>Sensitivity (感度) : 選択できるレベルは 4 つあります (Low (低) / Medium (中) / High (高) / Highest (最高))。これは IPC と一致していません。レベルが高いほど、アラームはアクティブ化しやすくなります。</p>
Schedule (スケジュール)	モーション検出がアクティブである期間を定義します。

3. **APPLY (適用)** をクリックして、設定を保存します。

COPY (コピー) をクリックします。Copy (コピー) ダイアログボックスで、モーション検出設定のコピー先となる追加のチャンネルを選択してから、**APPLY (適用)** をクリックします。

図 66 Copy (コピー) ダイアログボックス



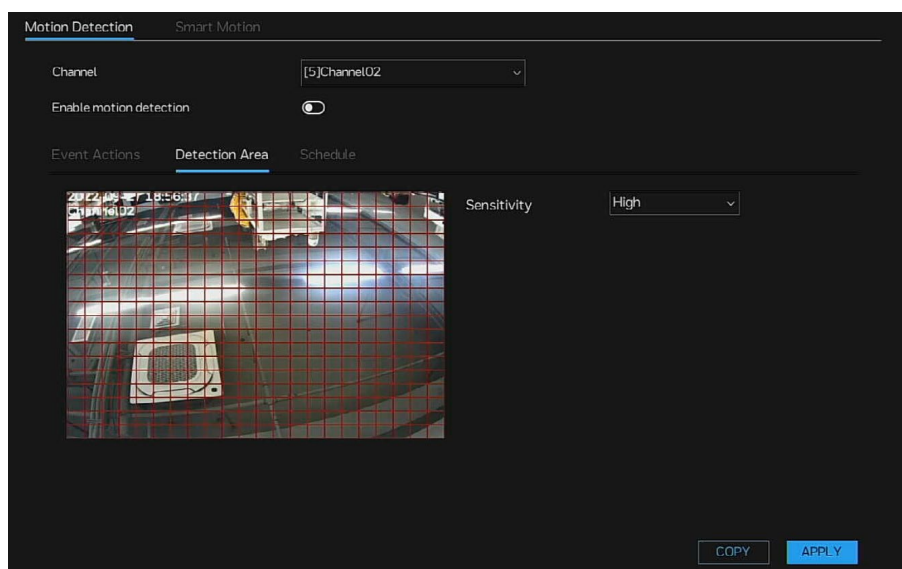
モーション検出エリアの設定

1. ライブビデオ画面で、アームするエリアを描画します。

複数の領域を設定できます。左マウスボタンを押しながらドラッグして、モーション検出エリアを描画します。デフォルトのエリアは全画面です。

- 注：**
- 画面上でドラッグして、検出する領域を選択してください。複数の領域のうちいずれかがモーション検出アラームをアクティブ化する場合は、この領域が属しているチャンネルがモーション検出アラームをアクティブ化します。
 - NVR に変更を加えた場合は、その結果をカメラに同期させることができます。
 - PTZ カメラの場合、VA 機能はホームポジションでのみ使用できません。

図 67 領域設定

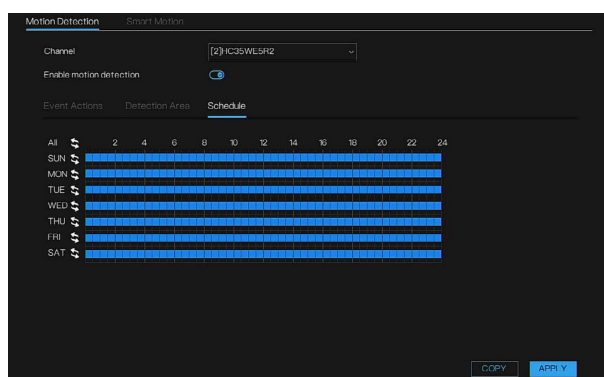




2. **APPLY (適用)** をクリックして、設定を完了します。

スケジュールの設定

- 注：** システムは、定義された期間内でのみアラームをアクティブ化します。

図 68 スケジュール設定



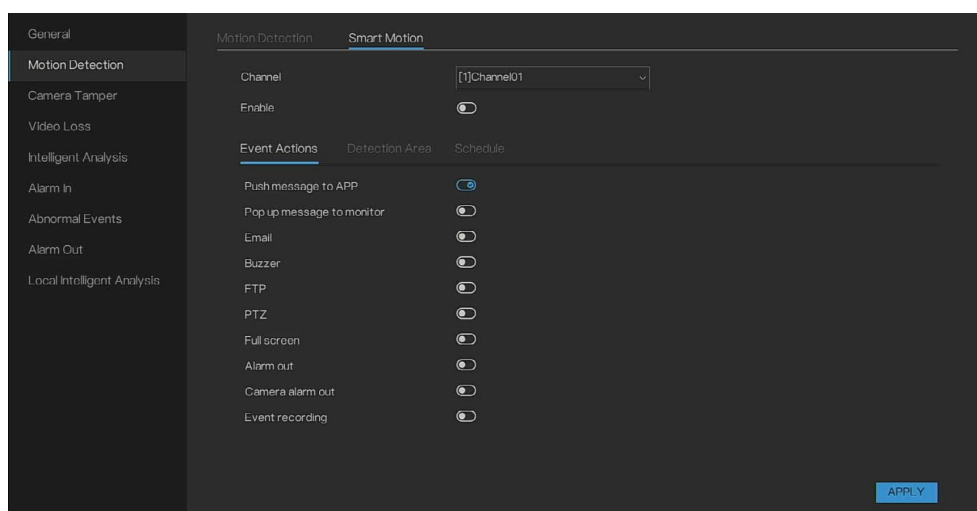
- Schedule (スケジュール) を設定します。
 - 左マウスボタンを押したままマウスをドラッグして放し、月曜日から日曜日までの 00:00~24:00 の範囲内でアーミング時間を選択します。
 - レコードスケジュールページで  をクリックして、終日または週全体を選択します。
 - 時間グリッドをクリックして 1 つずつ選択します。
 -  をもう一度クリックするか、選択を反転させて、選択したレコードスケジュールを削除します。
- APPLY (適用) をクリックして、設定を完了します。

スマートモーション

一部のカメラは人や車を検出できます。NVR では、カメラを便利に管理するスマートモーションパラメーターを設定できます。

Main Menu (メインメニュー) > Events (イベント) > Motion Detection (モーション検出) > Smart Motion (スマートモーション) に移動します。Smart Motion (スマートモーション) インターフェイスが表示されます。

図 69 Smart Motion (スマートモーション)



スマートモーションのリンケージイベントアクションを設定するには、表 18「モーション検出パラメーター」を参照してください。 [表 18 モーション検出パラメーター](#)

スマートモーションエリアの設定

カーソルを描画インターフェイスに移動し、クリックしてポイントを生成します。カーソルを移動して線を描いてから、クリックして別のポイントを生成します。これが線の生成方法です。この方法で引き続き線を描いて、任意の形状を形成し、右クリックして描画を終了します。

検出エリアを削除するには、**REMOVE ALL（すべて削除）**をクリックします。

図 70 Smart Motion（スマートモーション） - Detection Area（検出エリア）

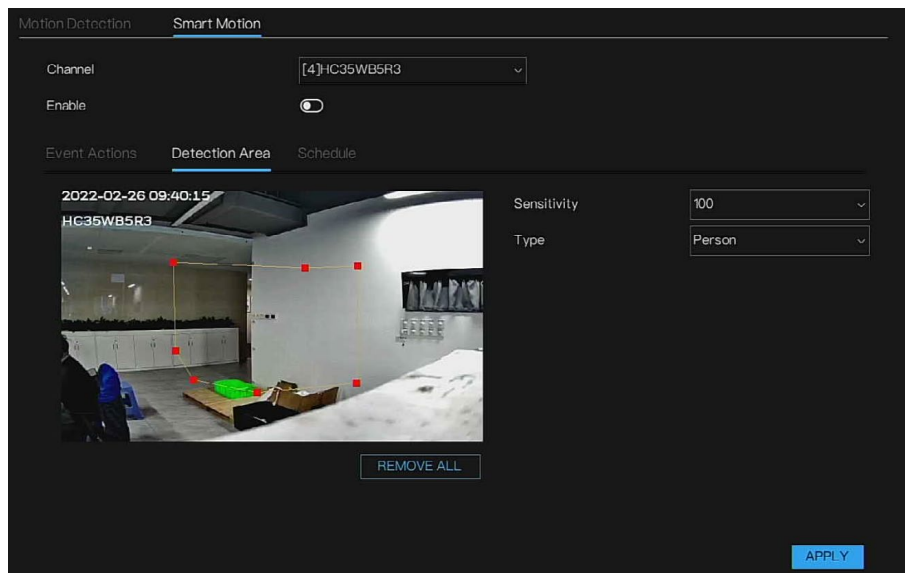


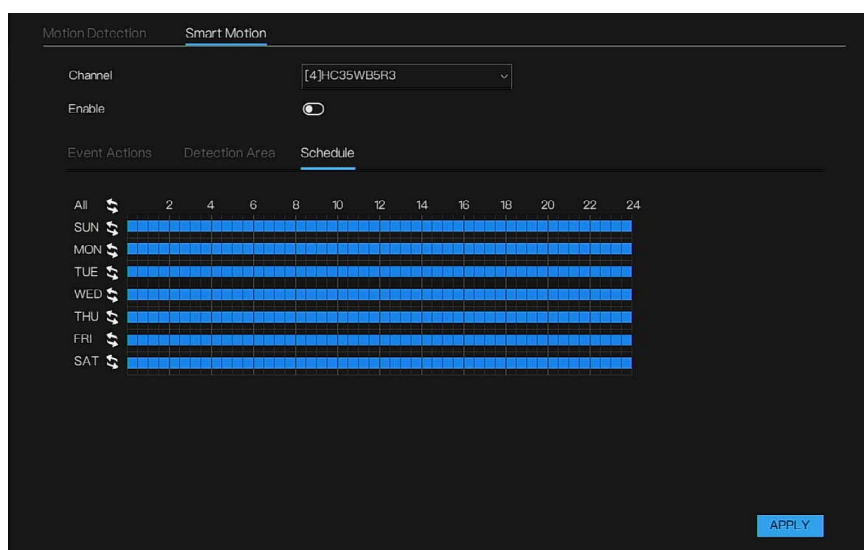
表 19 検出エリア設定パラメーター

パラメーター	説明
Sensitivity（感度）	各チャンネルの各領域には個別の感度値があります。その値の範囲は 0~100 です。値が大きいくほど、アラームは作動させやすくなります。
Type（タイプ）	Person（人）：人のみを検出する Car（車）：車のみを検出する Person or car（人または車）：人と車を同時に検出する

スマートモーションスケジュールの設定

スマートモーションのスケジュールを設定するには、[スケジュールの設定](#)を参照してください。

図 71 Smart Motion (スマートモーション) - Schedule (スケジュール)



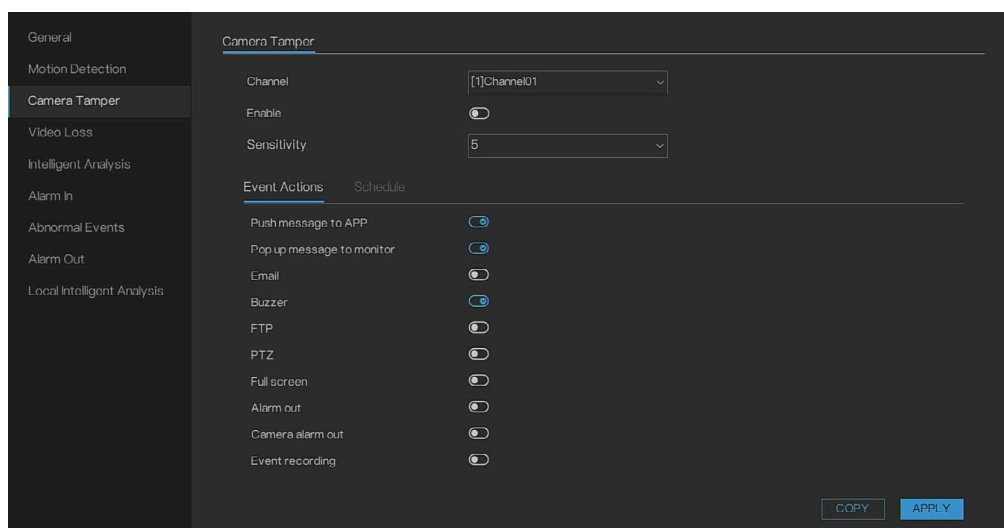
カメラタンピング

カメラレンズが覆われている場合や、日光の状態が原因でビデオが単色で表示される場合は、監視を正常に継続できません。そのような状況を回避するには、タンパーアラーム設定を構成します。

1. **Main Menu (メインメニュー) > Events (イベント) > Camera Tamper (カメラタンパー)** に移動します。

Camera Tamper (カメラタンパー) インターフェイスが表示されます。

図 72 Camera Tamper (カメラタンパー)



2. タンピング検出パラメーターの設定を構成するには、**モーション検出**を参照してください。

注： タンピング機能には、検出エリアと感度の項目がありません。各チャンネルには個別の感度値があります。その値の範囲は1～5です。値が大きいくほど、アラームは作動させやすくなります。

3. **APPLY (適用)** をクリックして、設定を完了します。

Copy to (コピー先) ダイアログボックスで **COPY (コピー)** をクリックし、モーション検出設定のコピー先となる追加のチャンネルを選択してから、**OK** をクリックします。

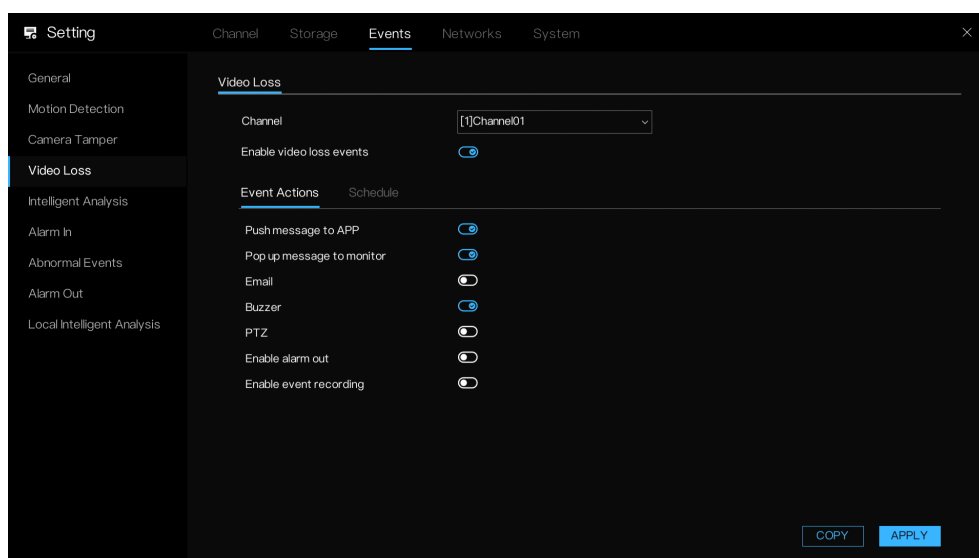
ビデオ損失

ビデオ損失が発生すると、システムはアラームを作動させます。

1. **Main Menu (メインメニュー) > Events (イベント) > Video Loss (ビデオ損失)** に移動します。

Video Loss (ビデオ損失) インターフェイスが表示されます。

図 73 ビデオ損失



2. ビデオ損失検出パラメーターの設定を構成するには、**モーション検出**を参照してください。

ビデオ損失機能には、検出エリアと感度の項目がありません。

3. **APPLY (適用)** をクリックして、設定を完了します。

Copy to (コピー先) ダイアログボックスで **COPY (コピー)** をクリックし、モーション検出設定のコピー先となる追加のチャンネルを選択してから、**OK** をクリックします。

インテリジェント分析

インテリジェント分析には、侵入、ラインクロッシング、マルチロイタリング、人数カウンター、顔検出が含まれます。

注： チャンネルカメラから信号を受信するために **Intelligent Analysis (インテリジェント分析)** 機能が NVR によって **Enable (有効)** として設定されている場合、一部のモデルのカメラはリモート構成をサポートしない可能性があり、NVR によってのみパラメーターが変更されると、結果がカメラに同期されない可能性があります。そのため、ハネウェルは、同時にカメラウェブクライアントによって設定を変更することを推奨しています。

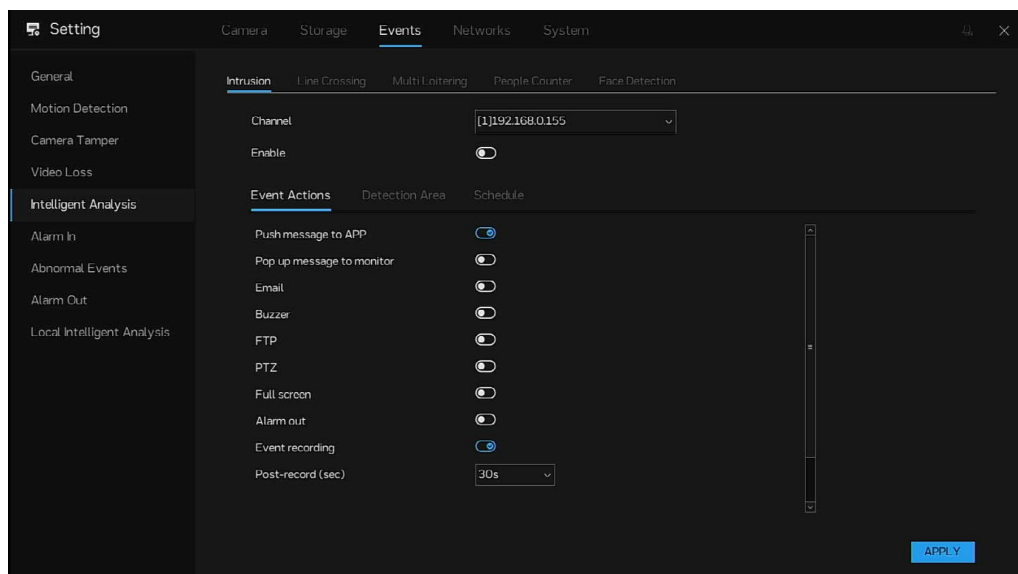
侵入

チャンネルカメラは、誰かが設定エリアに侵入しているのをキャプチャーすると、NVR のインテリジェント分析侵入アラームをトリガーします。

1. **Main Menu (メインメニュー) > Events (イベント) > Intelligent Analysis (インテリジェント分析) > Intrusion (侵入)** に移動します。

Intrusion (侵入) インターフェイスが表示されます。

図 74 Intrusion (侵入)



2. 侵入パラメーターの設定を構成するには、[モーション検出](#)を参照してください。

検出エリアはカメラのインターフェイスで設定されるため、パラメーターをコピーすることはできません。

3. **APPLY (適用)** をクリックして、設定を完了します。

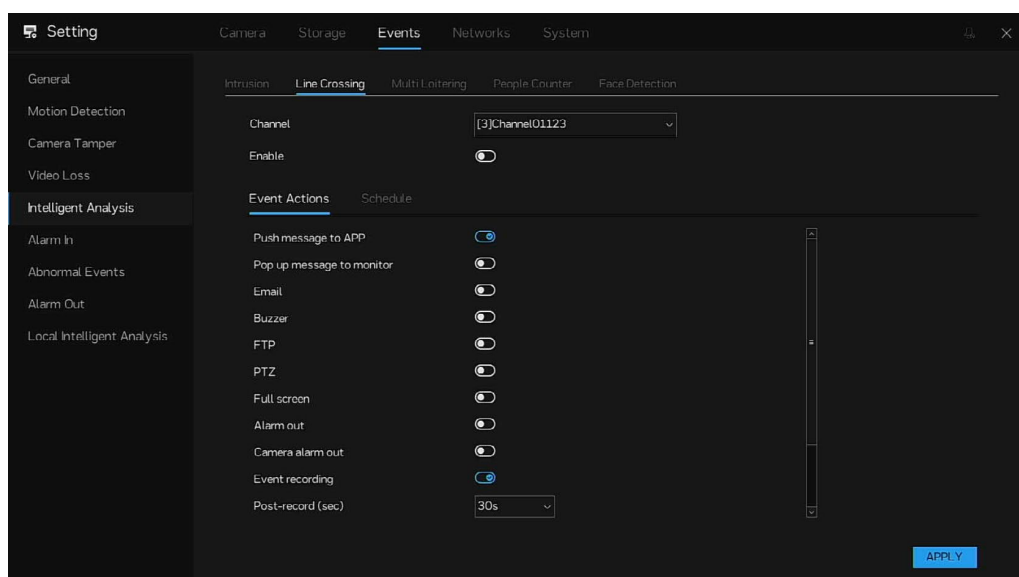
ラインクロッシング

チャンネルカメラは、誰かが設定ラインを越えるのをキャプチャーすると、NVR のインテリジェント分析ラインクロッシングアラームをトリガーします。

1. **Main Menu (メインメニュー) > Events (イベント) > Intelligent Analysis (インテリジェント分析) > Line Crossing (ラインクロッシング)** に移動します。

Line Crossing (ラインクロッシング) インターフェイスが表示されます。

☒ 75 Line Crossing (ラインクロッシング)



2. Line Crossing (ラインクロッシング) パラメーターの設定を構成するには、**モーション検出**を参照してください。

ラインクロッシング機能には、検出エリアと感度の項目がありません。検出エリアはカメラのインターフェイスで設定されるため、パラメーターをコピーすることはできません。

3. **APPLY (適用)** をクリックして、設定を完了します。

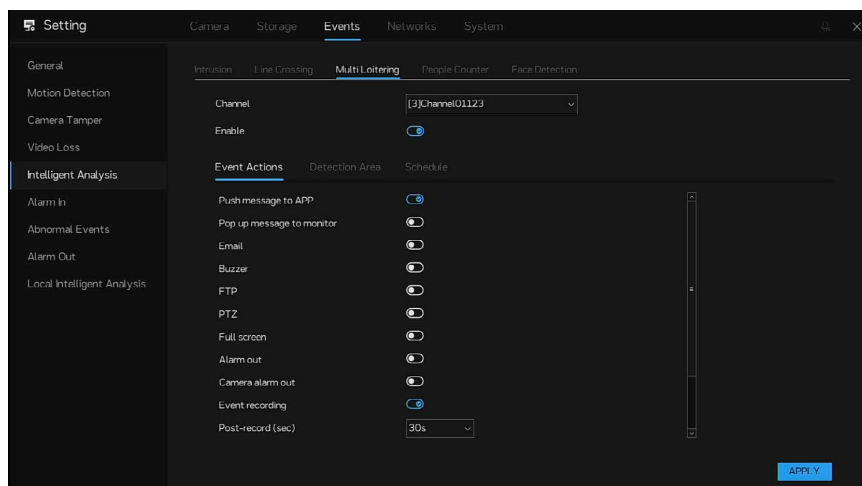
マルチロイタリング

チャンネルカメラは、誰かが設定エリアにとどまっているのをキャプチャーすると、NVR のインテリジェント分析マルチロイタリングアラームをトリガーします。

4. **Main Menu (メインメニュー) > Events (イベント) > Intelligent Analysis (インテリジェント分析) > Multi Loitering (マルチロイタリング)** に移動します。

Multi Loitering (マルチロイタリング) インターフェイスが表示されません。

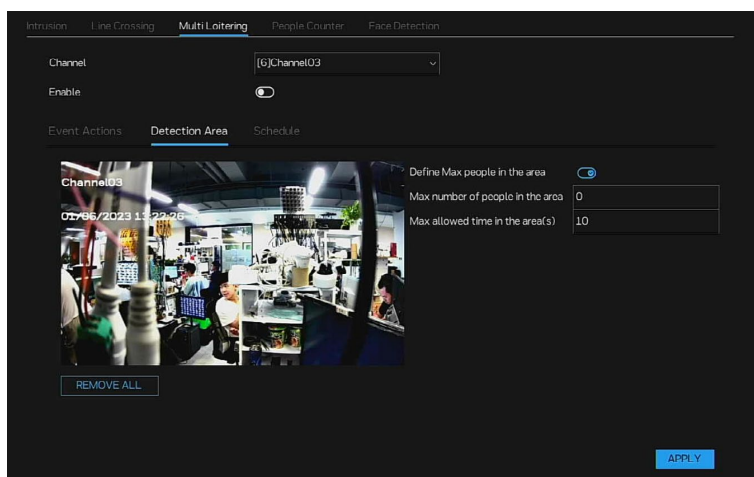
☒ 76 Multi Loitering (マルチロイタリング)



- マルチロイタリングパラメーターの設定を構成するには、[モーション検出](#)を参照してください。

マルチロイタリング機能には感度の項目がありません。検出エリアはカメラのインターフェイスで設定されるため、パラメーターをコピーすることはできません。Define max people in the area（エリア内の最大人数を定義する）を有効にし、Max number of people in the area（エリア内の最大人数）と Max allowed time in the area (s)（エリア内の最大許容時間）を設定します。

☒ 77 Multi Loitering（マルチロイタリング）



- APPLY（適用）** をクリックして、設定を完了します。

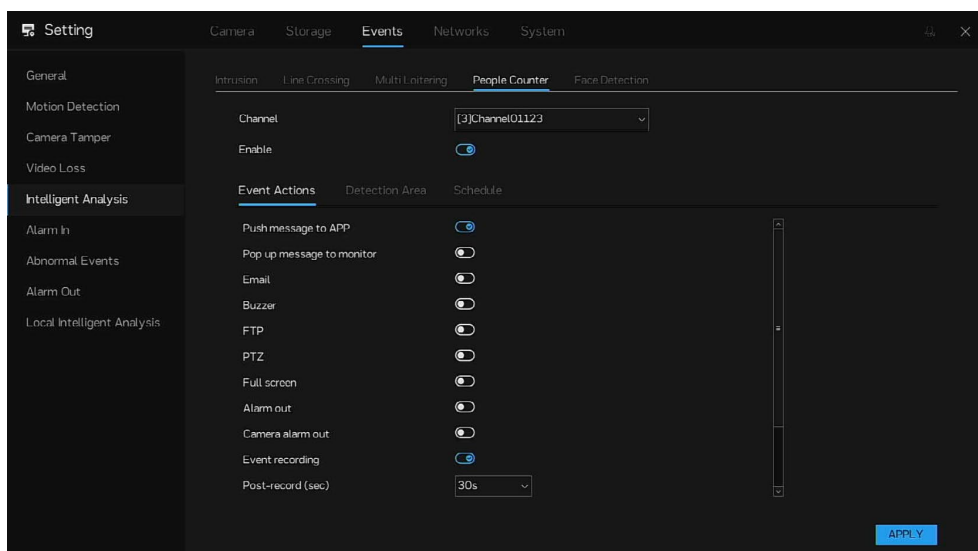
人数カウンター

チャンネルカメラは、設定エリア内の人員をカウントしているときに、NVR のインテリジェント分析人数カウンターアラームをトリガーします。

- Main Menu（メインメニュー） > Events（イベント） > Intelligent Analysis（インテリジェント分析） > People Counter（人数カウンター）** に移動します。

People Counter（人数カウンター） インターフェイスが表示されます。

☒ 78 People Counter（人数カウンター）



2. **People Counter (人数カウンター)** パラメーターの設定を構成するには、**モーション検出**を参照してください。

People Counter (人数カウンター) 機能には感度の項目がありません。検出エリアはカメラのインターフェイスで設定されるため、パラメーターをコピーすることはできません。

☒ 79 People Counter (人数カウンター)

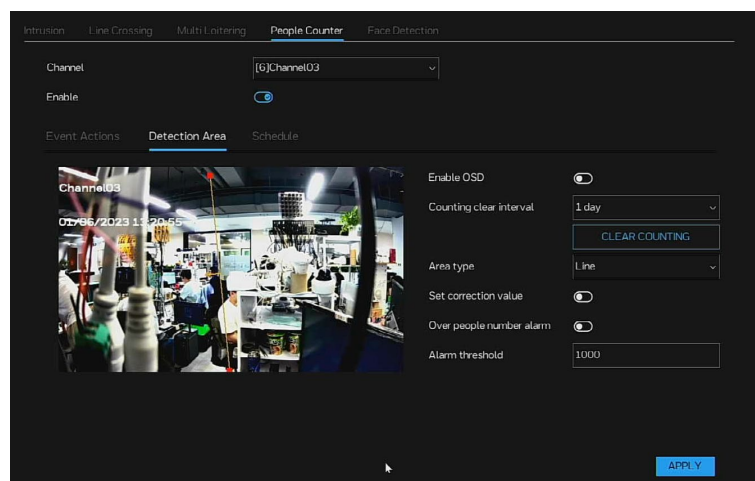


表 20 人数カウンターパラメーター

パラメーター	説明
Enable OSD (OSD を有効にする)	OSD に人数カウンターの数値を表示できるようにします。
Counting clear interval (カウントクリア間隔)	カウントをクリアする間隔として 10-min (10 分) / half-hour (30 分) / 1hour (1 時間) / 12hour (12 時間) / 1day (1 日) のうちから 1 つを選択します。カウントを直接クリアするには、CLEAR COUNTING (カウントのクリア) をクリックします。
Area type (エリアタイプ)	Line (ライン)
Set correction value (補正値を設定する)	カウント数が間違っている場合は、この機能を有効にします。補正値を設定して修正することができます。
Over people number alarm (過剰人数アラーム)	カウントがアラームしきい値を超えたときにアラームを発生できるようにします。
Alarm threshold (アラームしきい値)	値を入力してアラームしきい値を設定します。

3. **APPLY (適用)** をクリックして、設定を完了します。

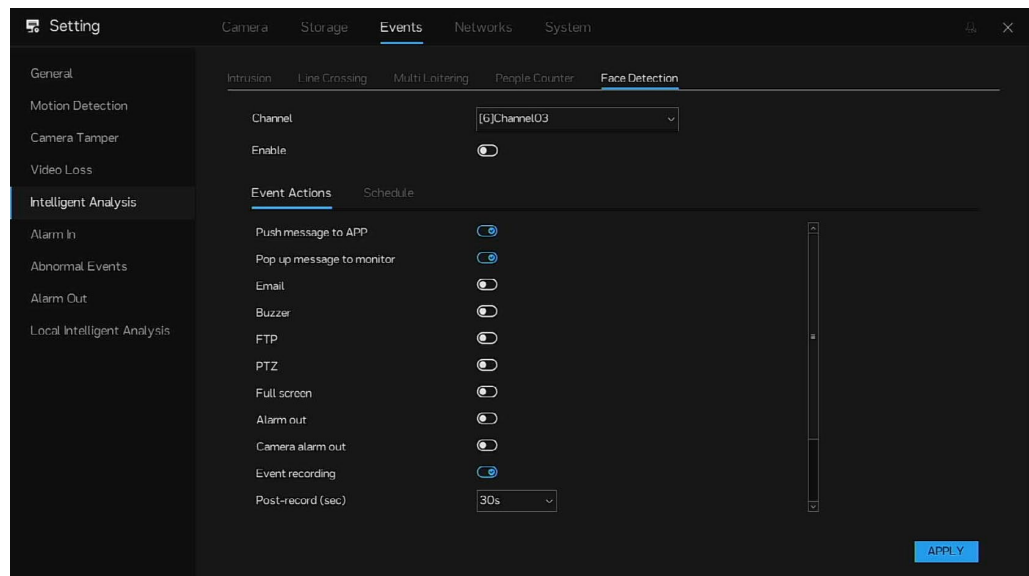
顔検出

チャンネルカメラは、誰かがモニターエリア内にいるのをキャプチャーすると、NVR のインテリジェント分析顔検出アラームをトリガーします。

1. **Main Menu (メインメニュー)** > **Events (イベント)** > **Intelligent Analysis (インテリジェント分析)** > **Face Detection (顔検出)** に移動します。

Face Detection (顔検出) インターフェイスが表示されます。

図 80 Face Detection (顔検出)



2. **Face Detection (顔検出)** パラメーターの設定を構成するには、[モーション検出](#)を参照してください。

Face Detection (顔検出) 機能には検出エリアと感度の項目がないため、パラメーターをコピーすることはできません。

3. **APPLY (適用)** をクリックして、設定を完了します。

アラーム入力

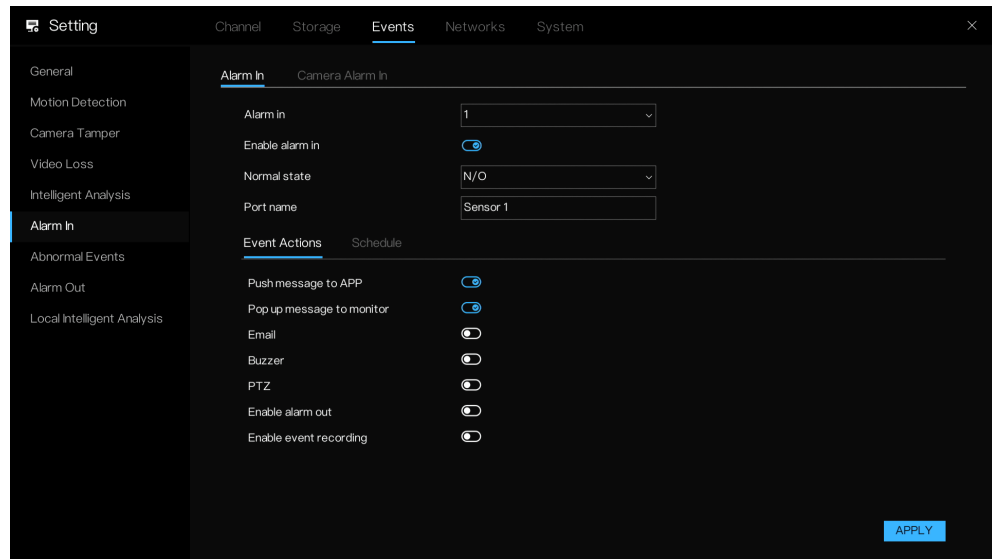
アラーム入力設定

アラームデバイスを NVR アラーム入力ポートに接続すると、システムは、アラーム入力ポートから NVR へのアラーム信号がある場合に、対応するアラーム操作をトリガーすることができます。

1. **Main Menu (メインメニュー) > Events (イベント) > Alarm In (アラーム入力)** に移動します。


Alarm In (アラーム入力) インターフェイスが表示されます。

図 81 Alarm In (アラーム入力)



2. **Alarm-in Port channel number (アラーム入力ポートチャンネル番号)**を設定してから、有効化チェックボックスを選択して機能を有効にします。
3. パラメーターを設定します。

表 21 アラーム入力ポートパラメーター

パラメーター	説明
Alarm in (アラーム入力)	アラームを設定するためのポートを選択します。アラームデバイスもそのポートに接続されます。
Enable alarm in (アラーム入力を有効にする)	チェックボックス  をチェックして、機能を有効にします。
Normal state (ノーマル状態)	N/O (ノーマルオープン) または N/C (ノーマルクローズ) を選択します。
Port name (ポート名)	ポート名を入力します。ポート名は、アラーム情報メッセージに表示されます。
Event Actions (イベントアクション)	表 18 を参照してください。
Schedule (スケジュール)	アラームがアクティブである期間を定義します。詳細については、 モーション検出 を参照してください。

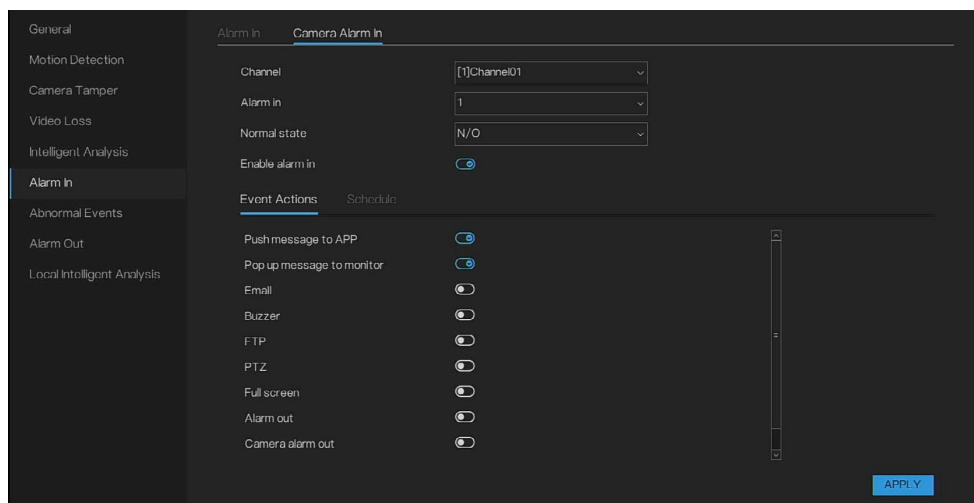
4. **APPLY (適用)** をクリックします。

カメラアラーム入力

アラームデバイスをチャンネルカメラアラーム入力ポートに接続すると、システムは、カメラのアラーム入力ポートからのアラーム信号がある場合に、対応するアラーム操作をトリガーすることができます。

1. **Main Menu (メインメニュー) > Events (イベント) > Alarm In (アラーム入力) > Camera Alarm In (カメラアラーム入力)** に移動します。
Camera Alarm In (カメラアラーム入力) インターフェイスが表示されます。

図 82 カメラアラーム入力ポート

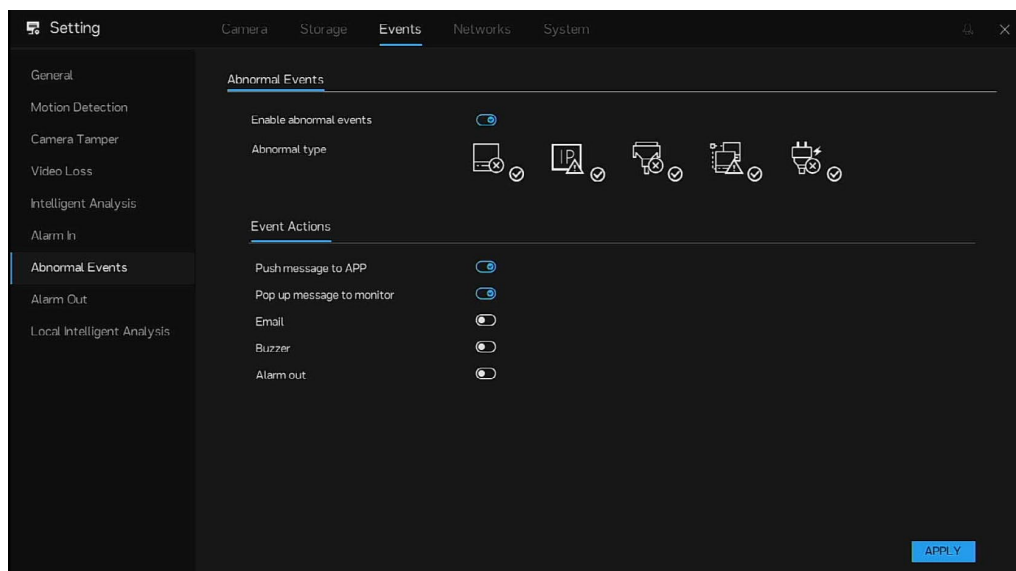


2. **Channel (チャンネル) / Alarm in (アラーム入力) / Normal state (ノーマル状態)** を選択します。
3. カメラアラーム入力ポートをオープンできるようにします。後続の操作は、[アラーム入力設定](#)と同じです。
4. **APPLY (適用)** をクリックします。

異常イベント


1. **Main Menu (メインメニュー) > Events (イベント) > Abnormal events (異常イベント)** に移動します。
Abnormal Events (異常イベント) インターフェイスが表示されます。

図 83 Abnormal Events (異常イベント)



2. パラメーターを設定します。

表 22 異常アラームパラメーター

パラメーター	説明
Enable abnormal events (異常イベントを有効にする)	チェックボックス  をチェックして、機能を有効にします。
Abnormal type (異常タイプ)	ディスクアラーム、IP アドレス競合、ネットワーク切断、フェイルオーバーアラーム、電源アラーム (モデル HN356408xxDR の場合のみ)
Event Actions (イベントアクション)	さまざまなイベントアクションを有効にします。

1. **APPLY (適用)** をクリックして、設定を完了します。

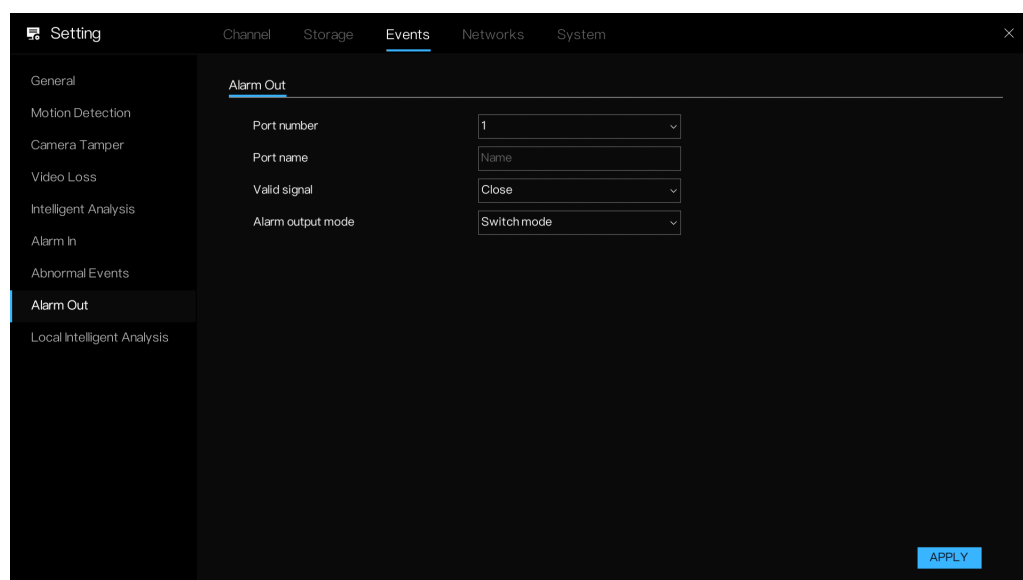
アラーム出力

外部アラームデバイスはアラーム出力ポートに接続されます。

1. **Main Menu (メインメニュー) > Events (イベント) > Alarm out (アラーム出力)** に移動します。

Alarm Out (アラーム出力) インターフェイスが表示されます。

☒ 84 Alarm Out (アラーム出力)



2. パラメーターを設定します。

表 23 アラーム出力パラメーター

パラメーター	説明
Port number (ポート番号)	実際のパネルの I/O ポート OUT 1 に相当します。
Port name (ポート名)	ポート名を入力します。ポート名は、アラーム情報メッセージに表示されます。
Valid signal (有効な信号)	Close (クローズ) : 外部アラーム信号を受信した場合にアラームが生成されます。 Open (オープン) : 外部アラーム信号を受信していない場合にアラームが生成されます。
Alarm output mode (アラーム出力モード)	デバイスは、I/O アラーム信号を受信すると、外部アラームデバイスにアラーム情報を送信します。

3. **APPLY (適用)** をクリックして、設定を完了します。

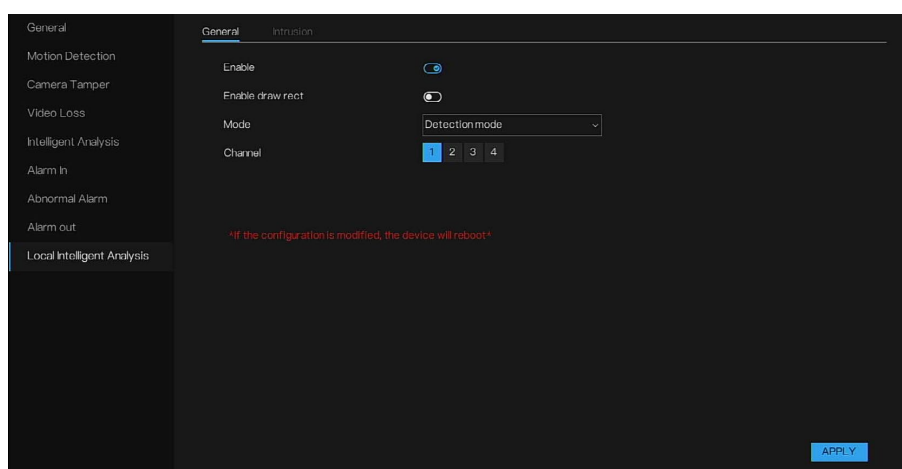
ローカルインテリジェント分析

注： この機能は、PoE NVR の場合にのみ適用できます。非PoE NVR の場合は適用できません。

ローカルインテリジェント分析は、NVR でローカル侵入アラームを管理するためのものです。

1. **Main Menu (メインメニュー) > Events (イベント) > Local Intelligent Analysis (ローカルインテリジェント分析)** に移動します。
Local Intelligent Analysis (ローカルインテリジェント分析) インターフェイスが表示されます。

図 85 Local Intelligent Analysis (ローカルインテリジェント分析)



2. パラメーターを設定します。

表 24 ローカルインテリジェント分析パラメーター

パラメーター	説明
Enable (有効化)	この機能を有効にすると、アラームのパラメーターを設定できます。
Enable draw rect (長方形の描画を有効にする)	長方形の描画を有効にします。検出長方形は侵入のライブビデオに表示されます。
Mode (モード)	検出モードを選択します。
Channel (チャンネル)	チャンネルを選択します。 最大4つのチャンネルを選択できます。

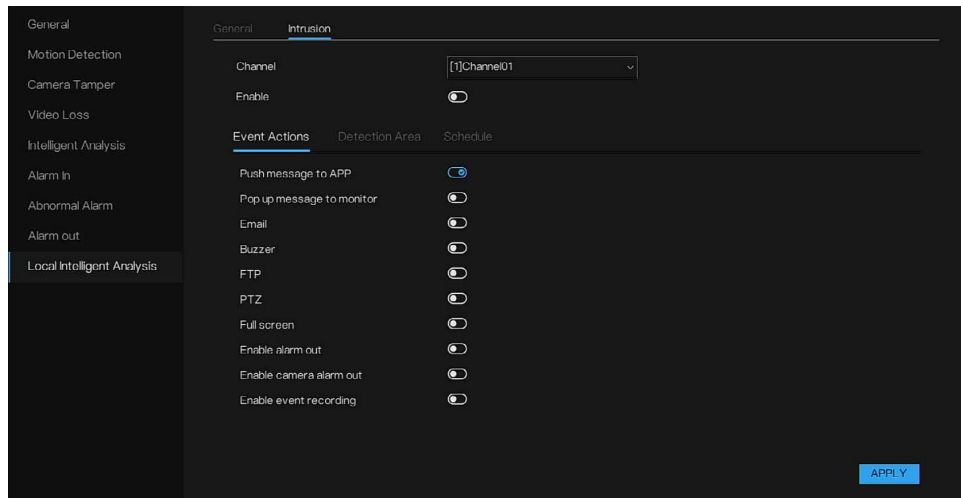
3. **APPLY (適用)** をクリックして、設定を完了します。

注： 侵入を有効または無効にして、チャンネルを変更すると、デバイスが再起動されます。

侵入

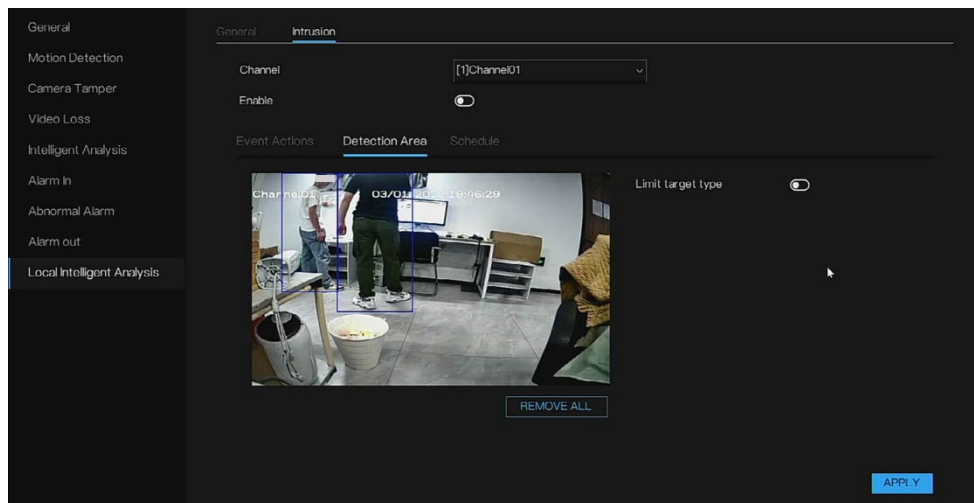
侵入とは、指定したタイプのターゲット（人、車、人と車の両方など）が展開エリアに入ったときにアラームが生成されることを意味します。

図 86 侵入イベントアクション



イベントアクション、検出エリア、およびスケジュールが設定されます。
「モーション検出」を参照してください。

図 87 Detection Area (検出エリア)



侵入検出エリアの設定を構成するには、[スマートモーションエリアの設定](#)を参照してください。

ネットワーク設定の構成

NVR が同じ LAN 内のデバイスと通信できるように NVR ネットワークパラメーターを設定できます。

ネットワーク

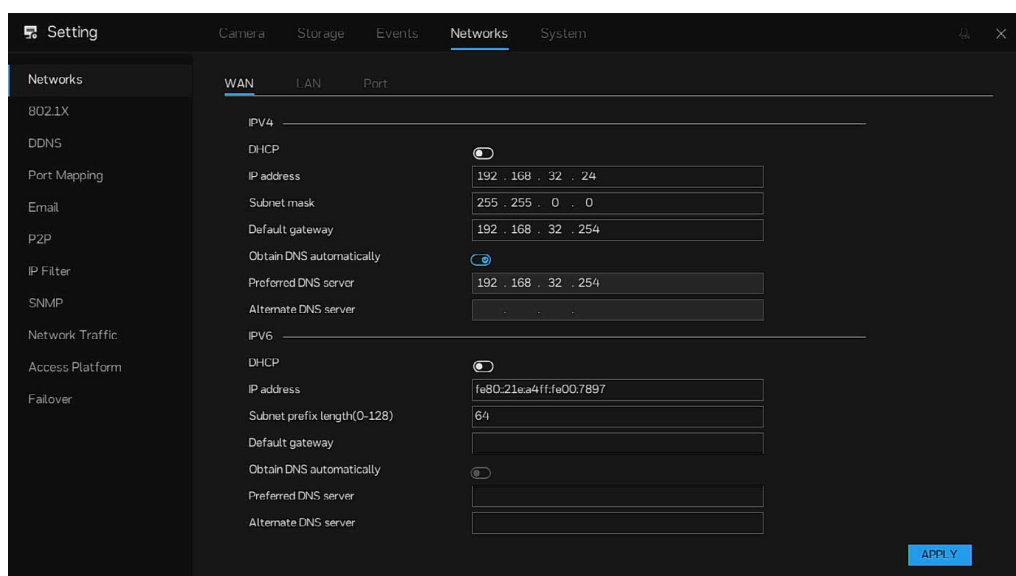
WAN

ユーザーは IP アドレスをブラウザのアドレスバーに入力できるため、ウェブページを介して NVR にリモートアクセスすることができます。

1. **Main Menu (メインメニュー) > Networks (ネットワーク) > Networks (ネットワーク) > WAN** に移動します。

Networks (ネットワーク) インターフェイスが表示されます。IPV4 と IPV6 を設定できます。

図 88 Networks (ネットワーク) - WAN



2. DHCP を有効にすると、ルーターは IP を自動的に分配できます。DHCP を無効にすると、パラメーターを手動で変更できます。
3. パラメーターを設定します。

表 25 IP パラメーター

パラメーター	説明
DHCP	DHCP 機能を有効にします。DHCP を有効にすると、IP アドレス、サブネットマスクおよびデフォルトゲートウェイは設定できなくなります。 <ul style="list-style-type: none">• DHCP が有効な場合、取得した情報は IP Address (IP アドレス) ボックス、Subnet Mask (サブネットマスク) ボックスおよび Default Gateway (デフォルトゲートウェイ) ボックスに表示されます。• IP 情報を手動で設定したい場合は、最初に DHCP 機能を無効にしてください。 PPPoE 接続に成功した場合、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、および DHCP は設定できません。
IP Address (IP アドレス)	IP アドレスを入力し、対応するサブネットマスクとデフォルトゲートウェイを設定します。 IP アドレスとデフォルトゲートウェイは、同じネットワークセグメント内でなければなりません。
Subnet Mask (サブネットマスク)	
Default Gateway (デフォルトゲートウェイ)	
Obtain DNS automatically (DNS を自動的に取得する)	DNS アドレスを自動的に取得するには、この機能を有効にします。

パラメーター	説明
	ローカル DNS サーバー IP について知る場合は、優先 DNS サーバーと代替 DNS サーバーを手動で入力できます。
Preferred DNS (優先 DNS)	Preferred DNS (優先 DNS) ボックスに DNS の IP アドレスを入力します。
Alternate DNS (代替 DNS)	Alternate DNS (代替 DNS) ボックスに代替 DNS の IP アドレスを入力します。

4. **APPLY (適用)** をクリックします。

ルーターの設定

1. IP アドレスを有効にして WAN に接続するために、ルーターにログインして WAN ポートを設定します。
2. ルーターの UPnP 機能を有効にします。
3. **Main Menu (メインメニュー) > Network (ネットワーク) > Network (ネットワーク)** に移動し、ルーターの IP アドレス範囲内で IP アドレスを設定するか、DHCP 機能を有効にして IP アドレスを自動的に取得します。

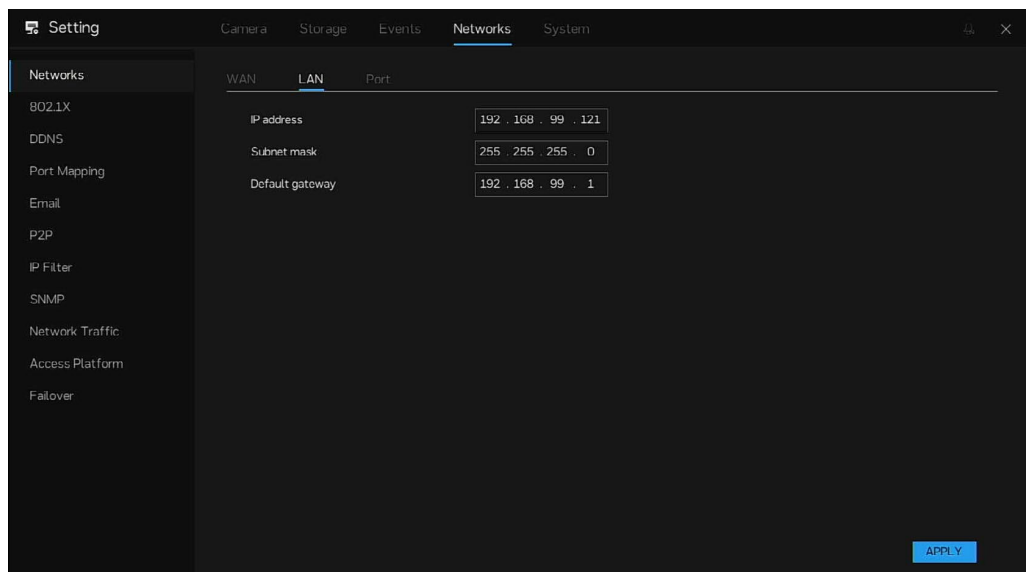
注： WAN ポートと LAN ポートは、同じネットワークセグメント内で設定することはできません。
ローカルネットワークへの LAN ポートアクセスによってカメラを追加できますが、リモートアクセスのために WAN ポートをインターネットに接続する必要があります。

LAN

ユーザーは LAN ポートを設定できるため、ウェブページ、プラットフォーム、rtsp を介して NVR にリモートアクセスすることができます。

1. **Main Menu (メインメニュー) > Networks (ネットワーク) > Networks (ネットワーク) > LAN** に移動します。

図 89 LAN インターフェイス



2. 接続パラメーターの設定を構成します。

表 26 LAN パラメーター

パラメーター	説明
IP Address (IP アドレス)	IP アドレスを入力し、対応するサブネットマスクとデフォルトゲートウェイを設定します。
Subnet Mask (サブネットマスク)	IP アドレスとデフォルトゲートウェイは、同じネットワークセグメント内であればなりません。
Default Gateway (デフォルトゲートウェイ)	IP アドレスを入力し、対応するサブネットマスクとデフォルトゲートウェイを設定します。

3. **APPLY (適用)** をクリックします。

ルーターの設定

LAN に接続するためにデバイスをルーターの LAN ポートに接続します。

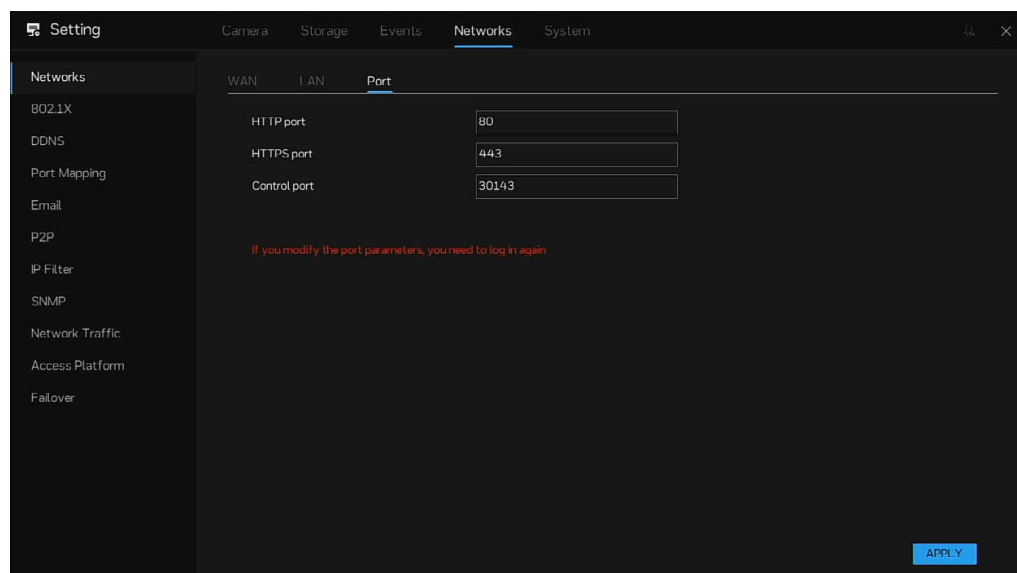
ポート

さまざまな IP ポートを介して NVR ウェブにリモートアクセスすることができます。

1. **Main Menu (メインメニュー) > Networks (ネットワーク) > Networks (ネットワーク) > Port (ポート)** に移動します。

Port (ポート) インターフェイスが表示されます。

図 90 Port (ポート) インターフェイス



2. 接続パラメーターの設定を構成します。

注： ポートパラメーターを変更すると、デバイスが再起動されます。

表 27 ポートパラメーター

パラメーター	説明
HTTP Port (HTTP ポート)	デフォルトの設定値は 80 です。実際の状況に従って値を入力できます。他の値、たとえば 70 を入力した場合は、ブラウザでデバイスにログインするときに IP アドレスの後に 70 を入力する必要があります。
HTTPS Port (HTTPS ポート)	HTTPS 通信ポート。デフォルトの設定値は 443 です。実際の状況に従って値を入力できます。
Control port (制御ポート)	デフォルトの設定値は 30413 です。実際の状況に従って値を入力できます。

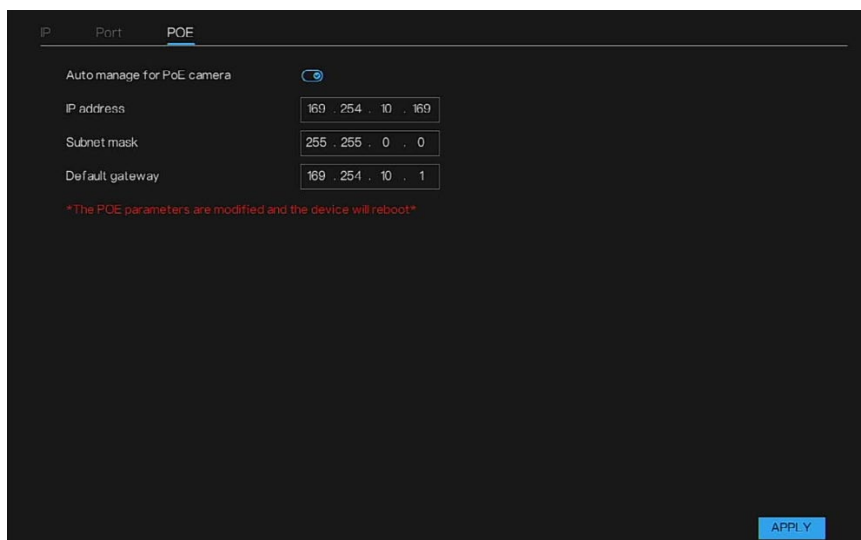
3. **APPLY (適用)** をクリックして、設定を完了します。

POE


この機能は、PoE NVR の場合にのみ適用できます。

1. **Main Menu (メインメニュー) > Networks (ネットワーク) > Networks (ネットワーク) > POE** に移動します。

図 91 POE



2. デフォルトの **Auto manage for PoE camera (PoE カメラの自動管理)** が開きます。ユーザーは、PoE カメラの IP パラメーターを手動で設定できます。
3. **APPLY (適用)** をクリックして、設定を完了します。

注： POE 経由のカメラと POE カメラの自動管理を有効にすると、アイコン  をチャンネルリストに表示できます。

PoE パラメーターが変更され、デバイスが再起動します。

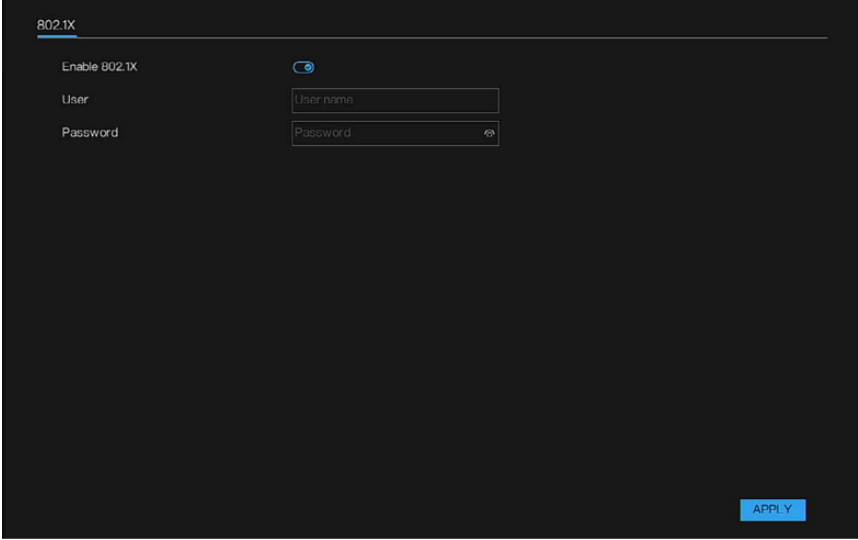
802.1X

802.1X プロトコルは、クライアント／サーバーに基づいたアクセス制御および認証プロトコルです。このプロトコルは、無許可のユーザー／デバイスがアクセスポートを介して LAN/WAN にアクセスすることを制限できます。ユーザーは、802.1X アカウントを介して NVR にアクセスできます。

1. **Main Menu (メインメニュー) > Networks (ネットワーク) > 802.1X** に移動します。

802.1X インターフェイスが表示されます。

図 92 802.1X インターフェイス



2. 機能を有効にし、802.1X アカウントのユーザー名とパスワードを入力します。
3. APPLY (適用) をクリックして、設定を完了します。

DDNS

DDNS (ダイナミックドメインネームサーバー、ダイナミックドメインネームサービス)。ユーザーは、DDNS アカウントを使用して NVR にアクセスできます。

1. **Main Menu (メインメニュー) > Networks (ネットワーク) > DDNS** に移動します。

DDNS インターフェイスが表示されます。

図 93 DDNS インターフェイス

DDNS

Enable DDNS

Protocol

Domain name

User

Password

TEST

APPLY

2. 機能を有効にし、プロトコルをドロップダウンリストから選択します (no_ip / autodns / dyndns / 3322)。
3. ドメイン名を入力します。
4. DDNS アカウントのユーザー名とパスワードを入力します。
5. **APPLY (適用)** をクリックして、設定を完了します。

ポートマッピング

LAN と WAN の関係をマッピングして、WAN 上の IP アドレスで LAN 上のデバイスにアクセスすることができます。

1. **Main Menu (メインメニュー) > Networks (ネットワーク) > Port Mapping (ポートマッピング)** に移動します。

Port Mapping (ポートマッピング) インターフェイスが表示されます。

図 94 Port Mapping (ポートマッピング) インターフェイス

Port Mapping NAT Port

Enable port mapping

Mode

HTTP port

HTTPS port

Control port

Port range [1025-65534]

APPLY

2. 機能を有効にして、パラメーターの設定を開始します。

3. 自動モードまたは手動モードを選択して設定できます。
4. 手動ポートパラメーターの設定を構成します。


表 28 ポートマッピングパラメーター

パラメーター	説明
HTTP Port (HTTP ポート)	デフォルトの設定値は 80 です。実際の状況に従って値を入力できます。他の値、たとえば 70 を入力した場合は、ブラウザでデバイスにログインするときに IP アドレスの後に 70 を入力する必要があります。
HTTPS Port (HTTPS ポート)	HTTPS 通信ポート。デフォルトの設定値は 443 です。実際の状況に従って値を入力できます。
Control port (制御ポート)	デフォルトの設定値は 30413 です。実際の状況に従って値を入力できます。

注： 手動ポート範囲は 1025～66534 でなければなりません。


5. **APPLY (適用)** をクリックして、設定を完了します。
ブラウザで、http:// IP: HTTP ポートを入力します。ユーザーは LAN デバイスにアクセスできます。

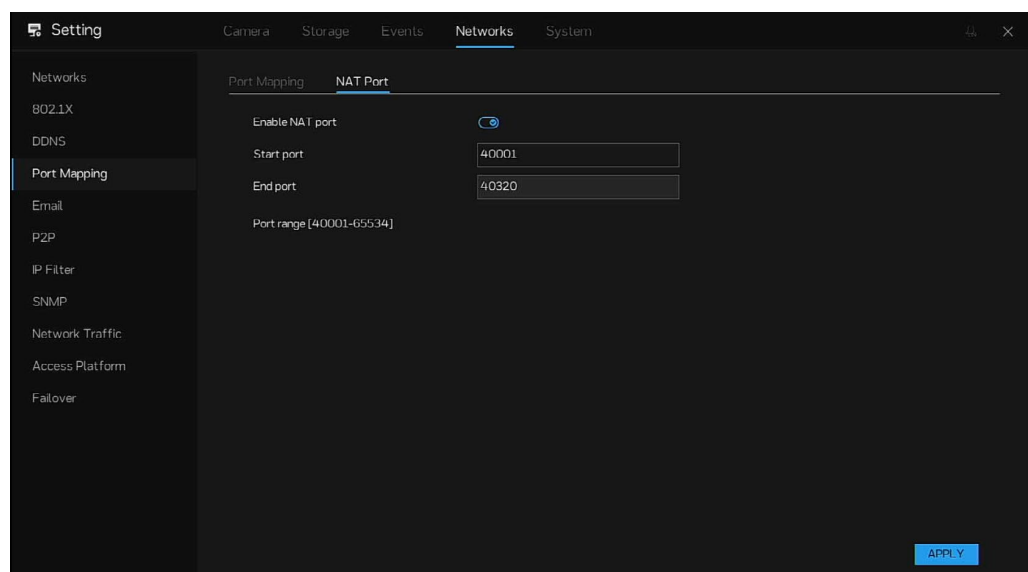
NAT ポート

NAT ポート（ネットワークアドレス変換）ユーザーは、NAT ポートを介して NVR のチャンネルにアクセスできます。ユーザーは開始ポートを設定でき、それによって終了ポートが自動的に生成されます。ウェブインターフェイスで  アイコンをクリックしてチャンネルにアクセスすると、NAT ポートが表示されます。

1. **Main Menu (メインメニュー) > Networks (ネットワーク) > Port Mapping (ポートマッピング) > NAT Port (NAT ポート)** に移動します。

NAT Port (NAT ポート) インターフェイスが表示されます。

 95 NAT Port (NAT ポート) インターフェイス



- 機能を有効にして、ポートを設定します。
- APPLY (適用)** をクリックして、設定を完了します。

電子メール

簡易メール転送プロトコル (SMTP) 機能を有効にすると、デバイスはアラームの発生時に自動的にアラーム情報を特定の電子メールアドレスに送信します。ユーザーは、2つのメールボックスを使用して情報を送信できます。

電子メール設定を構成して、アラームイベントの発生時にシステムが電子メールを通知として送信できるようにすることができます。

- Main Menu (メインメニュー) > Networks (ネットワーク) > Email (電子メール)** に移動します。

Email (電子メール) インターフェイスが表示されます。

図 96 Email (電子メール) インターフェイス

The screenshot shows the 'Email' configuration page in a web interface. On the left is a navigation menu with options like Networks, 802.1X, DDNS, Port Mapping, Email (selected), P2P, IP Filter, SNMP, Network Traffic, and Access Platform. The main area is titled 'Email Server 1' and 'Email Server 2'. It contains several input fields: SMTP server (smtp.gmail.com), SMTP server port (465), Username (*****@gmail.com), Password (Password), Email sender (*****@gmail.com), Alarm receiver 1 (*****@gmail.com), Alarm receiver 2 (*****@gmail.com), Alarm receiver 3 (*****@gmail.com), TLS encryption (TLS), and Sending interval(0-600s) (Off). An 'APPLY' button is at the bottom right.

- 電子メールパラメーターの設定を構成します。

表 29 電子メールパラメーター

パラメーター	説明
SMTP server (SMTP サーバー)	送信者電子メールアカウントの SMTP サーバーのアドレスを入力します。
SMTP server port (SMTP サーバーポート)	SMTP サーバーのポート値を入力します。デフォルトの設定値は 25 です。実際の状況に従って値を入力できます。
Username (ユーザー名)	送信者の電子メールアカウントのユーザー名とパスワードを入力します。
Password (パスワード)	
Email sender (電子メール送信者)	メール受信者の電子メールアドレスを入力します。
Alarm Receivers (アラーム受信者)	通知を受信してほしい受信者の電子メールを入力します。デバイスは、最大 3 人のメール受信者をサポートしています。
TLS encryption (TLS 暗号化)	暗号化タイプを選択します。選択できるタイプは、TLS (デフォルト値)、Starttls、Off (オフ) です。SMTP サーバーによってサポートされる暗号化モードに基づいてパラメーターを設定します。
Sending Interval(0-600s) (送信間隔 (0-600 秒))	これは、同一タイプのアラームイベントについてシステムが電子メールを送信する間隔です。つまり、システムは頻繁なアラームイベントに起因する電子メールを送信しません。値範囲は 0~600 です。0 は間隔がないことを意味します。

パラメーター	説明
TEST (テスト)	TEST (テスト) をクリックして、電子メール送信機能をテストします。構成が正しい場合、受信者の電子メールアカウントは電子メールを受信します。 テストを行う前に、APPLY (適用) をクリックして設定を保存してください。

3. **APPLY (適用)** をクリックして、設定を完了します。

P2P

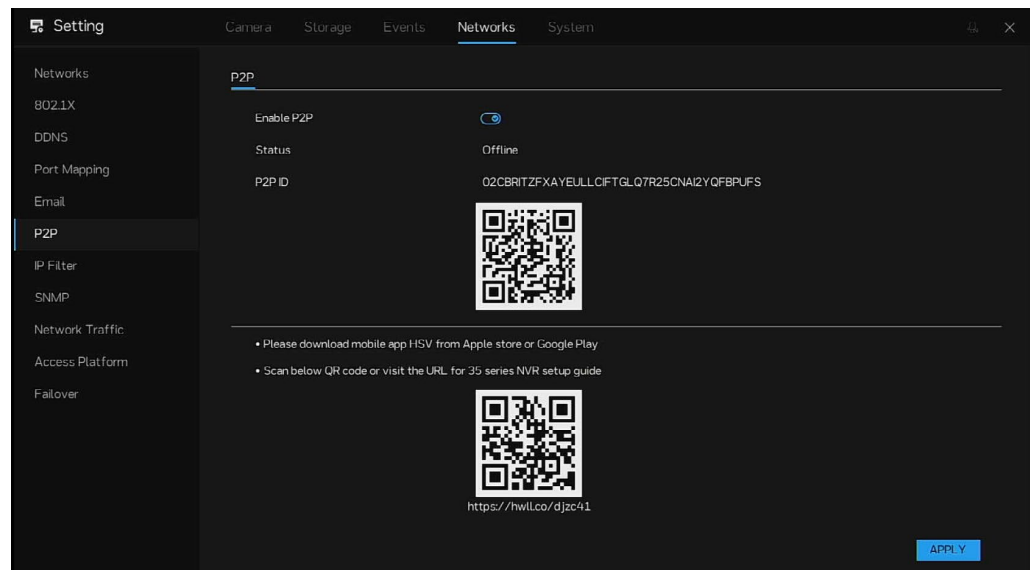
P2P は、便利なプライベートネットワークペネトレーション技術の一種です。動的ドメイン名を申請したり、ポートマッピングを行ったり、トランジットサーバーを導入したりする必要はありません。以下の方法で NVR デバイスを追加すると、複数の NVR デバイスを同時に管理するという目的を達成できます。

注： NVR デバイスをインターネットに接続してください。そうしないと、P2P が正しく動作できません。

1. **Main Menu (メインメニュー) > Networks (ネットワーク) > P2P** に移動します。

P2P インターフェイスが表示されます。

図 97 P2P インターフェイス



2. P2P 機能を有効にします。

P2P 機能を有効にしてインターネットに接続すると、システムはリモートアクセスの情報を収集します。その情報には MAC アドレスやデバイスのシリアル番号が含まれますが、それらに限定されるわけではありません。

3. **P2P forwarding (P2P 転送)** を有効にします。

携帯電話クライアント/HSV プラットフォームとデバイスの接続に失敗すると、接続を維持するために P2P サーバーによってデバイス情報が転送されます。

- 注：
- P2P 転送を有効にするとセキュリティ上のリスクが生じる可能性があります。この機能は注意して使用してください。
 - ユーザーは、以下の2番目のQRコードをスキャンしてNVRセットアップガイドを入手できます。

デバイスの追加を開始するには、以下の操作を行います。

- HSV 携帯電話クライアント：携帯電話で QR コードをスキャンして、デバイスを携帯電話クライアントに追加します。
- HSV PC クライアント：HSV PC クライアントで P2P を選択してデバイスを追加できます。

セキュリティのために、クラウドアカウントにログインしてから P2P 経由でデバイスを追加する必要があります。

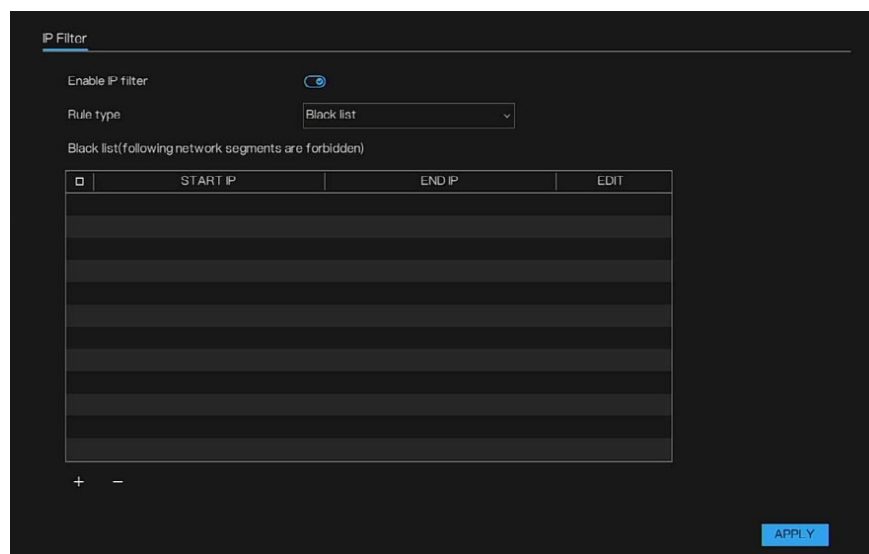
IP フィルター

IP アドレスが NVR にアクセスすることを許可するホワイトリストを設定するか、IP アドレスが NVR にアクセスすることを禁止するブラックリストを設定できます。

1. **Main Menu (メインメニュー) > Networks (ネットワーク) > IP Filter (IP フィルター)** に移動します。

IP Filter (IP フィルター) インターフェイスが表示されます。

図 98 IP Filter (IP フィルター)



2. 機能を有効にし、ルールタイプ (ブラックリストまたはホワイトリスト) を選択します。

Black list (ブラックリスト)：アクセスを禁止する特定のネットワークセグメント内の IP アドレス。

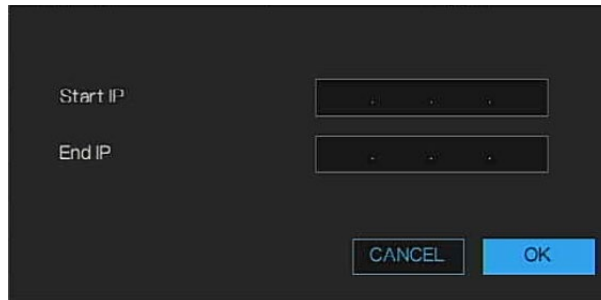
White list (ホワイトリスト)：アクセスを許可する特定のネットワークセグメント内の IP アドレス。

リストから名前を削除するには、リストで名前を選択して **Delete (削除)** をクリックします。

リスト内の名前を編集するには、リストで名前を選択して **Edit (編集)** をクリックします。

使用できるルールタイプは 1 つのみであり、最後に設定したルールタイプが有効となります。

図 99 IP のフィルターへの追加



3. **OK** をクリックして、IP フィルターを保存します。
4. 設定 IP を選択し、**-** をクリックして IP セグメントを削除します。
5. **APPLY (適用)** をクリックして、設定を完了します。

SNMP

デバイスを MIB Builder や MG-SOFT MIB Browser などのソフトウェアと接続すると、デバイスをソフトウェアから管理および制御できます。

- SNMP を管理および制御できるソフトウェア (MIB Builder や MG-SOFT MIB Browser など) をインストールします。
- 現在のバージョンに対応する MIB ファイルを技術サポートから入手します。

注： この機能は、一部のシリーズ専用です。

1. **Main Menu (メインメニュー) > Networks (ネットワーク) > SNMP** に移動します。

SNMP インターフェイスが表示されます。

図 100 SNMPv1/2

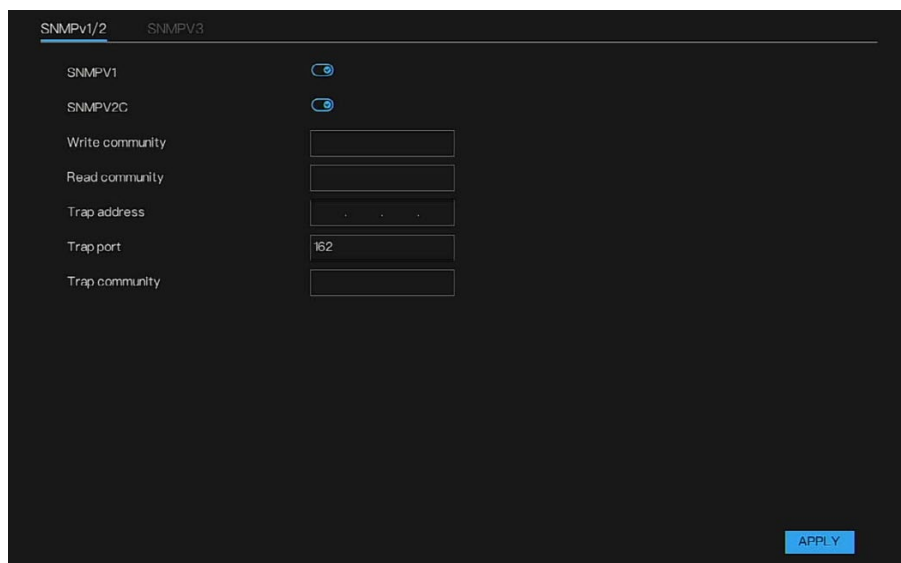
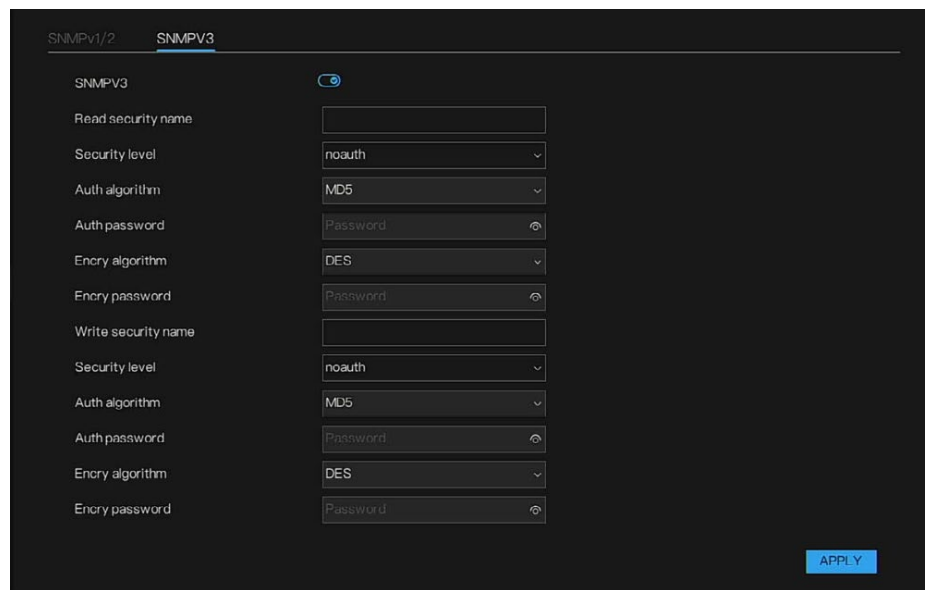


図 101 SNMPV3



2. SNMP パラメーターの設定を構成して、**APPLY (適用)** をクリックします。

表 30 SNMP パラメーター

パラメーター	説明
SNMPV1	SNMP のバージョン。
SNMPV2C	SNMPV1 と SNMPV2C は、コミュニティを使用してマネージャーとエージェントの間の信頼関係を築きます。エージェントは、3つのコミュニティ名（書き込みコミュニティ、読み取りコミュニティ、トラップ）をサポートします。
Write community (書き込みコミュニティ)	書き込みコミュニティの名前。
Read community (読み取りコミュニティ)	書き込みコミュニティはデータの変更しかできません。
Trap address (トラップアドレス)	読み取りコミュニティの名前。
Trap port (トラップポート)	書き込みコミュニティはデータの読み取りしかできません。
Trap community (トラップコミュニティ)	トラップの IP アドレス。
SNMPV3	トラップからのメッセージを受け入れる管理ポート。
Read security name (読み取りセキュリティ名)	トラップのコミュニティ文字列。
Write security name (書き込みセキュリティ名)	トラップコミュニティ文字列を使用すると、マネージャーは非同期情報をエージェントから受信できます。
Security level (セキュリティレベル)	SNMP のバージョン。
Auth algorithm (認証アルゴリズム)	SNMPv3 はコミュニティ文字列を使用しますが、SNMP マネージャーとエージェント間の安全な認証と通信を可能にします。
Auth password (認証パスワード)	読み取りセキュリティの名前。
Encry algorithm (暗号化アルゴリズム)	書き込みセキュリティの名前。
Encry password (暗号化パスワード)	SNMP マネージャーとエージェント間のセキュリティレベルには3つのレベルがあります。

3. MIB Builder で 2 つの MIB ファイルをコンパイルします。

4. MG-SOFT MIB Browser を実行して、コンパイルしたものからモジュールを読み込みます。
5. MG-SOFT MIB Browser で、管理するデバイス IP を入力してから、照会するバージョン番号を選択します。
6. MG-SOFT MIB Browser で、ツリー構造のディレクトリを展開して、デバイスの構成（チャンネル数やソフトウェアバージョンなど）を取得します。

ネットワークトラフィック

Network Traffic（ネットワークトラフィック）インターフェイスでは、送信レートと受信レートを表示できます。LAN のステータスはリストに表示されます。

Main Menu（メインメニュー） > **Networks**（ネットワーク） > **Network Traffic**（ネットワークトラフィック）に移動します。Network Traffic（ネットワークトラフィック）インターフェイスが表示されます。

図 102 Network Traffic（ネットワークトラフィック）インターフェイス



アクセスプラットフォーム

NVR は、HSV プラットフォームにアクセスし、接続の暗号化を可能にすることができます。プラットフォームにアクセスするためのモードは 5 つあります（HSV 暗号化、SIRA、RSTP、ONVIF、CGI）。

1. **Main Menu**（メインメニュー） > **Networks**（ネットワーク） > **Access Platform**（アクセスプラットフォーム）に移動します。

Access Platform（アクセスプラットフォーム）インターフェイスが表示されます。

図 103 Access Platform (アクセスプラットフォーム) インターフェイス

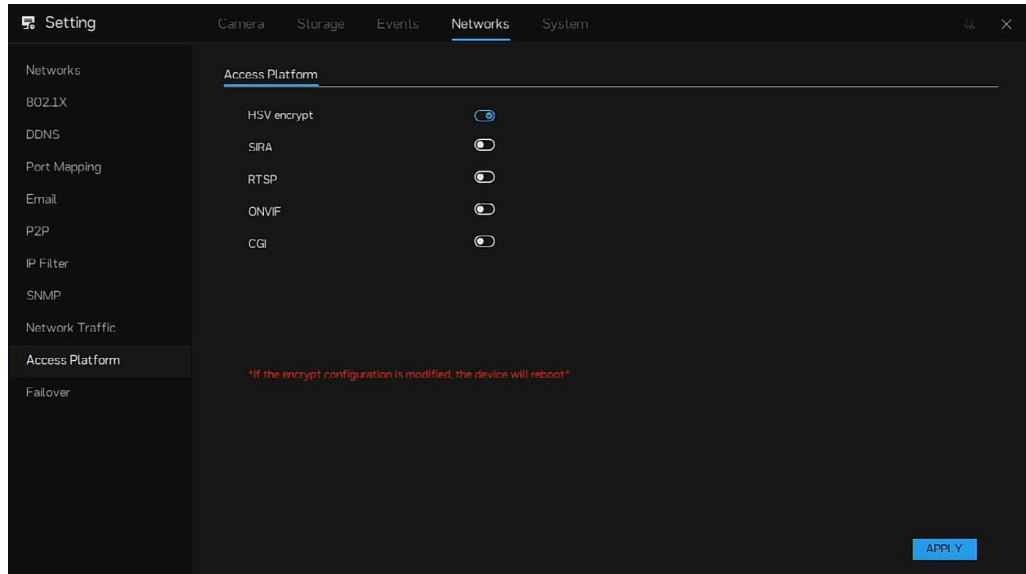
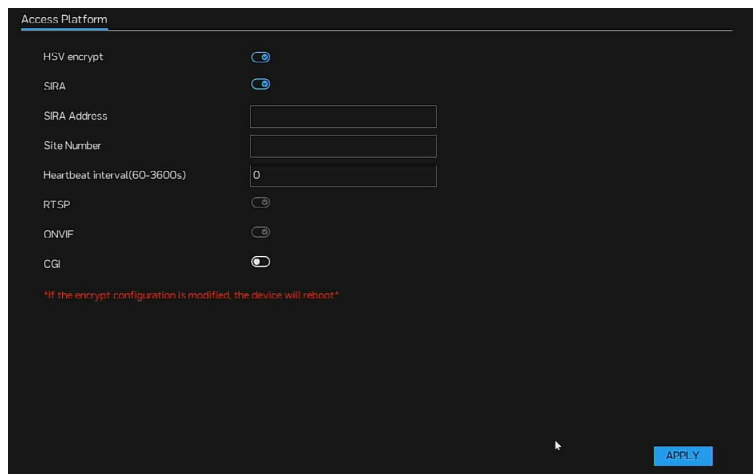


図 104 Access Platform (アクセスプラットフォーム) -SIRA 有効化インターフェイス



SIRA の設定

1. SIRA アドレスと SIRA 番号を入力します。
2. ハートビート間隔の入力値の範囲は 60~3600 です。
3. APPLY (適用) をクリックして、設定を保存します。NTP サーバーが自動的に更新され、タイムゾーンが GMT +4:00 に切り替わります。
4. デバイスを暗号化します。NVR を HSV プラットフォームに追加する場合は、プライベートプロトコル (暗号化) を選択します。
5. **APPLY (適用)** をクリックして、設定を保存します。

フェイルオーバー

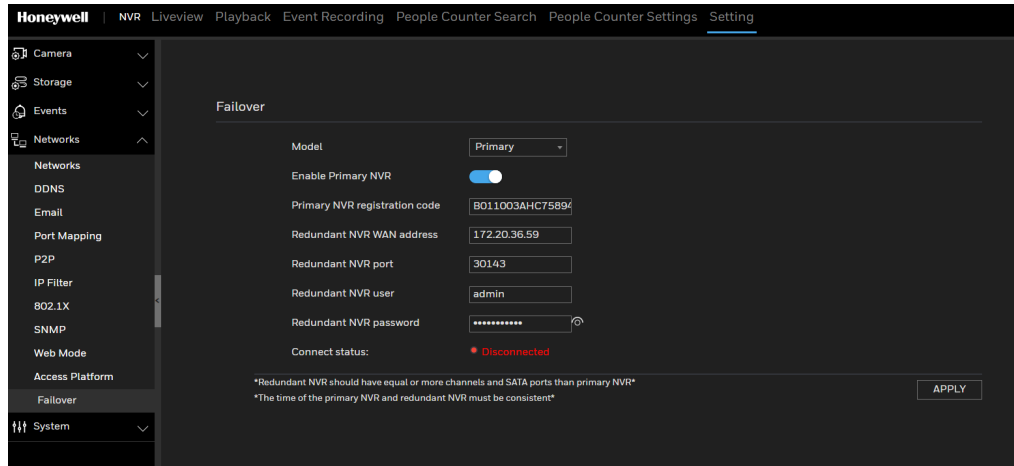
フェイルオーバーは、プライマリ NVR が切断されるか電源がオフのときに自動的に冗長 NVR に切り替わるバックアップ動作モードです。一部のモデルはフェイルオーバー機能をサポートしています。プライマリ NVR が故障した場合、冗長 NVR はフェイルオーバーとして動作し続けることができます。

1. Main Menu (メインメニュー) > Networks (ネットワーク) >

Failover（フェイルオーバー）に移動します。

Failover（フェイルオーバー）インターフェイスが表示されます。

☒ 105 Failover（フェイルオーバー）インターフェイス



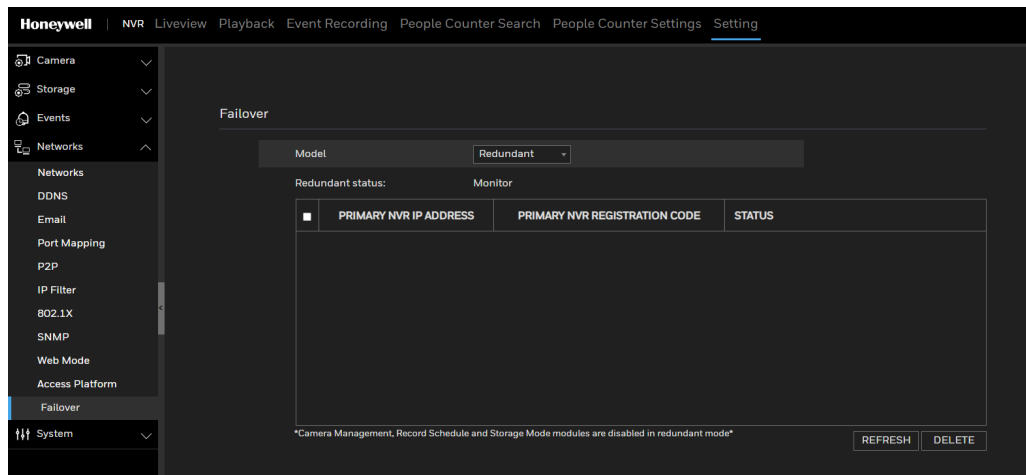
モデルとしてプライマリを選択します。プライマリ NVR を有効にします。冗長 NVR のパラメーターを設定します。

表 31 プライマリ NVR 有効化パラメーター

パラメーター	説明
Enable Primary NVR（プライマリ NVR の有効化）	セキュリティのために冗長 NVR に接続できるようにします。
Redundant NVR WAN address（冗長 NVR WAN アドレス）	冗長 NVR のネットワーク情報。 冗長 NVR のチャンネル数およびディスク数は、プライマリ NVR のチャンネル数およびディスク数以上でなければなりません。
Redundant NVR port（冗長 NVR ポート）	
Redundant NVR user（冗長 NVR ユーザー）	
Redundant NVR password（冗長 NVR パスワード）	
Redundant NVR serial No（冗長 NVR シリアル番号）	
Connect status（接続ステータス）	Disconnected（切断）／Connection timed out（接続タイムアウト）／Username or password error（ユーザー名またはパスワードエラー）／Redundant NVR does not support failover（冗長 NVR がフェイルオーバーをサポートしていない）。

2. **APPLY（適用）** をクリックして、設定を保存します。

☒ 106 Failover（フェイルオーバー）冗長モードインターフェイス



冗長 NVR は、カメラ管理、レコードスケジュールおよびストレージモードモジュールを設定できません。

- 注：**
- HSV は、Windows バージョンと Mac バージョンでフェイルオーバー機能をサポートしています。アプリの場合、フェイルオーバー機能は適用できません。
 - HN351604XXR は PoE モデルであるため、フェイルオーバーをサポートしていません。PoE ポートを使用してカメラと接続した場合、元の NVR がダウンすると、フェイルオーバーは機能しません。他のモデルは、すべてフェイルオーバー機能をサポートしています。
 - 冗長 NVR のチャンネル数および SATA ポート数は、プライマリ NVR のチャンネル数およびポート数以上でなければなりません。
 - 下位チャンネル NVR が上位チャンネル NVR によって引き継がれると、各チャンネルのビットレート制限は上位チャンネル NVR の設定に従います。
 - 下位および上位チャンネルの NVR は、同じバージョンの FW で維持される必要があります。
 - 冗長 NVR は、カメラ管理、レコードスケジュールおよびストレージモードモジュールを設定できません。
 - 冗長 NVR のネットワーク設定で DHCP を無効にする必要があります。
 - 時間を同期された状態に保つには、プライマリ NVR と冗長 NVR の両方について NTP を有効にする必要があります。
 - 使用可能なディスクがない場合（冗長 NVR のディスクエラー／ディスクがない／ディスクがフォーマットされていない／ディスクが一杯）、フェイルオーバー接続は拒否されます。プライマリ NVR は、使用可能なディスクが冗長 NVR にないというエラーメッセージを受信します。

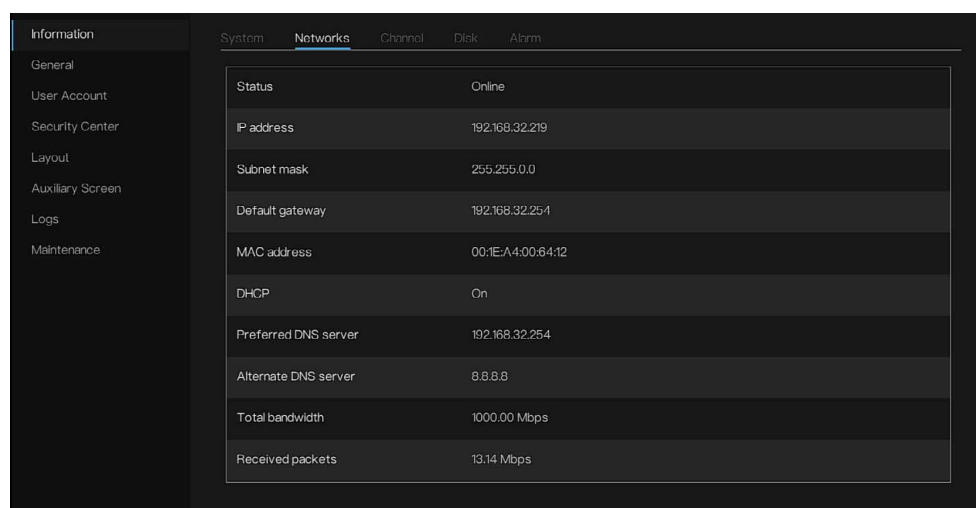
システム設定の構成

情報

基本情報

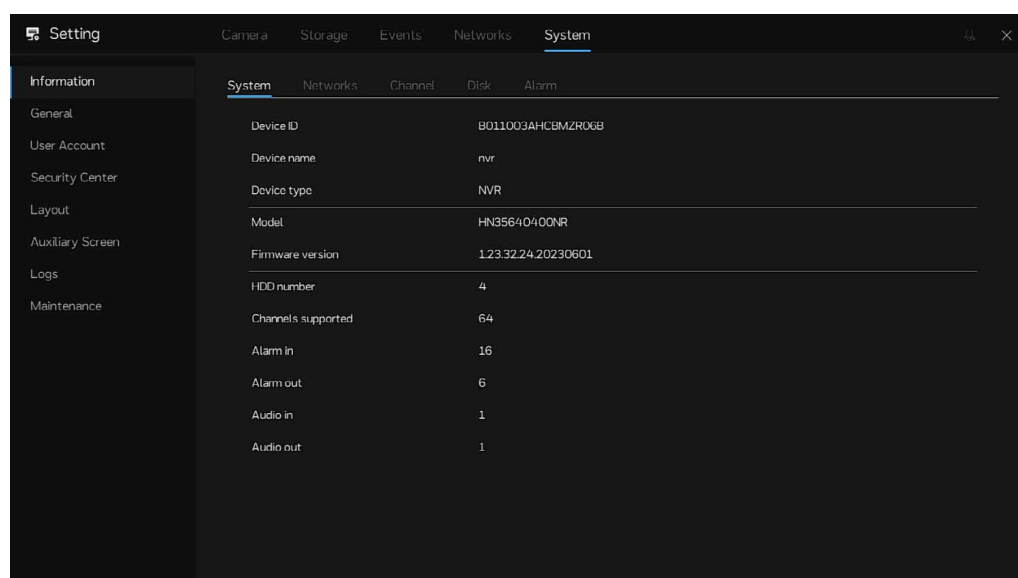
Main Menu (メインメニュー) > System (システム) > Information (情報) に移動します。System (システム)、Networks (ネットワーク)、Channel (チャネル)、Disk (ディスク)、Alarm (アラーム) などのデバイス基本情報を確認することができます。

図 107 ネットワークステータス



Item	Value
Status	Online
IP address	192.168.32.219
Subnet mask	255.255.0.0
Default gateway	192.168.32.254
MAC address	00:1E:A4:00:64:12
DHCP	On
Preferred DNS server	192.168.32.254
Alternate DNS server	8.8.8.8
Total bandwidth	1000.00 Mbps
Received packets	13.14 Mbps

図 108 システムステータス



Item	Value
Device ID	B011003AHCBMZROGB
Device name	nvr
Device type	NVR
Model	HN35640400NR
Firmware version	1.23.32.24.20230601
HDD number	4
Channels supported	64
Alarm in	16
Alarm out	6
Audio in	1
Audio out	1

図 109 チャンネルステータス

CHANN.	NAME	STATUS	VIDEO FORMAT	RESOLUTION	BITRATE(KBPS)
CH1	Channel01	Online	H.264/H.264	2592*1944/704*576	2048/700
CH4	Channel04	Online	H.264/H.264	2304*1296/704*480	2048/700
CH6	Channel06	Online	H.264/H.264	2304*1296/704*480	2048/700
CH7	H.264/H.264	Online	H.264/H.264	1920*1080/704*480	6144/1024

図 110 ディスク使用状況

DISK	CAPACITY	USED	SN	DISK MODEL	STATUS
Disk1	1 TB	197 GB	Z9CEAV5B	ST1000VX005-2EZ102	Normal

図 111 アラームステータス

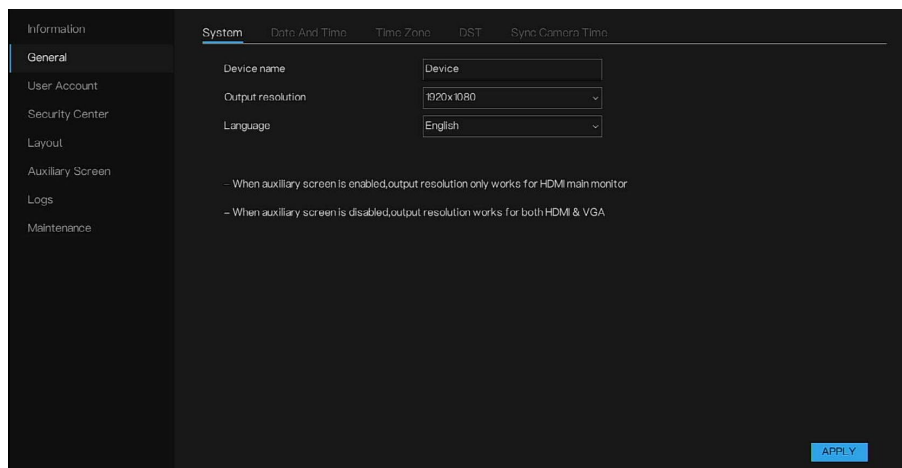
CHANNEL	NAME	MODE	ENABLE	RECORDING CHANNEL
Local--1	Sensor 1	N/O	On	
Local--2	Sensor 2	N/O	On	
Local--3	Sensor 3	N/O	On	
Local--4	Sensor 4	N/O	On	
Local--5	Sensor 5	N/O	On	
Local--6	Sensor 6	N/O	On	
Local->1		Close		
Local->2		Close		

一般

システム

1. Main Menu (メインメニュー) > System (システム) > General (一般) > System (システム) に移動します。

図 112 System (システム)



2. デバイス名を入力します。
3. 出力解像度と言語を選択します。
4. **APPLY (適用)** をクリックして、設定を完了します。

注： デバイス名の場合、ウェブインターフェイスでは{} *<>?!#~¥/ などの特殊文字はサポートされません。

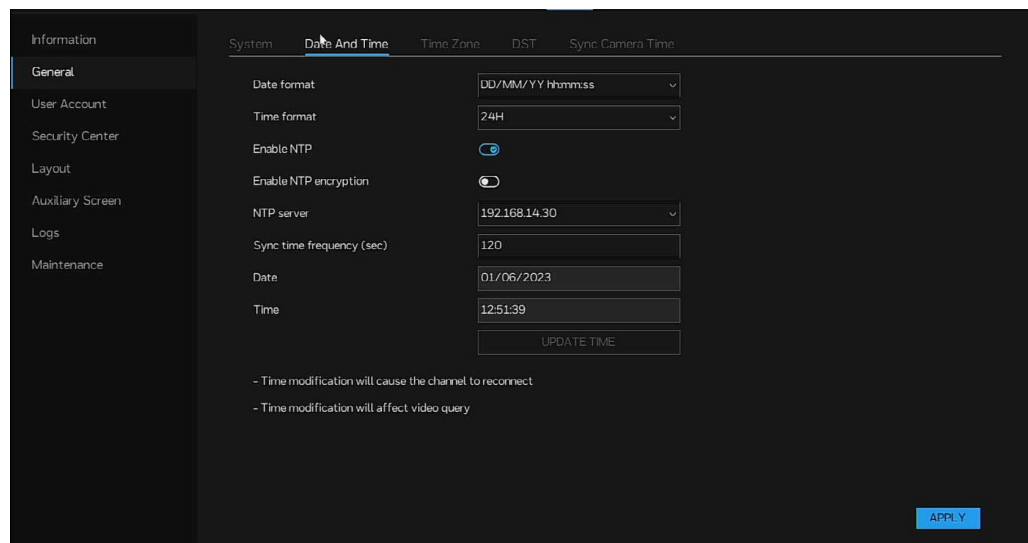
Output resolution (出力解像度) を変更すると、デバイスが再起動します。

補助画面を有効にした場合、出力解像度はHDMIメインモニターでのみ機能します。補助画面を無効にした場合、出力解像度はHDMIとVGAの両方で機能します。VGAは最大1080pをサポートしています。

日付と時刻


1. Main Menu (メインメニュー) > System (システム) > General (一般) > Date And Time (日付と時刻) に移動します。

図 113 Date and Time (日付と時刻)



2. 日付および時刻パラメーターの設定を構成します。

表 32 日付および時刻パラメーター

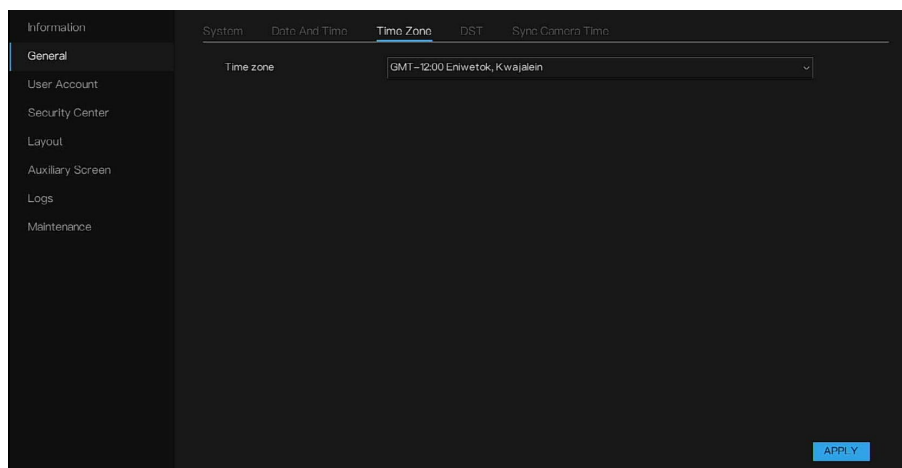
パラメーター	説明
Date format (日付フォーマット)	システムの日付フォーマットを選択します。
Time format (時刻フォーマット)	時刻表示形式として 12H または 24H を選択します。
Enable NTP (NTP を有効にする)	NTP 機能を有効にして、デバイスの時刻を NTP サーバーと同期させます。  NTP を有効にした場合、デバイスの時刻は自動的にサーバーと同期されます。
Enable NTP encryption (NTP 暗号化を有効にする)	NTS を有効にして安全性を確保します。
NTP server (NTP サーバー)	同期する NTP サーバーを選択します。Network (ネットワーク) > Access platform (アクセスプラットフォーム) インターフェイスで SIRA を有効にした場合、NTP サーバーは自動的に更新されません。
Sync time frequency (sec) (同期時間頻度 (秒))	設定時間について NTP サーバーを同期させます。  システム時間をランダムに変更しないでください。ランダムに変更すると、記録されたビデオを検索できなくなります。レコーディング期間を回避するか、システム時間を変更する前にレコーディングを停止することを推奨します。
Date (Time) (日付 (時刻))	ユーザーが同期時間を有効にしなかった場合は、Date (Time) (日付 (時刻)) を手動で変更できます。

APPLY (適用) をクリックして、設定を保存します。

タイムゾーン

1. Main Menu (メインメニュー) > System (システム) > General (一般) > Time zone (タイムゾーン) に移動します。

図 114 Time Zone (タイムゾーン)

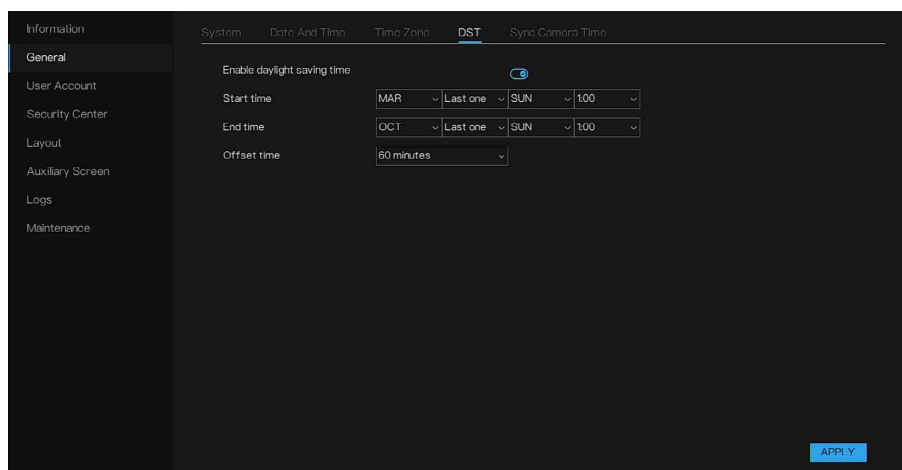


2. タイムゾーンをドロップダウンリストから選択します。
3. **APPLY (適用)** をクリックして、設定を保存します。

DST

1. **Main Menu (メインメニュー) > System (システム) > General (一般) > DST** に移動します。
2. 夏時間機能を有効にします。

図 115 DST



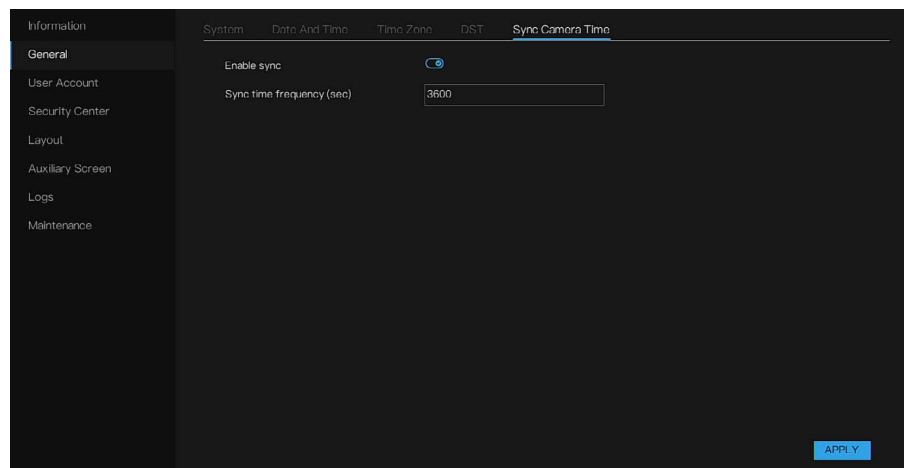
3. DST の開始時間と終了時間を設定します。開始時間については、時間が 1 時間 (ローカルルールによっては 30 分) 遅れます。
4. **APPLY (適用)** をクリックして、設定を保存します。

注： DST 設定はレコーディング時間に影響します。開始時間は、60 分 (デフォルト値) / 30 分 / 120 分を無効にします。終了時間には、2 つの部分のレコーディングが存在します。

同期カメラ時間

1. **Main Menu (メインメニュー) > System (システム) > General (一般) > Sync Camera Time (同期カメラ時間)** に移動します。
2. 同期カメラ時間機能を有効にします。

図 116 Sync Camera Time (同期カメラ時間)



3. 同期時間頻度を入力します。
4. **APPLY (適用)** をクリックして、設定を保存します。

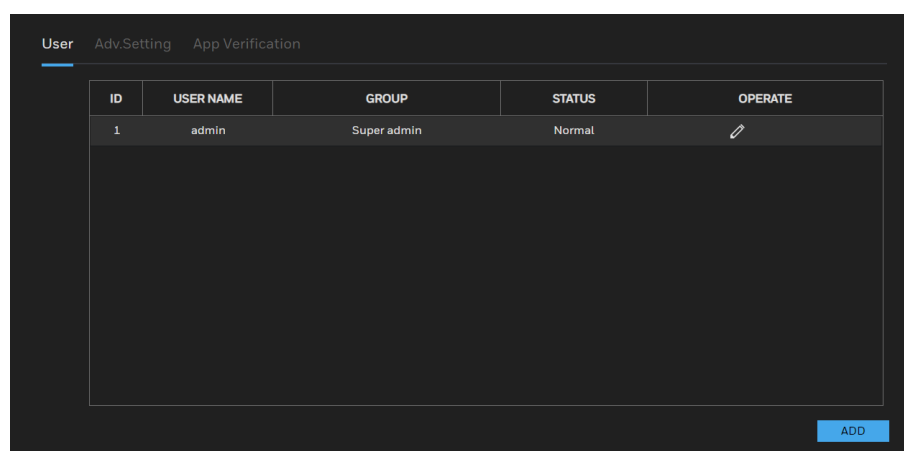
ユーザーアカウント

ユーザー

User (ユーザー) インターフェイスでは、現在のアカウントを編集し、新しいユーザーアカウントを作成できます。

1. **Main Menu (メインメニュー) > System (システム) > User Account (ユーザーアカウント) > User (ユーザー)** に移動します。

図 117 User (ユーザー)




2.  をクリックしてアカウント情報を変更し、**OK** をクリックして設定を保存します。

図 118 Edit User (ユーザーの編集)

✎ Edit User ✕

User name: admin

Password: *****

Confirm password: *****

Group: Super admin

Change password frequency: Never

Live preview

PTZ

Playback

Channel management

Device management

System management

Backup

System maintenance

<input checked="" type="checkbox"/>	CHANNEL
<input checked="" type="checkbox"/>	CH1
<input checked="" type="checkbox"/>	CH2
<input checked="" type="checkbox"/>	CH3
<input checked="" type="checkbox"/>	CH4

Live preview

CANCEL OK

3. **ADD (追加)** をクリックして、新しいアカウントを追加します。

図 119 Add User (ユーザーの追加)

+ Add User ✕

User name:

Password: Password

Confirm password: Password

Group: Administrators

Change password frequency: Never

Password expire date:

Live preview

PTZ

Playback

Channel management

Device management

System management

Backup

<input checked="" type="checkbox"/>	CHANNEL
<input checked="" type="checkbox"/>	CH1
<input checked="" type="checkbox"/>	CH2
<input checked="" type="checkbox"/>	CH3
<input checked="" type="checkbox"/>	CH4

Live preview

CANCEL OK

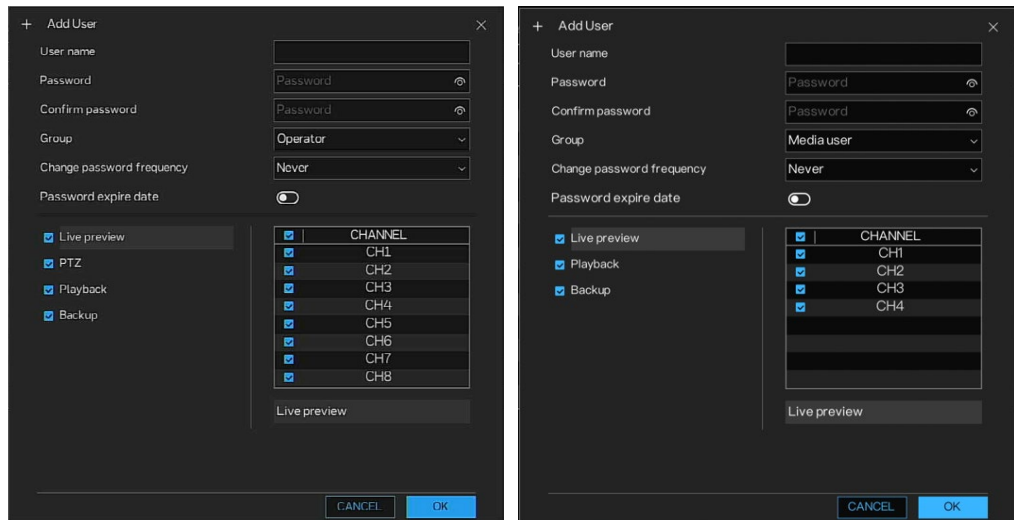
4. ユーザー名とパスワードを入力し、そのユーザーが属するグループをドロップダウンリストから選択し、パスワードの変更頻度を設定します。

その後、現在のユーザーに対応する権限を確認できます。

表 33 追加インターフェイスパラメーター

パラメーター	説明
User Name (ユーザー名)	アカウントのユーザー名とパスワードを入力します。ユーザー名はルールを満たす必要があります。サポートされている特殊文字は、!@#\$%+&'^*()_~?#=#+";&のみです。
Password (パスワード)	パスワード要件： - パスワードは 8~20 文字でなければならない - 大文字と小文字 - 少なくとも 1 つの数字 - 記号 _!@% ^ ~ ? # \$ = + " ; & のみサポートしており、それらの記号のうち少なくとも 1 つを含む必要がある - 最初の文字は数字または文字でなければならない - スペースなし
Confirm password (パスワードの確認)	パスワードを再入力します。
Group (グループ)	アカウントのグループを選択します。管理者、オペレーター、メディアユーザーという 3 つのグループがあります。ユーザー権限は、グループ権限の範囲内でなければなりません。
Change password frequency (パスワード変更頻度)	デバイスの安全性を確保するには、パスワードを定期的に変更します。
Password expire date (パスワード失効日)	ユーザーアカウントの存続期間を設定できます。

図 120 権限



5. **OK** をクリックします。

をクリックして対応するユーザー情報を変更し、 をクリックしてユーザーを削除します。

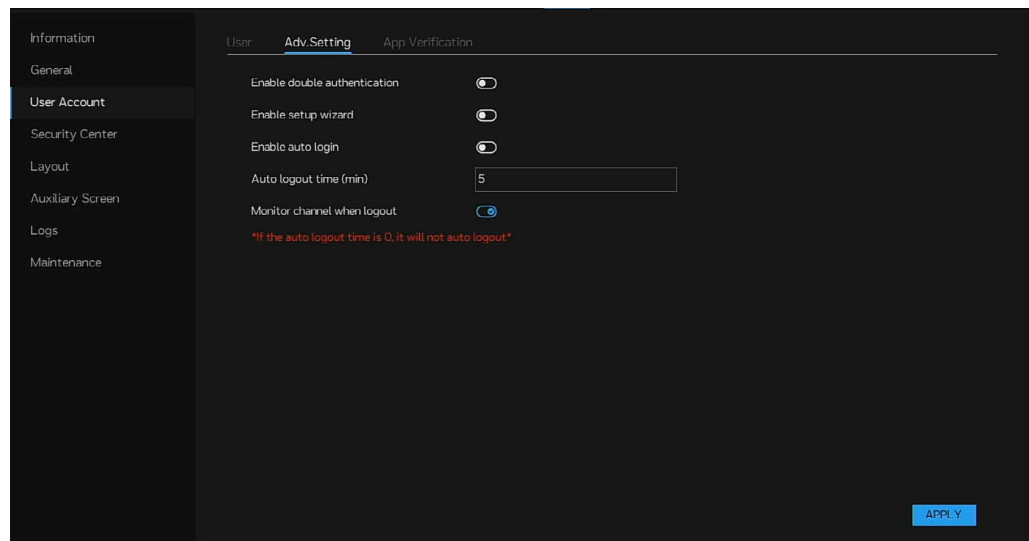
詳細設定

1. **Main Menu (メインメニュー) > System (システム) > User Account (ユーザーアカウント) > Adv. Setting (詳細設定)** に移動し

ます。

Adv.Setting (詳細設定) インターフェイスが表示されます。

図 121 Advance Setting (詳細設定)

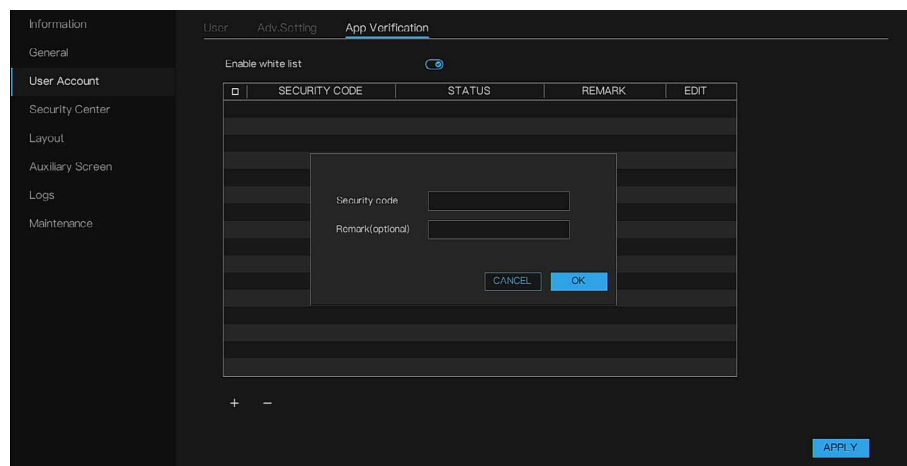


2. 承認のために2つのアカウントのログインを必要とする**二重承認**を有効にします。プレイバックのためにログイン後に認証を必要とするのは非adminユーザーのみであり、認証に使用できるのはadminユーザーのみです。
3. **セットアップウィザード**を有効にすると、デバイスの電源投入時にこのウィザードが表示されます。
4. **自動ログイン**を有効にすると、デバイスは常にログイン状態になります。有効にしなかった場合、デバイスは設定時間後に自動的にログアウトします。ユーザーはログアウトステータス（デバイスのログアウト時にチャンネルのライブビデオが表示されるかどうか）を設定できます。

アプリ検証

アプリ検証ページでは、NVRのセキュリティコードを追加できます。その後、このNVRはアプリで管理できます。アプリ上でNVRを追加するときには、設定したセキュリティを入力する必要があります。

図 122 App Verification (アプリ検証)

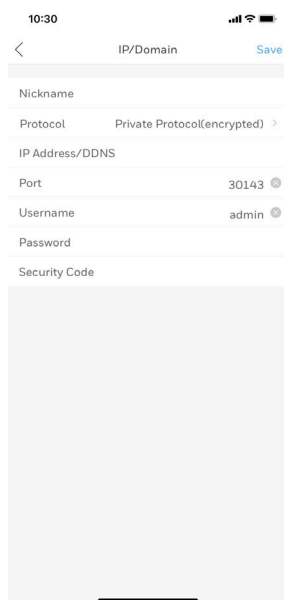


セキュリティコードには、3つのタイプのステータスがあります。

Not activated (非アクティブ) : セキュリティコードは、アプリ上で自由に設定されます。

Online/Offline (オンライン/オフライン) : このセキュリティコードにバインドされたアプリは、NVR に接続中/非接続中です。

図 123 アプリ上でのセキュリティコードの入力



- 注:**
- 最大20個のセキュリティコードをNVRに追加し、それらのセキュリティコードの注釈を変更できます。1つのアプリクライアントには1つのセキュリティコードが適用されます。セキュリティコードは、最大32桁の数値としてのみ設定できます。
 - 1つのNVRは、最大8つのアプリを同時に接続して使用できます (UI、ウェブ、アプリおよびプラットフォームを含む)。

セキュリティセンター

注: この機能は、admin ユーザー専用です。

パスワード

1. Main Menu (メインメニュー) > System (システム) > Security Center (セキュリティセンター) > Password (パスワード) に移動します。

Password (パスワード) インターフェイスが表示されます。

☒ 124 Password (パスワード)

2. 古いパスワードと新しいパスワードを入力し、新しいパスワードを確認します。
3. **APPLY (適用)** をクリックして、設定を保存します。

アンロックパターン

1. **Main Menu (メインメニュー) > System (システム) > Security Center (セキュリティセンター) > Unlock Pattern (アンロックパターン)** に移動します。

Unlock Pattern (アンロックパターン) インターフェイスが表示されず。

☒ 125 Unlock Pattern (アンロックパターン)

2. パスワードを入力し、アンロックパターンを有効にして、ユーザーが描画パターンによってデバイスにログインできるようにします。
3. **PATTERN SETTING (パターン設定)** をクリックして、パターンを設定します。パターンのポイントは5個以上でなければなりません。
4. **APPLY (適用)** をクリックして、設定を保存します。

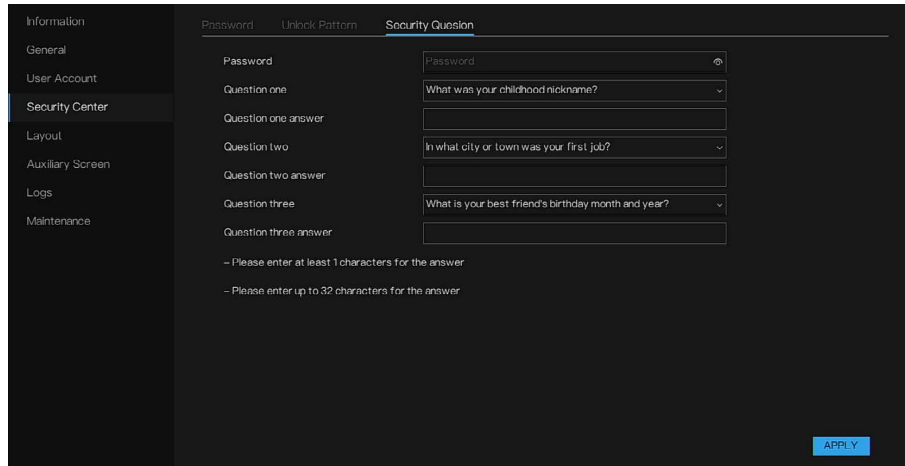
セキュリティ質問

セキュリティ質問と回答を設定できます。セキュリティ質問に正しく回答すると、admin アカウントのパスワードを再設定できます。

1. Main Menu (メインメニュー) > System (システム) > Security Center (セキュリティセンター) > Security Question (セキュリティ質問) に移動します。

Security Question (セキュリティ質問) インターフェイスが表示されます。

☒ 126 Security Question (セキュリティ質問)



2. パスワードを入力します。
3. 適切なセキュリティ質問と回答を入力します。
4. **APPLY (適用)** をクリックします。

セキュリティ質問の設定に成功すると、セキュリティ質問に回答して admin パスワードを再設定できるようになります。

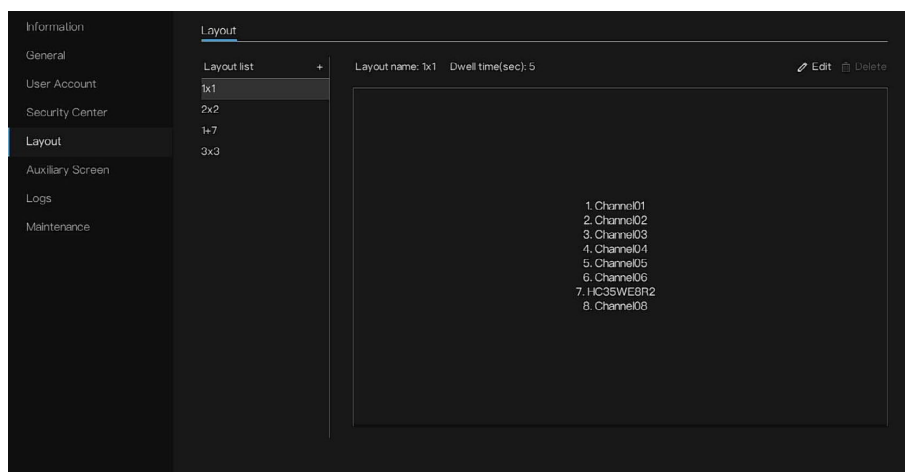
レイアウト

ビデオ表示モードと表示画面におけるドwell時間を設定します。レイアウトは、自動シーケンスするように設定された複数のページです。

1. Main Menu (メインメニュー) > System (システム) > Layout (レイアウト) に移動します。

Layout (レイアウト) インターフェイスが表示されます。

☒ 127 Layout (レイアウト)



2. +をクリックして、新しいレイアウトを追加します。デフォルトのレイア

ウトは、1つの分割画面です。

- レイアウト名を入力し、ドウェル時間を SEQ ドウェル時間ドロップダウンリストから選択します（表示画面は、設定時間に従ってリアルタイムビデオをループ再生します）。
- ページ下部で分割画面のモードを選択します。チャンネルを特定の位置にドラッグしてチャンネルの表示モードを設定するか、位置を最初に選択してから、チャンネルをクリックして配置します。1つの分割画面は複数のチャンネルを再生できます。自動シーケンスは、設定されたページとしての再生です。たとえば、最初の分割画面を2ページ（チャンネル1と2）に設定し、2番目の分割画面を1ページ（チャンネル3）に設定した場合、自動シーケンスを有効にすると、チャンネル1とチャンネル3が表示されてから、チャンネル2とチャンネル3が表示されます。
- APPLY（適用）** をクリックして、設定を保存します。

注： ユーザーは、最大16個のレイアウトを追加できます。

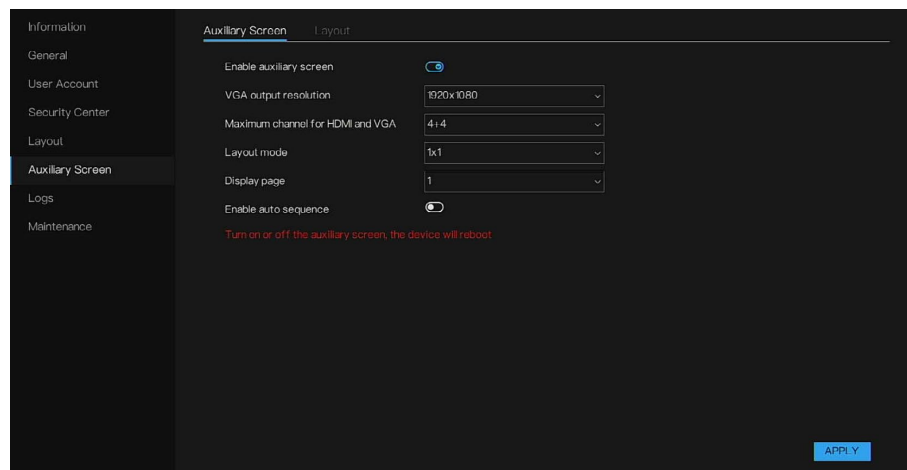
補助画面

注： ● この機能は、チャンネル数が8以上のデバイスの場合にのみ適用できます。メイン画面はHDMIによって接続され、補助画面はVGAによって接続されます。最もサポートされている解像度は1080pです。

- Main Menu（メインメニュー） > System（システム） > Auxiliary Screen（補助画面）** に移動します。

Auxiliary Screen（補助画面） インターフェイスが表示されます。

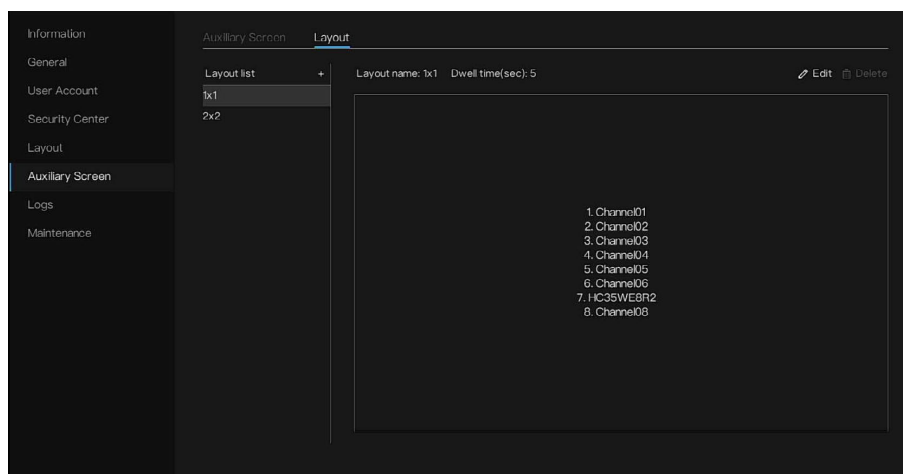
図 128 Auxiliary Screen（補助画面）



- 補助画面を有効にします。
- VGA output resolution（VGA 出力解像度）** を設定します。最も推奨される解像度は 1920*1080 です。
- Maximum channel for HDMI and VGA（HDMI と VGA の最大チャンネル）** をデバイスのチャンネルの「半数+半数」として設定します。たとえば、デバイスが 16 チャンネルの場合、**Maximum channel for HDMI and VGA（HDMI と VGA の最大チャンネル）** は「8+8」になります。

5. デバイスが 16 チャンネルの場合、レイアウトモードは、1x1、2x2 または 1+7 として設定できます（選択されるモードはデバイスのチャンネル数によって異なります）。
6. 表示ページを設定します。補助画面は、設定した表示ページに従って表示されます。補助画面表示は、Layout（レイアウト）タブで設定できます。表示ページの数、設定したレイアウトモードによって決まります。たとえば、16 チャンネルのデバイスについてレイアウトモードを 2 x 2 として設定した場合は、**Display page（表示ページ）** で 1/2/3/4 を選択できます。

図 129 Auxiliary Screen（補助画面） - Layout（レイアウト）



7. 自動シーケンスを有効にすると、補助画面は設定されたレイアウトに従って自動的にシーケンスします。
8. **APPLY（適用）** をクリックします。

ログ

ログ情報を表示および検索したり、ログを USB デバイスにバックアップしたりすることができます。

注： ログレコードサイズは 20M 以下でなければなりません。ログ数が 163840 を超えている場合、最も古いログは隠されます。ユーザーは、最大 16384 個のログを毎回検索できます。検索ログ数が 16384 を超えている場合は、検索時間を削減する必要があります。デバイス構成のパラメーターを変更すると、すべての操作がシステムログに記録されます（アプリ、ローカル UI、HSV クライアント、ウェブインターフェイスを含む）。詳細情報にはログのソースが表示されます。127.0.0.1 の場合、それは P2P または MPC によって接続されたクライアントからのものです。IP アドレスの場合、それはローカルネットワークによって接続されたウェブインターフェイスまたは HSV クライアントからのものです。ローカル UI の場合、それはローカル UI インターフェイスからのものです。

システムログ

1. Main Menu (メインメニュー) > System (システム) > Logs (ログ) > System Log (システムログ) に移動します。
System Log (システムログ) インターフェイスが表示されます。

☒ 130 Logs (ログ) - System Log (システムログ)

The screenshot shows the 'System Log' interface. On the left is a navigation menu with 'Logs' selected. The main area has search filters: Start date (29/05/2022), End date (29/05/2022), Type (Operation log), Start time (23:36:54), and End time (23:36:54). Below the filters is a table of log entries.

ID	START TIME	CHANNEL	LOG TYPE	INFORMATION
1	29/05/2022 23:30:27	--	Login	[admin] 127.0.0.1 login
2	29/05/2022 23:30:55	--	Logout	[admin] 127.0.0.1 logout
3	29/05/2022 23:11:08	--	Login	[admin] 127.0.0.1 login
4	29/05/2022 21:48:12	--	Logout	[admin] 127.0.0.1 logout
5	29/05/2022 21:48:11	--	Power on	system
6	29/05/2022 21:17:10	--	Reboot	[admin] 127.0.0.1
7	29/05/2022 21:46:35	--	Login	[admin] 127.0.0.1 login
8	29/05/2022 21:31:36	--	Logout	[admin] 127.0.0.1 logout
9	29/05/2022 21:31:34	--	Power on	system
10	29/05/2022 21:30:33	--	Reboot	[admin] 127.0.0.1
11	29/05/2022 21:21:04	--	Login	[admin] 127.0.0.1 login
12	29/05/2022 21:20:49	--	Logout	[admin] 127.0.0.1 logout
13	29/05/2022 21:20:48	--	Power on	system
14	29/05/2022 21:19:45	--	Reboot	[admin] 127.0.0.1
15	29/05/2022 21:12:44	--	Login	[admin] 127.0.0.1 login

2. Start Time (開始時間) ボックスと End Time (終了時間) ボックスに、検索する期間を入力します。
3. Type (タイプ) リストで、表示するログタイプを選択し、SEARCH (検索) をクリックします。
4. 検索結果が表示されたら、EXPORT (エクスポート) をクリックして、結果を USB ディスクにバックアップします。

イベントログ

1. Main Menu (メインメニュー) > System (システム) > Logs (ログ) > Event Log (イベントログ) に移動します。
Event Log (イベントログ) インターフェイスが表示されます。

☒ 131 Event Log (イベントログ)

The screenshot shows the 'Event Log' interface. On the left is a navigation menu with 'Logs' selected. The main area has search filters: Start date (29/05/2022), End date (29/05/2022), Type (All), Start time (23:43:06), and End time (23:43:06). Below the filters is a table of event log entries.

ID	START TIME	CHANNEL	LOG TYPE	INFORMATION
1	29/05/2022 22:00:36	Channel07	Video loss	HC35WE8R2
2	29/05/2022 21:59:10	Channel07	Video loss	HC35WE8R2

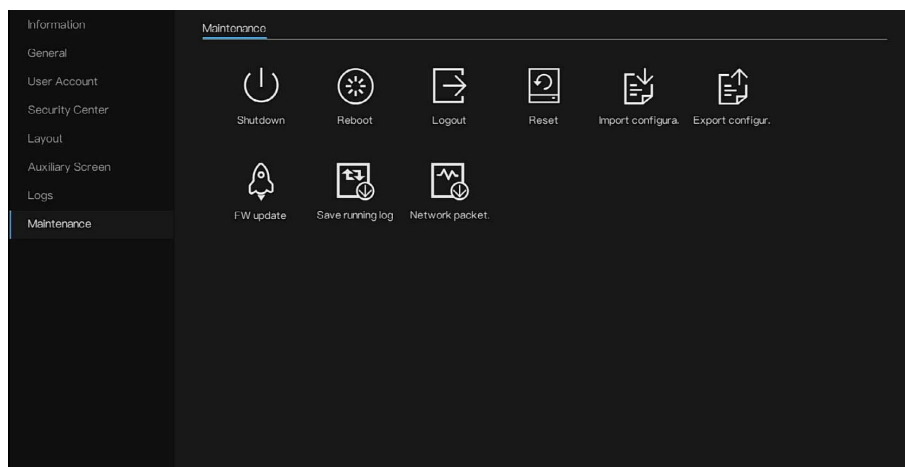
2. Start Time (開始時間) ボックスと End Time (終了時間) ボックスに、検索する期間を入力します。

3. **Type (タイプ)** リストで、表示するログタイプを選択し、**SEARCH (検索)** をクリックします。
4. 検索結果が表示されたら、**EXPORT (エクスポート)** をクリックして、結果を USB ディスクにバックアップします。

メンテナンス

1. **Main Menu (メインメニュー) > System (システム) > Maintenance (メンテナンス)** に移動します。
Maintenance (メンテナンス) インターフェイスが表示されます。

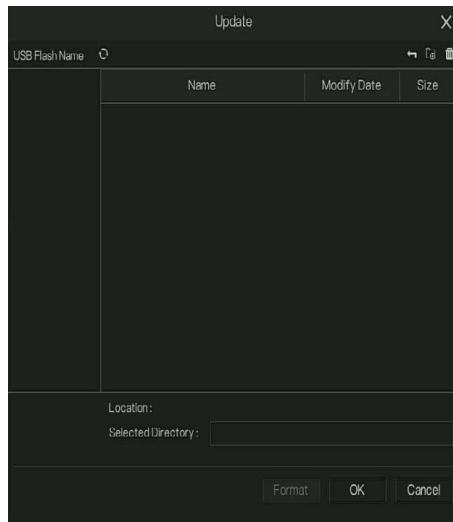
☒ 132 Maintenance (メンテナンス)



2. **Shutdown (シャットダウン) / Reboot (再起動) / Logout (ログアウト) / Reset (リセット)** をクリックするか、必要であれば更新して NVR を操作します。
3. **FW Update (FW 更新)** をクリックして、ファームウェアを更新します。

注： ファームウェアの更新には約5分かかり、その後、ログインインターフェイスに自動的にジャンプします。5分間待ちたくない場合は、ポップアップウィンドウに更新99%と表示されたときに、**F5** を押してウェブを更新し、ログインインターフェイスに移動します。

図 133 Update (更新) インターフェイス



4. 構成のインポートとエクスポートを行います。

注： USB ストレージデバイスが挿入されていることを確認してください。USB ストレージデバイスが挿入されていないと、アップグレードは実行できません。
デバイスを起動すると、システムは接続されているUSB ストレージデバイスといずれかのU-boot アップグレードファイルが存在するかどうかを自動的にチェックします。それらが存在し、アップグレードファイルのチェック結果が正しい場合、システムは自動的にアップグレードします。

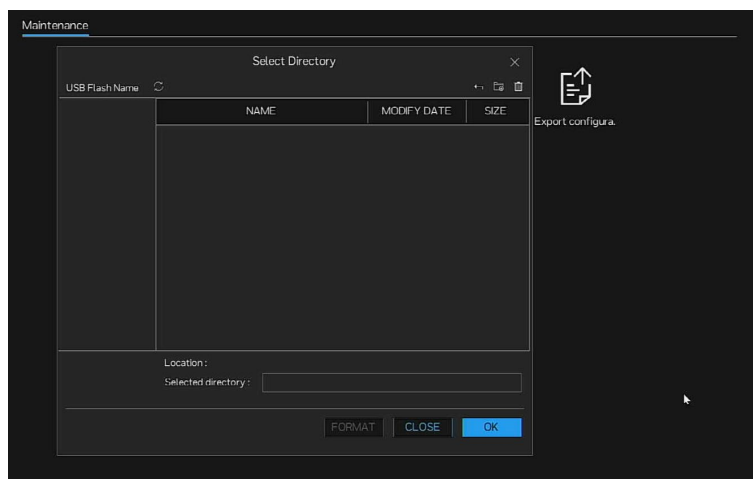
システム設定のエクスポート

同じセットアップを必要とするデバイスが複数存在する場合は、デバイスシステム設定をエクスポートまたはインポートすることができます。

注： バックアップ操作が他のインターフェイス上で進行中の場合は、**Import/Export (インポート/エクスポート)** インターフェイスを開くことはできません。
Import/Export (インポート/エクスポート) インターフェイスを開くと、システムはデバイスを更新し、現在のディレクトリを最初のルートディレクトリとして設定します。
USB ストレージデバイスをフォーマットするには、**Format (フォーマット)** をクリックします。

1. **Main Menu (メインメニュー) > System (システム) > Maintenance (メンテナンス) > Import/Export Configuration (構成のインポート/エクスポート)** に移動します。
2. デバイスのいずれかのUSBポートにUSBストレージデバイスを挿入します。
3. **Import Configuration (構成のインポート) / Export Configuration (構成のエクスポート)** をクリックして、インターフェイスを更新します。ユーザーは、インポートまたはエクスポートするディレクトリを選択できます。

図 134 エクスポートするディレクトリの選択

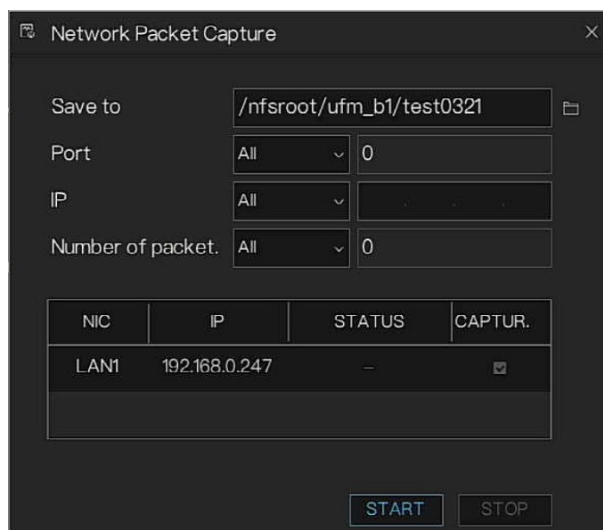


ネットワークパケットキャプチャー

注： NVR が USB ディスクと接続されている場合は、Network Packet Capture (ネットワークパケットキャプチャー) をクリックし、パケットキャプチャーの関連パラメーターを設定してください。キャプチャーされたデータは、ダウンロードしてデバイスの問題分析に使用できます。

1. Main Menu (メインメニュー) > System (システム) > Maintenance (メンテナンス) > Network Packet Capture (ネットワークパケットキャプチャー) に移動します。
2. Network Packet Capture (ネットワークパケットキャプチャー) をクリックして、インターフェイスに入ります。

図 135 Network Packet Capture (ネットワークパケットキャプチャー) インターフェイス



3. ファイルを保存するための USB パスを選択します。
4. ポート、IP、キャプチャーされるパケット数を設定します。デフォルト設定は All (すべて) です。ユーザーは、カスタムを選択して設定できます。

5. **START (開始)** をクリックしてキャプチャーします。**STOP (停止)** をクリックして、キャプチャーを終了します。ユーザーはファイルを分析できます。

ライブビュー設定の構成

ログイン後にシステムがメインメニューに移動したら、ライブビューをクリックします。各チャンネルのモニタービデオを見ることができます。

表示されるウィンドウの数は変わる可能性があります。実際の製品が優先されるものとします。

ライブビュー

ライブビューインターフェイスでは、各チャンネルのモニタービデオを見ることができます。対応する情報をオーバーレイすると、対応するチャンネルに日付、時刻、およびチャンネル名が表示されます。詳細については、以下の表を参照してください。

図 136 ライブビューインターフェイス

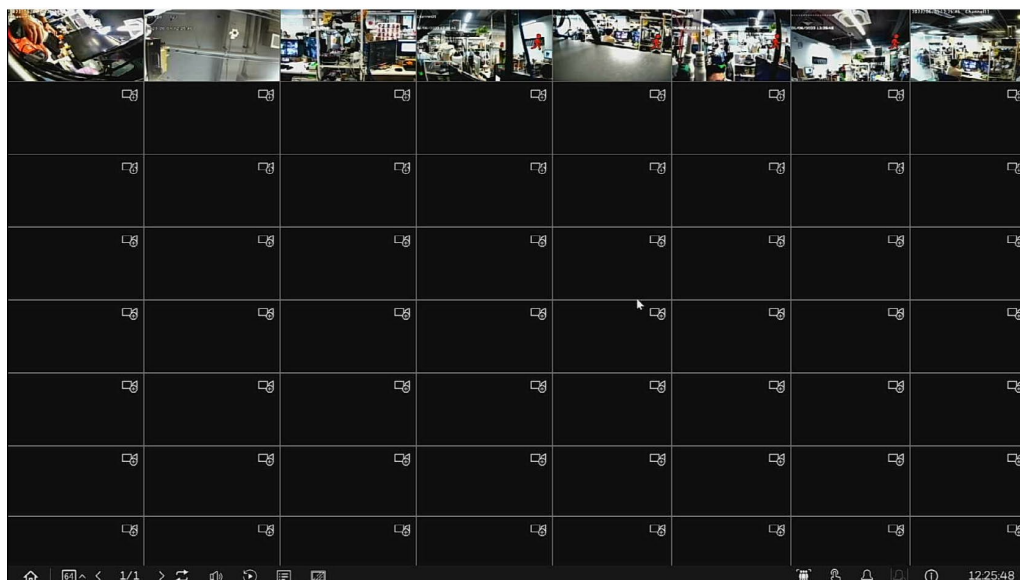







表 34 ナビゲーションバーのアイコン

アイコン	説明
	メインメニュー
	レイアウト。ライブビューを表示するためのレイアウトを選択または設定します。
	レイアウトの次のページに切り替えます。
	自動シーケンス。クリックすると、ライブビューがレイアウト画面によって自動的に再生されます。
	ボリューム。オーディオ出力のボリュームを調整します。










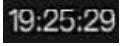


アイコン	説明
	プレイバック。アイコンをクリックすると、プレイバックインターフェイスに入ります。詳細については、 プレイバック を参照してください。
	チャンネル情報。チャンネル番号またはストリーム情報の表示を選択します。チャンネルを選択すると、情報をライブビューに表示できます。
	ライブビューストラテジー。3つのモード（フルエンシー、バランス、リアルタイム）があります。
	人数カウンターOSD。
	手動アラーム。クリックすると、手動アラームポップアップウィンドウに入ります。NVR IO アラーム入力ポートとポートにおけるチャンネルカメラアラームを手動で操作します。
	イベントリスト。リアルタイムアラームメッセージを表示します。
	アラームをミュートします。
	アラームをクリアします。
	情報、ネットワーク、システム、チャンネル、ディスク、アラーム情報。
	NVR の時間。
	現在のチャンネルがレコーディング中です。
	アラーム。現在のチャンネルにモーション検出アラームがあります。

図 137 Manual Alarm (手動アラーム)

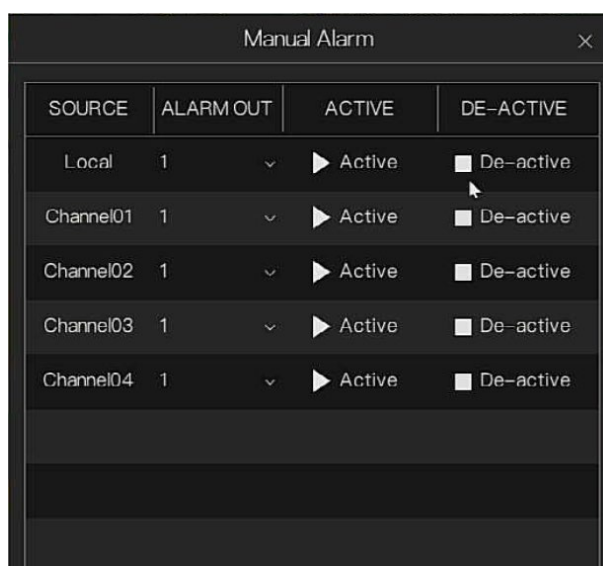


図 138 Events List (イベントリスト) ポップアップウィンドウ

Events List		
CHANNEL	TYPE	START TIME
Channel3	Motion detection	2022/03/29 11:19:56
Channel3	Motion detection	2022/03/29 11:09:03
Channel2	Motion detection	2022/03/29 10:48:42
Channel3	Motion detection	2022/03/29 10:16:52
Channel2	Motion detection	2022/03/29 10:16:38
Channel2	Motion detection	2022/03/29 10:05:22
Channel3	Motion detection	2022/03/29 10:05:11
Channel3	Video loss	2022/03/29 10:02:17
Channel2	Video loss	2022/03/29 10:02:16
--	Network disconn.	2022/03/29 10:02:04
Channel2	Motion detection	2022/03/29 09:59:49
Channel3	Motion detection	2022/03/29 09:59:48

ライブビューコントロールインターフェイス

マウスを現在のチャンネルのビデオに移動して左クリックします。システムがライブビューコントロールインターフェイスをポップアップ表示します。

ライブビューインターフェイス上でマウスを右クリックすると、コントロールバーが非表示になります。







- 注：
- この機能を使用する前にナビゲーションバーがインターフェイスに表示されている場合は、ナビゲーションバーを無効にしてください。
 - ライブビューコントロールインターフェイスはモデルによって異なります。実際のインターフェイスが優先されるものとします。

図 139 ライブビューコントロールバー



表 35 ライブビューコントロールアイコン

アイコン	説明
	レコード：手動レコード プレイバック時間バーは黄色で表示されます。
	インスタントプレイバック クリックすると、すぐにリプレイします。 インスタントプレイバック を参照してください。
	オーディオ チャンネルオーディオを開閉します。

アイコン	説明
	PTZ 監視型および PTZ カメラの場合に使用します。アイコンをクリックすると、PTZ インターフェイスに入ります。詳細については、 PTZ コントロール を参照してください。
	デジタルズーム
	画像 詳細については、「センサー設定」を参照してください。 センサー設定
	双方向オーディオ 双方向トーク を参照してください。
	スナップショット 手動スナップショット を参照してください。
	ワイパー ワイパー付き PTZ カメラの場合は、クリックしてカメラワイパーを制御します。アイコンをクリックするたびに、カメラワイパーが 1 回スワイプします。

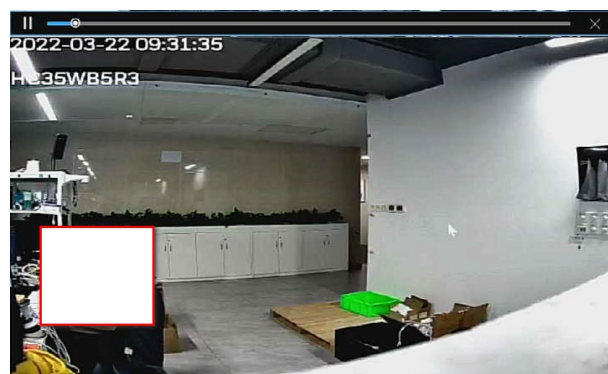
インスタントプレイバック

現在のチャンネルの過去 5 分間のレコードをプレイバックできます。



をクリックして、インスタントリプレイインターフェイスに移動します。

図 140 インスタントリプレイインターフェイス



インスタントリプレイは、現在のチャンネルの過去 5 分間のレコードをプレイバックするためのものです。

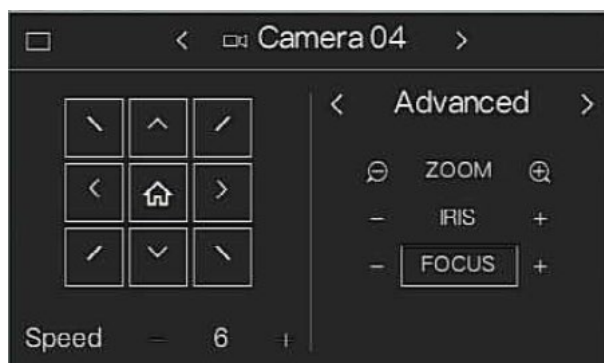
- スライダーを動かして、再生を開始する時間を選択します。
- プレイバックを再生、一時停止、および終了します。
- チャンネル名やレコーディングステータスアイコンなどの情報は、インスタントプレイバック中は隠され、終了するまで表示されません。
- プレイバック中は、画面分割レイアウトの切り替えはできません。

PTZ コントロール

PTZ コントロールパネルは、8 方向へのカメラの方向付け、ズームの調整、フォーカスとアイリスの設定、クイック位置付けなどの操作を実行します。

ライブビュー画面を左クリックして、PTZ を選択します。PTZ コントロールパネルが表示されます。

図 141 PTZ コントロールパネル



- 注：**
- ・ 灰色のボタンは、システムが現在の機能をサポートしていないことを意味します。
 - ・ 一部のシリーズの製品では、PTZ 機能は 1 ウィンドウモードで有効となります。

表 36 PTZ コントロールパネルのパラメーター







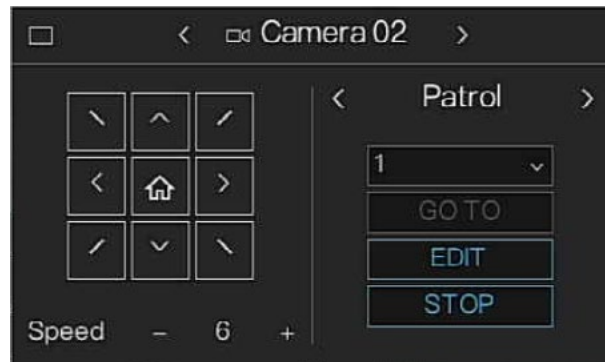
パラメーター	説明
Speed (速度)	移動速度を制御します。値を大きくすると、移動が速くなります。
Zoom (ズーム)	 : ズームアウト  : ズームイン
Focus (フォーカス)	 : フォーカスを遠くにする  : フォーカスを近くにする
Iris (アイリス)	 : 画像を暗くする  : 画像を明るくする
PTZ movement (PTZ 移動)	8 方向をサポートしています。
Preset (プリセット)	PTZ カメラをポイント位置に移動し、ID を選択し、SAVE (保存) をクリックしてプリセットに追加します。1 つの ID を選択し、GO TO (移動) をクリックすると、PTZ カメラはプリセット位置に直接移動します。 NVR ではプリセットポイントが 255 個ありますが、PTZ カメラでは 400 個のプリセットポイントを設定できます。NVR は、カメラの 1~255 個のプリセットポイントのみ調整できます。
Patrol (パトロール)	NVR は、パトロールを設定して複数のプリセットを調整します。

図 142 パトロール追加パネル



ID（追加できるパトロールは4つあります）を選択し、**EDIT（編集）**をクリックして設定を開始します。



+をクリックしてプリセットをパトロールに追加し、滞留の継続時間を設定します。プリセットをさらにパトロールに追加するには、これらのステップを複数回繰り返します。

注： 追加したプリセットを削除することはできません。追加したプリセットは、上書きのみ可能です。

パトロールを保存するには、**SAVE（保存）**をクリックします。プリセットをクリアするには、**REMOVE ALL（すべて削除）**をクリックします。

デジタルズーム

詳細を確認できるように現在のチャンネルの特定のゾーンをズームインすることができます。デジタルズームは、複数チャンネルのズームイン機能をサポートしています。これには以下の2つの方法が含まれます。

- をクリックすると、アイコンがに切り替わります。マウスを移動して拡大します。最大で400%まで拡大できます。左マウスボタンを放すと、デジタルズームします。
- 拡大したいエリアの中心をポイントし、ホイールボタンを回転させてエリアを拡大します。

デジタルズームインターフェイスは、[図 143](#)のように表示されます。画像が拡大された状態にある場合は、画像を任意の方向にドラッグすると、他の拡大されたエリアを見ることができます。マウスを右クリックすると、ズームをキャンセルして元のインターフェイスに戻ります。

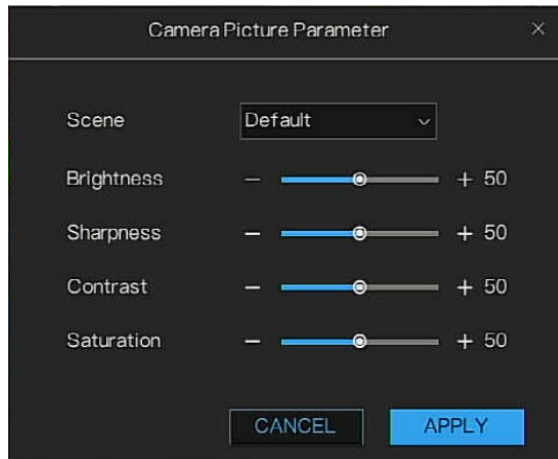
図 143 デジタルズームインターフェイス



画像




ブライトネス、シャープネス、コントラスト、彩度などのカメラ画像パラメーターを設定できます。

図 144 Camera Picture Parameter (カメラ画像パラメーター) インターフェイス




双方向トーク

デバイスとリモートデバイスの間で音声対話を実行して、緊急時の効率性を改善することができます。

1.  をクリックして双方向トーク機能を開始すると、アイコンが  のように表示されます。これで、デジタルチャンネルの残りの双方向トークボタンも無効になります。
2.  をもう一度クリックすると、双方向トークをキャンセルできます。

手動スナップショット

ビデオのスナップショットを撮って、USB ストレージデバイスに保存できます。

 をクリックすると、スナップショットを撮ることができます。スナップショットは、接続されている USB ストレージデバイスに自動的に保存されます。スナップショットは PC 上で見ることができます。

注： USB ディスクを事前に NVR にマウントしていない場合、スナップショットアイコンをクリックすると、「Please mount available devices first (使用可能なデバイスを先にマウントしてください)」というプロンプトが表示されます。

プレイバック

時間インターフェイス

記録されたファイルを NVR 上で検索してプレイバックすることができます。


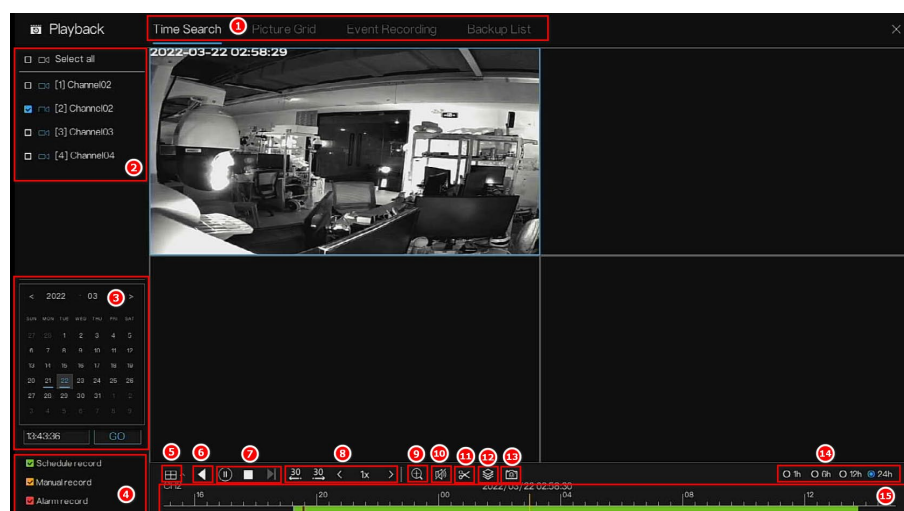









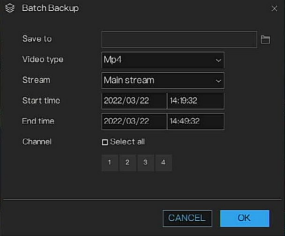


Main Menu (メインメニュー) > Playback (プレイバック) に移動するか、ライブビューボタンナビゲーションバーで  をクリックすると、プレイバックインターフェイスが表示されます。

図 145 Playback (プレイバック)



番号/アイコン	説明
1	プレイバックタイプを選択します (Time Search (時間検索) / Picture Grid (画像グリッド) / Event Recording (イベントレコーディング) / Backup List (バックアップリスト))。
2	チャンネルリスト 青色のアイコン  には、レコーディングビデオがあります。 白色のアイコン  には、レコーディングビデオがありません。
3	カレンダー マークされた青色の日付は、レコーディングビデオがあることを示します (つまり、一部のチャンネルにはレコーディングがありますが、ある時点ですべてのチャンネルにレコーディングが存在することはありません) 。または、詳細な時間を設定してレコーディングビデオに移動します。
4	各種レコード。スケジュールレコード (緑色)、手動レコード (黄色)、またはアラームレコード (赤色) を選択します。色はタイムタールを示しています。
5	 : 分割画面。検索された記録済みビデオまたは画像を表示します。単一チャンネル、4チャンネル、9チャンネル、16チャンネルでの同時再生をサポートしています。実際のインターフェイスが優先されるものとします。
6	 : 逆再生。キーフレームを再生します。

番号／アイコン	説明
7	 :一時停止／停止／次フレーム。クリックすると再生／一時停止が切り替わります。 ユーザーは、ライブビデオと同様にレコードを操作できます。
8	 : 30 秒逆方向／30 秒順方向／3 倍速-／3 倍速+
9	 : デジタルズーム。アイコンをクリックして 1 つの画面に入り、チャンネルをデジタルズームします。
10	 : オーディオ。チャンネルオーディオを開閉します。
11	 : クリックしてバックアップを開始します。もう一度クリックしてバックアップを終了すると、ポップアップウィンドウが表示されます。SAVE (保存) をクリックして、NVR にマウントされている USB ディスクにレコードを保存します。  : ストリームとビデオのタイプを選択できます。
12	 : バッチバックアップ。アイコンをクリックしてポップアップウィンドウに入り、バッチバックアップを設定します。 保存するためのパス、 Video type (ビデオタイプ) (MP4 または AVI)、および Stream (ストリーム) (メインストリームまたはサブストリーム) を選択します。 Start time (開始時間) と End time (終了時間) を設定します。複数チャンネルのビデオダウンロードでは、設定される時間は同じになります。設定された時間内に一部のチャンネルのビデオがない場合、このチャンネルのビデオはダウンロードされません。チャンネルを選択します。OK をクリックしてダウンロードします。結果は Backup List (バックアップリスト) インターフェイスに表示されます。 
13	 : スナップショット。現在の画像をスナップショットします。
14	 時間バー。レコードの時間を表示します。
15	現在の記録済みビデオのタイプと時間を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 1 つの時間バーのみ表示されます。 • 色付きエリアをクリックして、手動レコードまたはアラームレコードを開始します。 • 時間バーの色：緑色はスケジュールレコード、赤色はアラームレコード、黄色は手動レコードを示します。 • 時間バーをクリックしたままドラッグして、ターゲット時間のプレイバックを表示できます。 • 黄色の縦線は中央に置かれます。詳細時間をダブルクリックすると、黄色の線の位置に表示されます。

- 注：
- DST が機能しているため、DST が始まると、ビデオレコーディングは1時間遅れます。
 - NVR 時間は、DST 停止が機能している間は最後の1時間に戻る必要があるため、DST 終了時には2倍のビデオレコーディングがあります。
 - DST 終了時間ビデオレコーディングを再生すると、NVR は常に最初のビデオレコーディングを再生します。2番目のビデオレコーディングの再生を選択することはできません。2番目のビデオレコーディングを再生する場合は、最初のビデオレコーディングの再生が終わるのを待つ必要があります。その後、NVR は引き続き2番目のビデオレコーディングを再生します。
 - DST 終了時間ビデオレコーディングをダウンロードする場合は、DST 終了時間より長いビデオレコーディング期間を選択する必要があります。その後、DST 終了時間ビデオレコーディング (2倍のビデオ) がダウンロードされます。

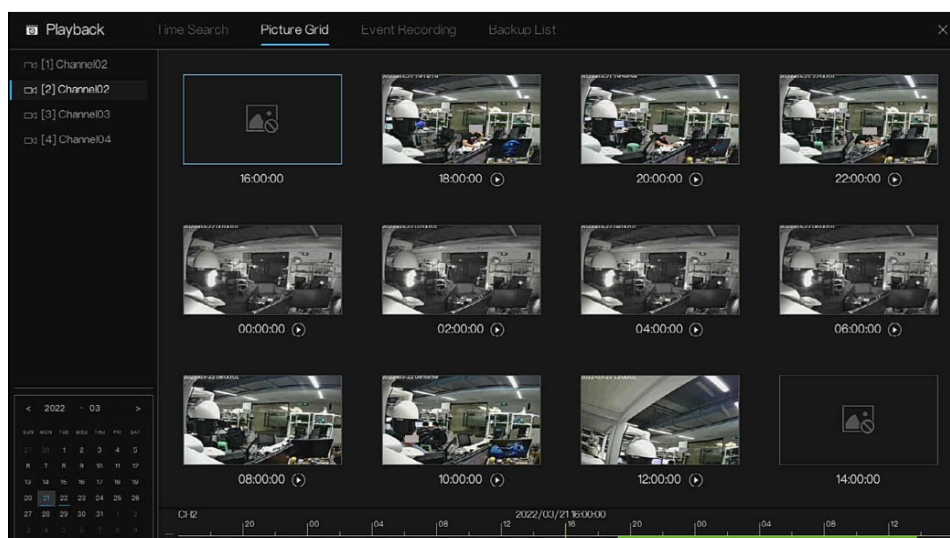
画像グリッド

画像グリッドとは、時間範囲によってチャンネルのビデオを均等に分割し、時間範囲によって分割されたサムネイルに基づいてビデオを検索することを意味します。

1. **Main Menu (メインメニュー) > Playback (プレイバック) > Picture Grid (画像グリッド)** に移動します。

Picture Grid (画像グリッド) インターフェイスが表示されます。

図 146 Picture Grid (画像グリッド) インターフェイス





2. 画像グリッド画面の左側にあるカメラリストでカメラを選択します。今日の最早時間範囲内にカメラで撮影されたビデオは、右側のウィンドウにサムネイルとして表示されます。
3. カレンダーから日を選択します。
4. 1日は12グリッドに分割され、2時間が1つのグリッドとなります。画像をダブルクリックすると、12グリッドに再度分割されます。最小グリッド間隔は1分です。右クリックして、グリッド間隔を広げます。
5. 必要なサムネイルを選択し、 をクリックしてビデオを再生します。

図 147 Replay (リプレイ) インターフェイス



 : 全画面でリプレイします。

イベントレコーディング

注： レコーディング制限：2つのチャンネルメインストリームと「チャンネル数+1」個のチャンネルサブストリームのプレイバックのみを同時にサポートしています。この制限は、ローカルとリモートの両方に共通します。

図 148 Event Recording (イベントレコーディング) ページ

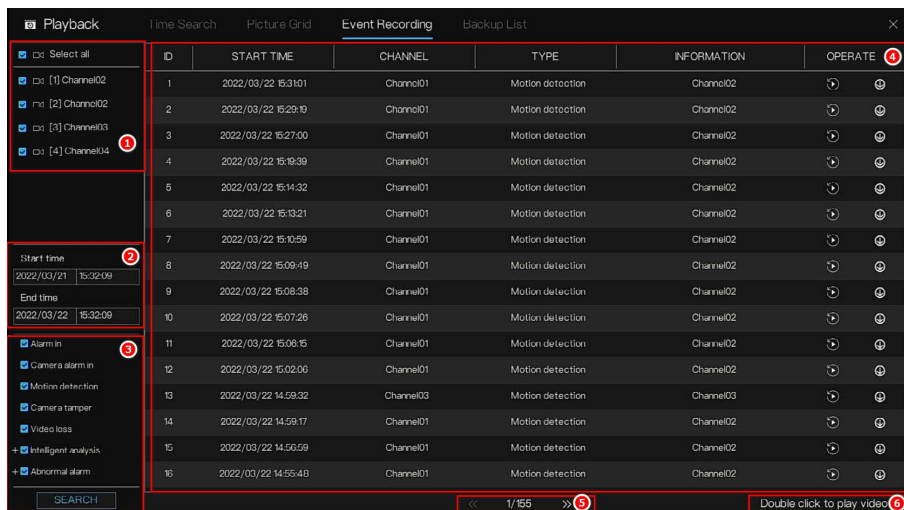




表 37 イベントレコーディングパラメーターの説明

番号/アイコン	説明
1	チャンネルリスト。選択してチャンネルイベントレコーディングを検索します。
2	検索する開始時間と終了時間を設定します。

番号／アイコン	説明
3	アラームタイプを選択します (Alarm in (アラーム入力) / Camera alarm in (カメラアラーム入力) / Motion detection (モーション検出) / Camera tamper (カメラタンパー) / Video loss (ビデオ損失) / Intelligent analysis (インテリジェント分析) / Abnormal alarm (異常アラーム))。
4	検索の結果。その結果を操作します。  : レコーディングビデオを再生します。  : ダウンロード。イベントレコーディングをダウンロードします。NASパスを設定した場合、バックアップビデオは NAS サーバーに保存されます。
5	インターフェイス表示、検索結果の数、次ページへの切り替え。
6	ダブルクリックしてビデオを再生します。マウスを 1 つの ID に移動してダブルクリックすると、ビデオがリプレイされます。

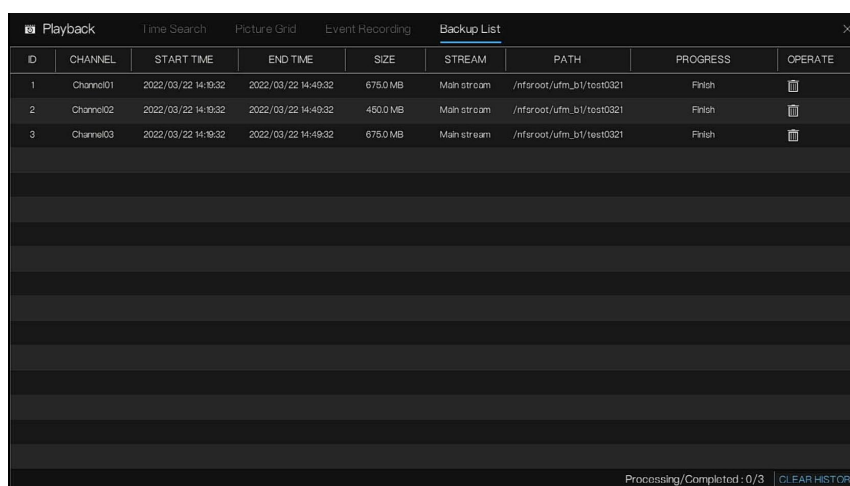
バックアップリスト




ビデオファイルを検索して、USB ストレージデバイスなどの外部ストレージデバイスにバックアップできます。すべてのバックアップ履歴がリストに表示されます。

Main Menu (メインメニュー) > Playback (プレイバック) > Backup (バックアップ) に移動します。

Backup (バックアップ) インターフェイスが表示されます。

☒ 149 Backup (バックアップ) インターフェイス



ID	CHANNEL	START TIME	END TIME	SIZE	STREAM	PATH	PROGRESS	OPERATE
1	Channel01	2022/03/22 14:19:32	2022/03/22 14:49:32	675.0 MB	Main stream	/nfsroot/ufm_b1/test0321	Finish	
2	Channel02	2022/03/22 14:19:32	2022/03/22 14:49:32	450.0 MB	Main stream	/nfsroot/ufm_b1/test0321	Finish	
3	Channel03	2022/03/22 14:19:32	2022/03/22 14:49:32	675.0 MB	Main stream	/nfsroot/ufm_b1/test0321	Finish	

Processing/Completed: 0/3 | CLEAR HISTORY

CLEAR HISTORY (履歴のクリア) をクリックすると、すべての履歴をクリアすることができます。

人数カウンターの構成

People Counter（人数カウンター）インターフェイスでは、ユーザーは選択したチャンネルの人数カウント統計を検索し、設定を構成できます。

検索

チャンネルと **Statistical Type（統計タイプ）**（Day（日）／Month（月）／Year（年））を選択し、検索の詳細日付をカレンダーから選択します。

図 150 People Counter（人数カウンター） - Search（検索）



統計は、選択したチャンネルの合計です。Export（エクスポート）をクリックすると、検索結果をダウンロードできます。統計は、ヒストグラム／折れ線グラフ／リストで表示できます。

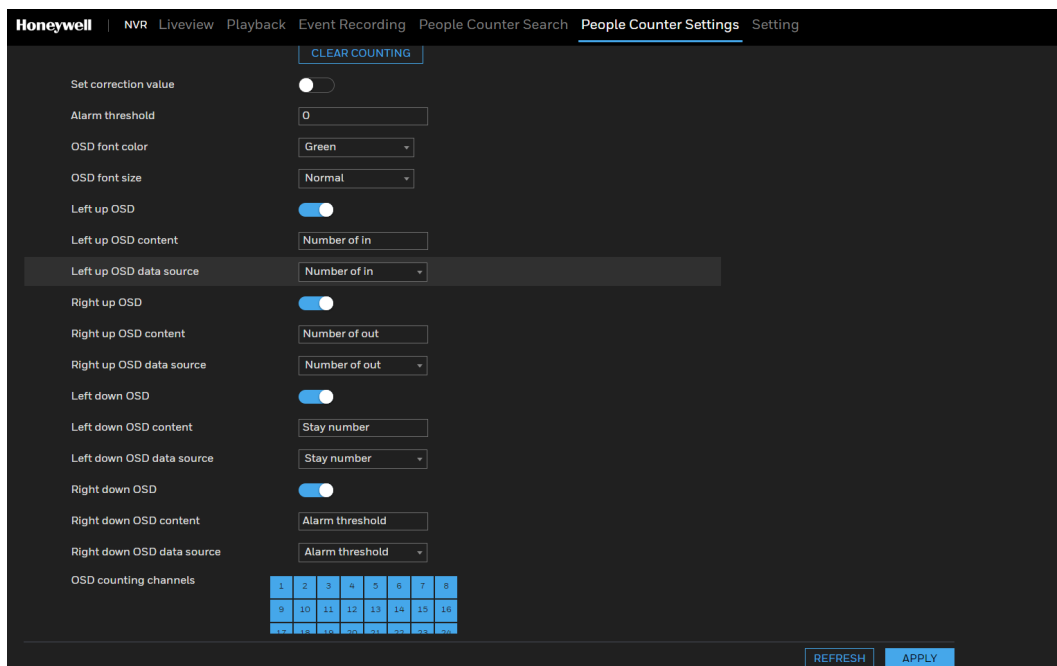
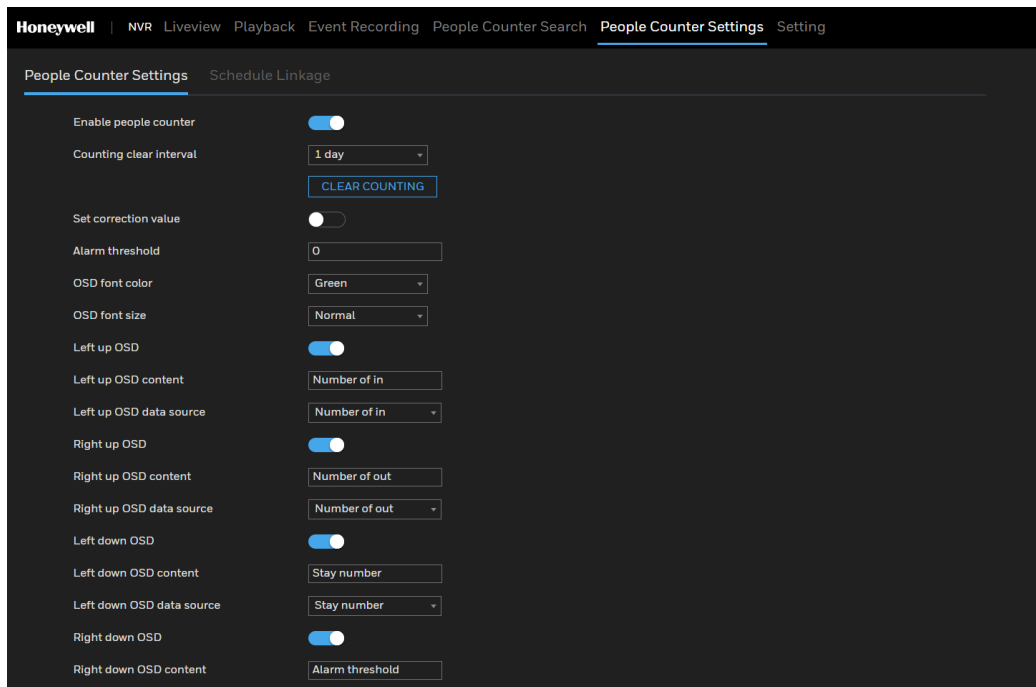
人数カウンター設定

人数カウンターのレイアウトおよびスケジュールリンケージを設定します。

1. **Main Menu（メインメニュー）** > **People Counter（人数カウンター）** > **People Counter Settings（人数カウンター設定）** に移動します。


People Counter Settings（人数カウンター設定） インターフェイスが表示されます。

図 151 People Counter Settings（人数カウンター設定）



2. モーション検出パラメーターの設定を構成します。

表 38 人数カウンターパラメーター

パラメーター	説明
Enable (有効化)	People Counter Settings (人数カウンター設定) 機能を有効または無効にします。
OSD Settings (OSD 設定)	OSD はライブビデオインターフェイスに表示されます。マウスをインターフェイスの下部に置き、クイックメニューが表示されたら、人数カウンターアイコンをクリックします。  OSD フォントの色とサイズを設定します。 4 方向の OSD を有効にし、4 方向の内容 (入力の数、出力の数、ステイ番号、アラームしきい値) とデータソースを設定します (図を参照)。

パラメーター	説明
Counting clear interval (カウントクリア間隔)	設定間隔に達したら、データをクリアします。Never (クリアしない) / 10 min (10分) / Half-hour (30分) / 1 hour (1時間) / 12 hours (12時間) / 1 day (1日) をドロップダウンリストから選択できます。
Set correction value (補正値を設定する)	人数カウンターが間違っている場合は、補正値を設定して修正できます。機能を有効にしてから、値を入力します。
Alarm threshold (アラームしきい値)	アラームを発生させるしきい値を設定します。
Alarm interval (アラーム間隔)	ドロップダウンリストから 10s (10秒) / 20s (20秒) / 30s (30秒) / 40s (40秒) / 50s (50秒) / 60s (60秒) を選択できます。
Enable events (イベントを有効にする)	アラームを発生するイベントを有効または無効にします。
Event Actions (イベントアクション)	<p>Push message to APP (アプリへのプッシュメッセージ) : NVR を管理しているアプリへのポップアップメッセージを有効にします。</p> <p>Pop up message to monitor (モニターへのポップアップメッセージ) : UI モニターでのポップアップメッセージを有効にします。</p> <p>Email (電子メール) : アラームが発生すると、NVR デバイスは設定されたメールボックスに電子メールを送信して、ユーザーに通知します。最初に電子メールを設定する必要があります。詳細については、電子メールを参照してください。</p> <p>Buzzer (ブザー) : アラームの発生時にブザーをアクティブ化します。継続時間は、Event (イベント) > General (一般) で設定します。</p> <p>Alarm out (アラーム出力) : アラーム出力をリンクできるようにします。パラメーターは、Event (イベント) > Alarm out (アラーム出力) インターフェイスで設定する必要があります。アラームデバイス (ライトやサイレンなど) は、アラーム出力ポートに接続されます。アラームが発生すると、NVR デバイスはアラーム情報をアラームデバイスに送信します。</p>
Schedule (スケジュール)	モーション検出がアクティブである期間を定義します。

3. APPLY (適用) をクリックして、設定を保存します。

図 152 人数カウンターOSD

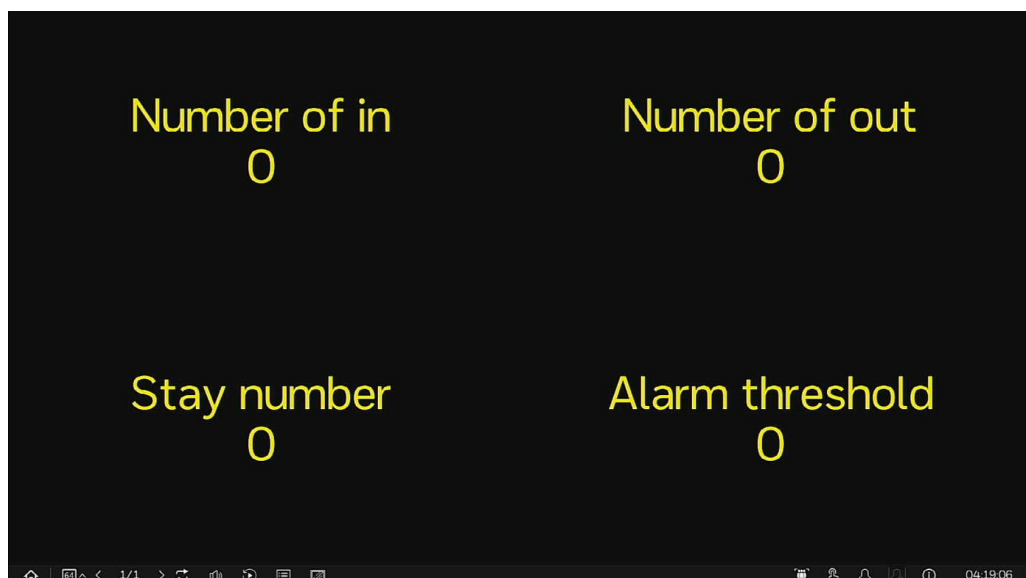


図 153 People Counter（人数カウンター）の Schedule Linkage（スケジュールリンクージ） – Event Action（イベントアクション）

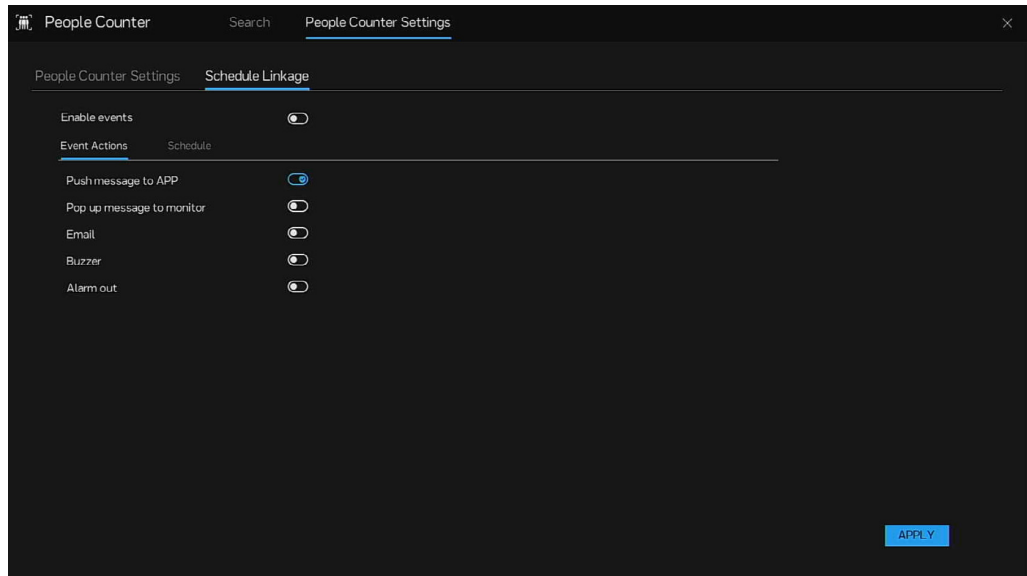
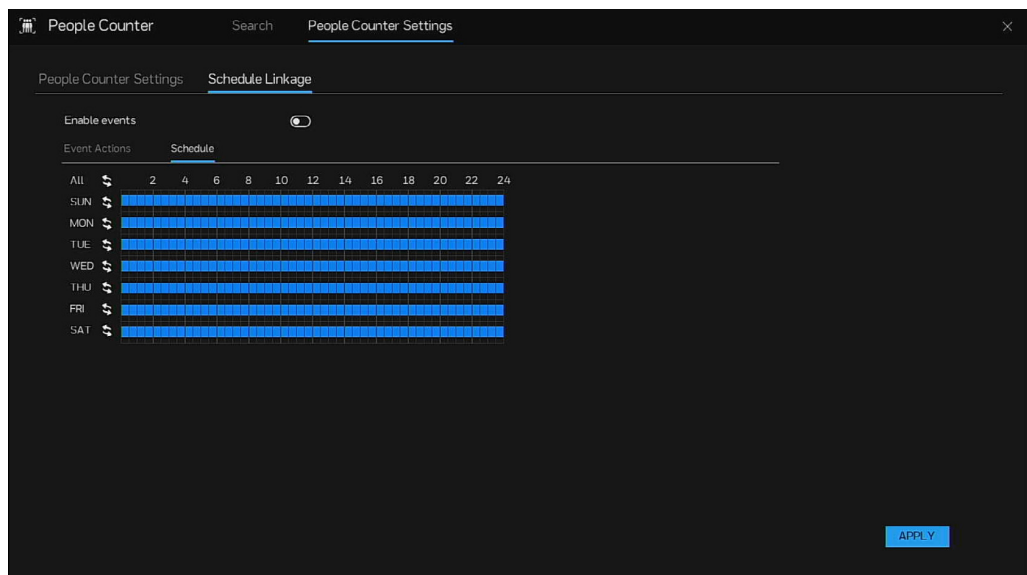


図 154 People Counter（人数カウンター）の Schedule Linkage（スケジュールリンクージ） – Schedule（スケジュール）



章 4

ウェブ操作

この章は、NVRのリモートユーザーを対象としています。この章では、ブラウザベースのウェブクライアントを使用してハネウエルの35シリーズネットワークビデオレコーダーにリモートでアクセスする方法を説明します。

この章には以下のセクションが含まれています。

- [ネットワーク接続](#)、121 ページ
- [ウェブログイン](#)、122 ページ
- [ウェブメインメニュー](#)、123 ページ

- 注：
- マニュアルに記載されているインターフェイスは、操作を紹介するために使用されるものであり、参考用にすぎません。実際のインターフェイスは、購入したモデルによって異なる可能性があります。マニュアルと実際の製品の間には矛盾がある場合は、実際の製品が適用されるものとします。
 - ウェブの他に、弊社のHDCSを使用してデバイスにログインすることもできます。詳細については、HDCS ユーザーガイドを参照してください。

ネットワーク接続

以下の条件を満たしていることを確認してください。

- ネットワーク接続が良好であることを確認します。
- NVRとPCのネットワークセットアップが正しいことを確認します。ネットワークセットアップについては、Main Menu (メインメニュー) > Network (ネットワーク) > Network (ネットワーク) を参照してください。
- Ping してネットワーク接続が良好であることを確認します。Ping *** **
*** ** (*** ** ** ** は NVR の IP アドレス)。リターン TTL は 225 未満でなければなりません。

ウェブログイン

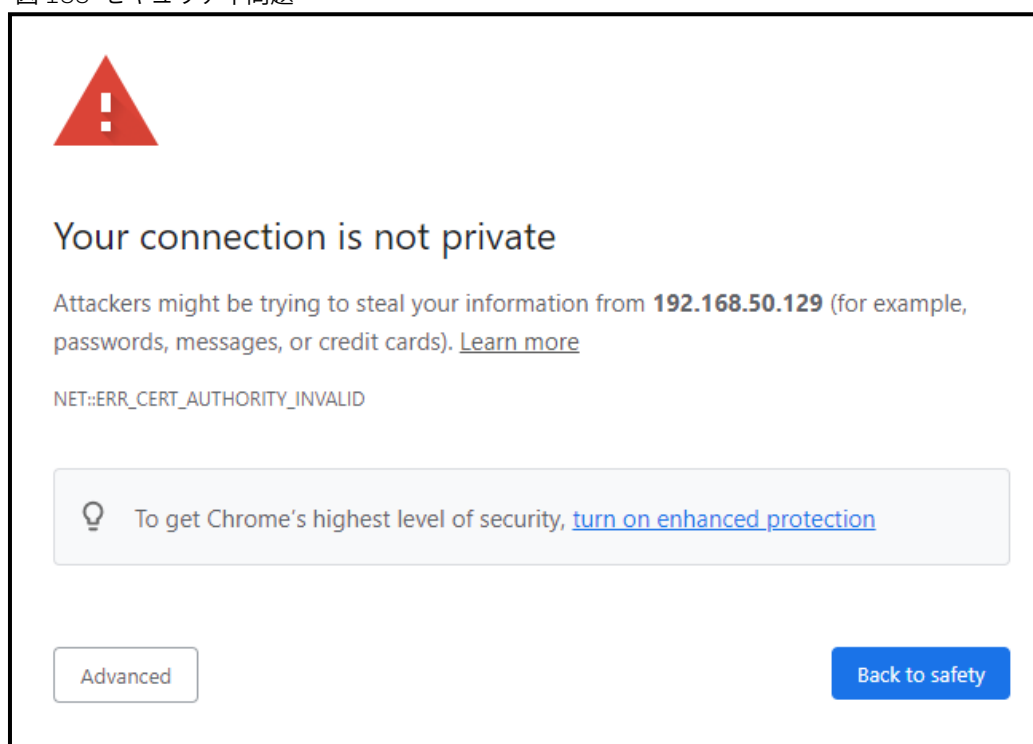
注： 工場出荷時のデバイスのデフォルト IP は 192.168.0.121 です。
デバイスは、機能を実行するために Chrome および Microsoft Edge
上での監視をサポートしています。

1. ウェブブラウザウィンドウを開きます。NVR IP アドレスをアドレス
フィールドに入力します。

たとえば、NVR の IP アドレスが 192.168.50.129 の場合は、http://
192.168.50.129 をアドレスフィールドに入力します。

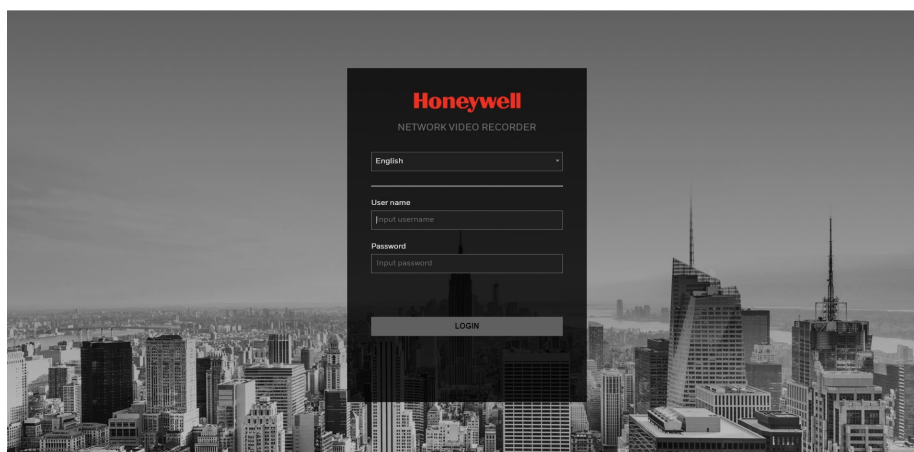
2. キーボードの **Enter** を押すと、以下のウィンドウが表示されます。
Advanced (詳細) をクリックします。

図 155 セキュリティ問題



3. **Proceed to 192.168.50.129 (unsafe) (192.168.50.129 (安全でない)に進む)** をクリックします。以下のウィンドウが表示されます。

図 156 ログイン



4. **User name (ユーザー名)** と **Password (パスワード)** を入力します。

デフォルトの管理者アカウントは **admin** です。パスワードは、初期設定時に設定されたものです。

5. **LOGIN (ログイン)** をクリックします。

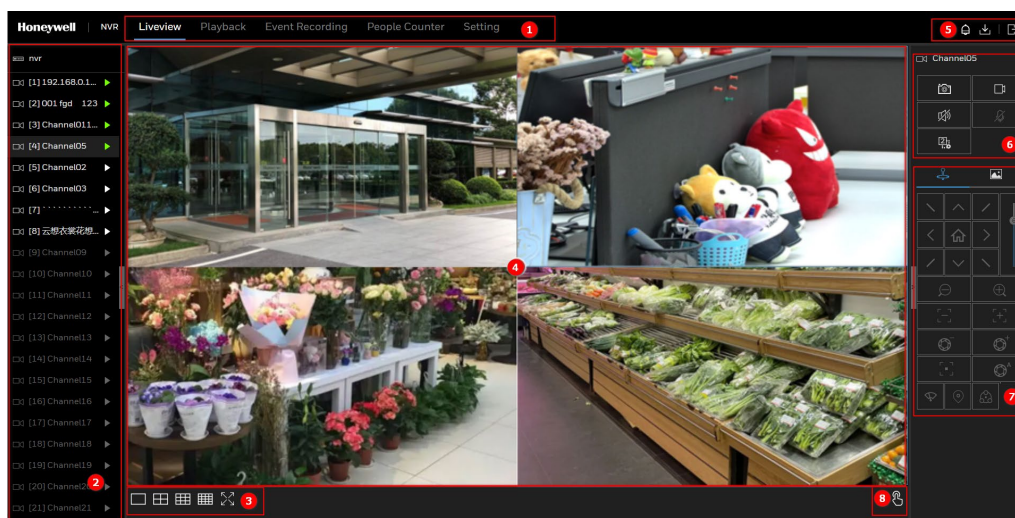
ウェブメインメニュー

ライブビュー

ウェブにログインすると、メインメニューが表示されます。











詳しい操作については、[ローカル基本操作](#)を参照してください。

図 157 Liveview (ライブビュー) ページ



このページには、**Liveview (ライブビュー)**、**Playback (プレイバック)**、**Event Recording (イベントレコーディング)**、**Setting (設定)** という4つのセクションがあります。

表 39 ライブビューのアイコンとパラメーター

番号／アイコン	説明
1	クリックして機能 (Live Video (ライブビデオ)、Playback (プレイバック)、Event Recording (イベントレコーディング)、People Counter (人数カウンター)、Setting (設定)) を切り替えます。
2	オンラインステータス付きチャンネルリスト： <ul style="list-style-type: none"> オンラインの場合はハイライト オフラインの場合は灰色
3	 <p>単一画面と 4/9/16 分割画面 全画面。ESC キーをクリックして全画面を終了します。</p>
4	ライブビデオの再生
5	 イベントリスト クリックすると、詳細アラーム情報のポップアップウィンドウが表示されます。アイコンを再度クリックすると、ポップアップウィンドウが展開されます。  ダウンロードリスト クリックすると、バックアップダウンロードタスクリストが表示されます。  現在のユーザーをログアウトします。
6	 スナップショット。現在のライブビデオシーンをキャプチャーします。  レコーディング。ビデオをローカルフォルダーに記録します。レコーディング時間は 10 秒以上にすることを推奨します。時間が短すぎると、レコーディングに失敗する可能性があります。  オーディオ。オーディオを有効または無効にします。  双方向オーディオ。外部スピーカーに接続され、インターコムの場合は音量が大きくなります。  2 (サブ) ストリームまたは 1 (メイン) ストリームに切り替えます。
7	PTZ キーボード (PTZ コントロールを参照) と画像パラメーター (センサー設定を参照)
8	 手動アラーム。クリックしてアラームを手動でトリガーします。

プレイバック

ディスクをインストールして、レコーディング機能を有効にした場合は、**Playback (プレイバック)** をクリックしてレコーディングビデオを再生します。

注： ウェブでのプレイバックは、最大限で1CH 8MP/2CH 4MP/4CH 1080P (H.264 搭載) をサポートできます。プレイバックは、ユーザーのPC 性能の影響も受けます。

図 158 Playback (プレイバック) ページ



表 40 プレイバックのアイコンとパラメーター

番号/アイコン	説明
1	チャンネルリスト  デバイスにレコーディングビデオがある  デバイスにレコーディングビデオがない  選択されたデバイス  選択されていないデバイス
2	カレンダー 詳細時間を設定して、レコーディングビデオを正確に検索します。
3	各種レコードを選択します (Schedule record (スケジュールレコード)、Manual record (手動レコード)、またはEvent record (イベントレコード))。
4	 逆再生  再生/一時停止  3 倍速  単一画面/4 分割画面  : 同期/非同期 同期または非同期で再生するように各種チャンネルを設定できます。同期モードは、選択したチャンネルが同期的にビデオを再生することを意味します。非同期モードは、ユーザーが異なる期間のレコードを再生することを意味します。  バックアップ  バッチバックアップ
5	時間バーのタイプ
6	時間バー。レコードの時間を表示します。
7	レコード操作。表 39 にあるものと同じアイコンを参照してください。

- 注： ストリームプル制限：
- クライアントダウンロードもチャンネルの数としてカウントされ、キュー内のローカルダウンロードは1つのチャンネルとしてカウントされます。

イベントレコーディング

設定条件を通じてイベントレコーディングを検索します。

図 159 Event Recording (イベントレコーディング) ページ

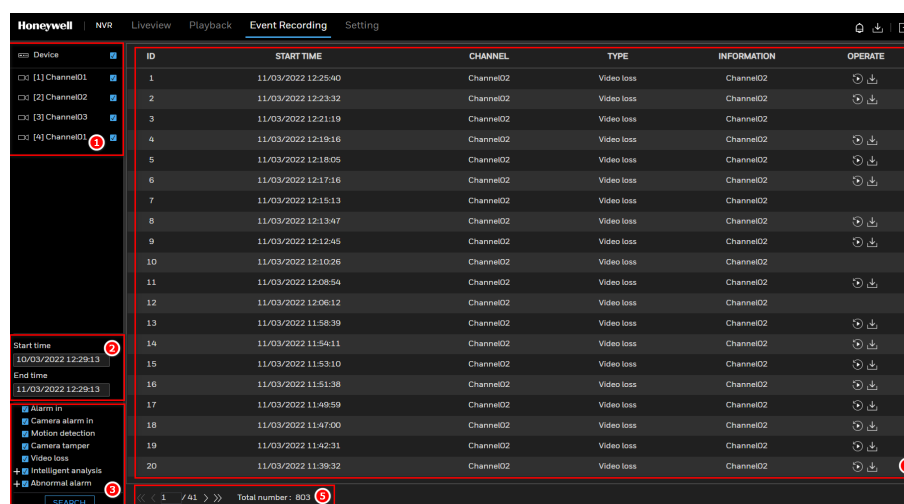




表 41 イベントレコーディングのアイコンとパラメーター

番号/アイコン	説明
1	チャンネルリスト 選択してチャンネルイベントレコーディングを検索します。
2	検索する開始時間と終了時間を設定します。
3	アラームタイプを選択します。
4	検索結果  レコーディングビデオを再生する  イベントレコーディングをダウンロードする
5	<ul style="list-style-type: none"> 検索結果の数を表示します。 ページを切り替えます。

人数カウンター

People Counter (人数カウンター) の操作は、ローカル操作と同じです。
人数カウンターの構成を参照してください。

図 160 人数カウンターページ

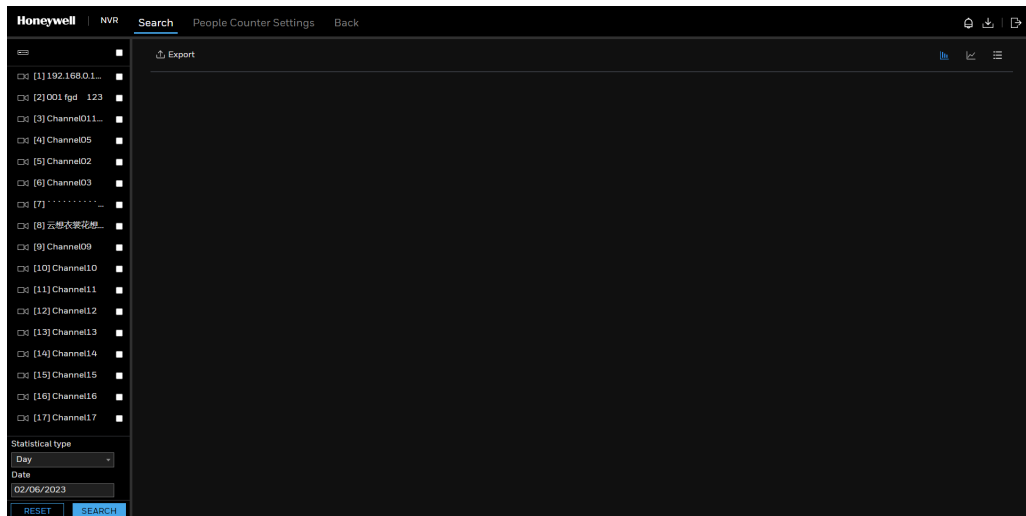
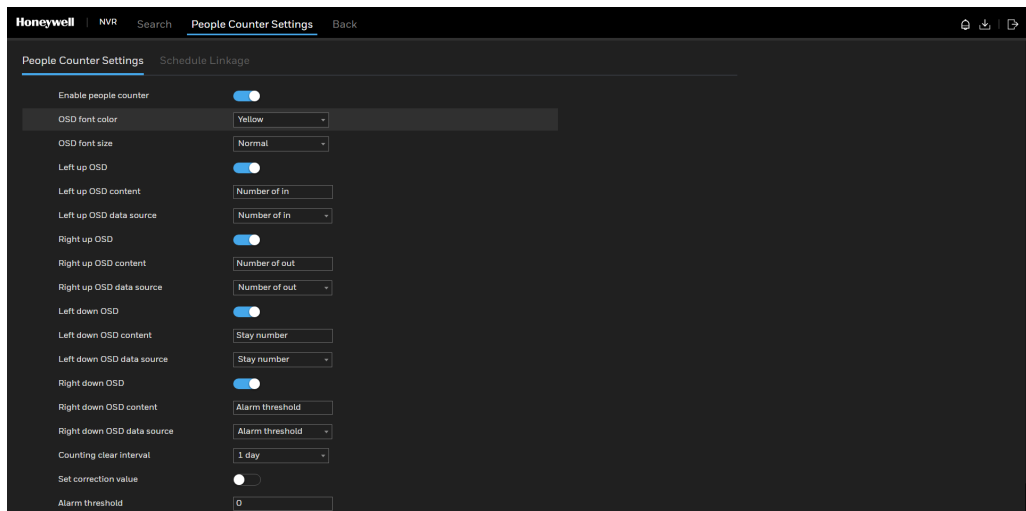


図 161 People Counter Settings (人数カウンター設定) ページ



この設定はローカル UI インターフェイスに使用されます。ウェブインターフェイスを表示できません。

設定

Setting (設定) の操作は、ローカル操作と同じです。「ローカル基本操作」を参照してください。 [ローカル基本操作](#)

図 162 Setting (設定) ページ

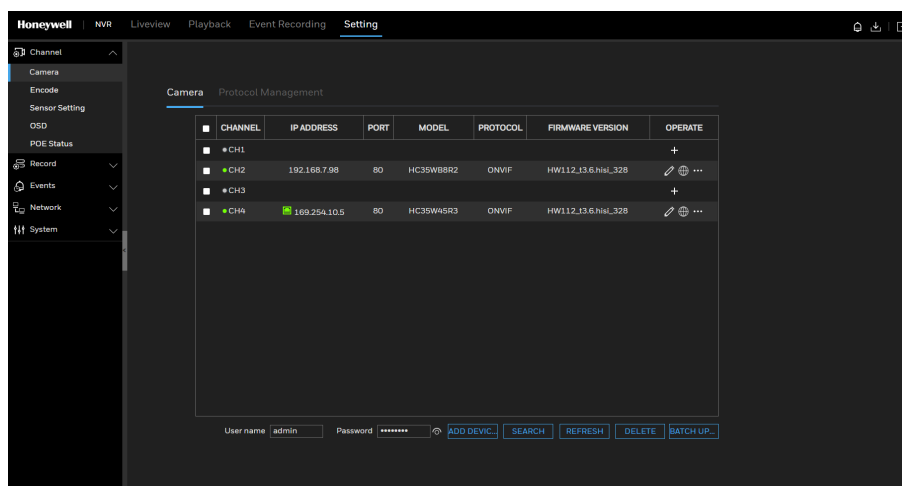





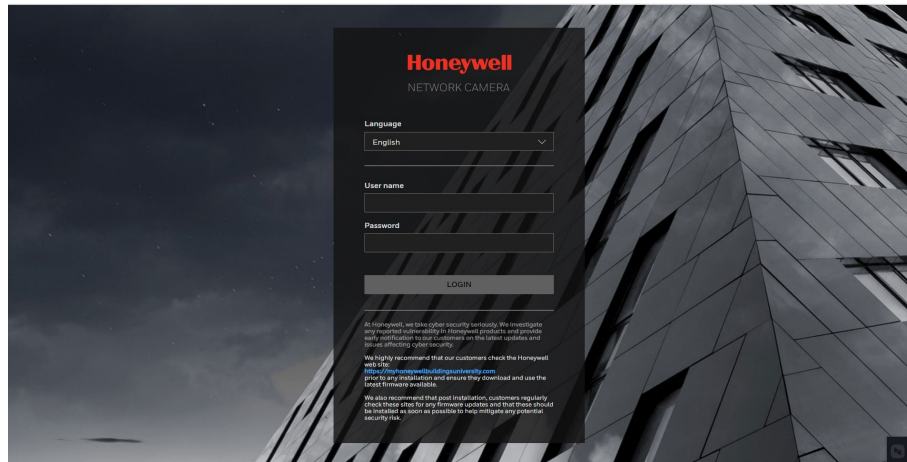


表 42 設定の記号

アイコン	説明
	カメラ/エンコード/OSD 構成、センサー設定、PoE ステータスチェックなどの Channel (チャンネル) 操作を実行します。 詳しい操作については、 カメラの設定 を参照してください。
	Record (レコード) リソース (ストレージモードなど) とストレージスペースを管理できます。 詳しい操作については、 ストレージ設定の構成 を参照してください。
	Event (イベント) 情報を検索し、アラーム入力/出力設定などのイベント操作を実行します。 詳しい操作については、 イベント設定の構成 を参照してください。
	DDNS、Email (電子メール)、P2P などの Network (ネットワーク) 機能を設定します。 詳しい操作については、 ネットワーク設定の構成 と ウェブモード を参照してください。
	基本的な System (システム) 情報を設定します。 詳しい操作については、 システム設定の構成 を参照してください。

カメラウェブページにアクセスするには、**Setting (設定) > Channel (チャンネル) > Camera (カメラ) > Camera (カメラ)** に移動し、カメラリスト  をクリックします。あらかじめ NAT ポートを有効にしてください。

図 163 IPC ログインページ



カメラの **User name (ユーザー名)** と **Password (パスワード)** を入力して、IPC ウェブのメインページに入ります。

ウェブモード

ウェブクライアントを介して NVR にアクセスする場合は、**Setting (設定) > Networks (ネットワーク) > Web Mode (ウェブモード)** に移動し、**HTTPS (HTTPS only (HTTPS のみ)、または HTTP & HTTPS (HTTP と HTTPS))**、**Certificate Request (証明書要求)**、**Upload Files (ファイルのアップロード)**、**CA Certificate (CA 証明書)** を設定します。

セキュリティ証明書のモードは 3 つあります。**Certificate Request (証明書要求)** が優先モードであり、2 番目のオプションが **Upload Files (ファイルのアップロード)** です。この 2 つのモードが無効な場合、デフォルトのオプションは **CA Certificate (CA 証明書)** です。

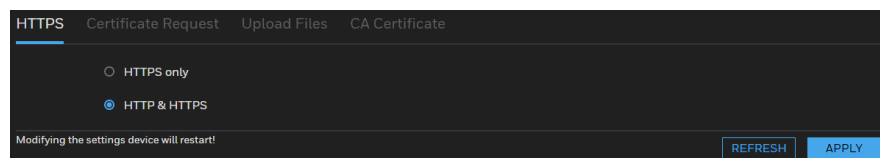
HTTPS

Setting (設定) > Networks (ネットワーク) > Web Mode (ウェブモード) > HTTPS に移動します。

このセクションでは、認証と暗号化通信を有効にする方法について説明します。このセクションは、より高いセキュリティレベルでインターネット上のストリーミングデータ伝送を保護するのに役立ちます。

注： ハネウェルは、**HTTPS のみを使用することを強く推奨しています。**

図 164 HTTPS



HTTPS only (HTTPS のみ) : これを選択すると、より高いセキュリティレベルの HTTPS 経由でのみウェブブラウザにアクセスできます。

HTTP & HTTPS (HTTP と HTTPS) : これを選択すると、HTTP または HTTPS 経由でウェブブラウザにアクセスできます。

証明書要求

1. **Setting (設定)** > **Networks (ネットワーク)** > **Web Mode (ウェブモード)** > **Certificate Request (証明書要求)** に移動します。

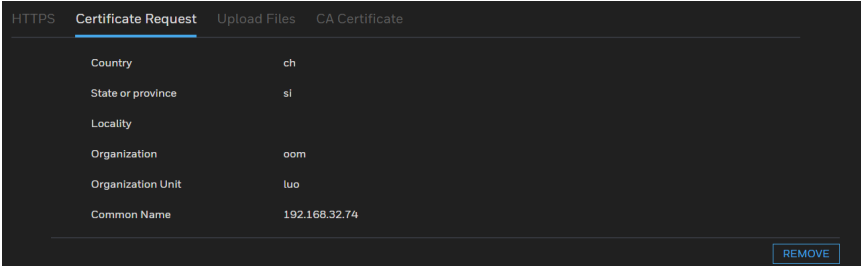
図 165 Certificate Request (証明書要求)



Country	
State or province	
Locality	
Organization	
Organization Unit	
Common Name	192.168.32.74

2. 証明書要求のパラメーターを入力します。
3. **CREATE (作成)** をクリックします。
4. **EXPORT (エクスポート)** をクリックして、CSR 要求ファイル (certreq.pem) を保存します。
5. CSR 要求ファイルを使用して、SSL 証明書ファイルを取得します。
6. ウェブページで **CHOOSE FILE (ファイルの選択)** をクリックして、コンビネーションファイルを選択します。
7. **UPLOAD (アップロード)** をクリックします。

図 166 証明書ページ



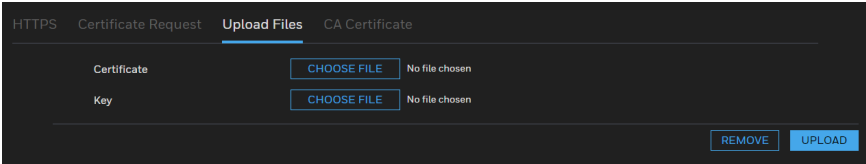
Country	ch
State or province	si
Locality	
Organization	oom
Organization Unit	luo
Common Name	192.168.32.74

ファイルが正常にアップロードされた後に、そのファイルを削除するには、**REMOVE (削除)** をクリックします。

ファイルのアップロード

1. **Setting (設定)** > **Networks (ネットワーク)** > **Web Mode (ウェブモード)** > **Upload Files (ファイルのアップロード)** に移動します。ここでは、証明書ファイルとキーファイルをサードパーティからインポートできます。

図 167 Upload Files (ファイルのアップロード) ページ

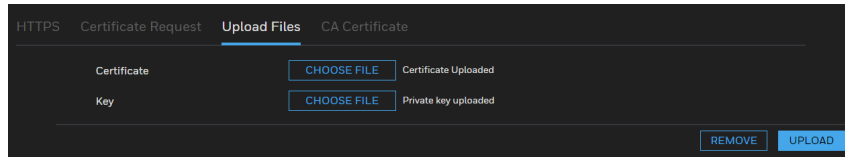


Certificate	CHOOSE FILE	No file chosen
Key	CHOOSE FILE	No file chosen

2. Certificate (証明書) フィールドで **CHOOSE FILE (ファイルの選択)** をクリックして、適用済みの証明書ファイルをサードパーティまたは CA ドメインから選択します。
3. Key (キー) フィールドで **CHOOSE FILE (ファイルの選択)** をクリックして、適用済みの証明書キーをサードパーティまたは CA ドメインから選択します。

4. **UPLOAD (アップロード)** をクリックします。

図 168 Uploaded Files (アップロードされたファイル)



ファイルが正常にアップロードされた後に、それらのファイルを削除するには、**REMOVE (削除)** をクリックします。

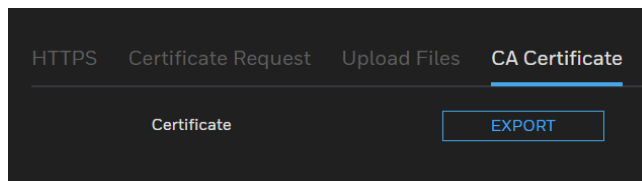
- サポートされている証明書タイプ：HTTPS プロトコル。
- サポートされている証明書ファイルフォーマット：*.cert フォーマット
- サポートされているキーフォーマット：PRM フォーマット。

CA 証明書

NVR は HTTPS を使用します。HTTPS は、訪問したウェブサイトとサーバーの識別情報を検証し、クライアントとサーバーの間で交換されるデータを暗号化するセキュア通信プロトコルです。NVR のウェブクライアントに初めてログインすると、一部のブラウザは通信がプライベート／セキュアではないという警告を表示することがあります。ウェブクライアントにアクセスするには、ハネウエルが署名したセキュリティ証明書をインストールする必要があります。

1. **Setting (設定) > Networks (ネットワーク) > Web Mode (ウェブモード) > CA Certificate (CA 証明書)** に移動します。

図 169 CA Certificate (CA 証明書) ページ



2. **EXPORT (エクスポート)** をクリックして、ルート証明書 (ca.crt) をローカルコンピューターに保存します。
3. CA 証明書を保存したディレクトリに移動し、その証明書をダブルクリックします。**Open (開く)** をクリックします。**Certificate (証明書)** ウィンドウが開きます。
4. **Certificate (証明書)** ウィンドウの **General (一般)** タブで、**Install Certificate (証明書のインストール)** をクリックして **Certificate Import Wizard (証明書インポートウィザード)** を開きます。
5. **Next (次へ)** をクリックして続行します。
6. **Place all certificates in the following store (すべての証明書を以下のストアに入れる)** をクリックし、**Trusted Root Certification Authorities (信頼できるルート証明機関)** に移動して、**OK** をクリックします。
7. **Next (次へ)** をクリックしてから、**Finish (完了)** をクリックして **Certificate Import Wizard (証明書インポートウィザード)** を閉じます。「The import was successful. (インポートに成功しました。)」というメッセージと共に確認ダイアログボックスが表示されます。
8. **OK** をクリックしてから、**OK** をクリックして **Certificate (証明書)** ウィンドウを閉じます。これで、ブラウザは接続がプライベート／セキュアではないという警告を表示しなくなります。



証明書を必ずインストールして、NVR とのセキュア通信を保証し、ウェブページナビゲーションの遅延を回避してください。

章
5

FAQ

質問	解決策
NVR を正しく起動できません。	<ul style="list-style-type: none"> • 入力電源が正しくありません。 • 電源接続が正しくありません。 • 電源スイッチボタンが損傷しています。 • プログラムのアップグレードが間違っています。 • HDD の動作不良、または HDD リボンに何か問題があります。 • フロントパネルエラー。 • メインボードが損傷しています。
NVR が自動的にシャットダウンまたは動作停止することがよくあります。	<ul style="list-style-type: none"> • 入力電圧が安定していないか、低すぎます。 • HDD の動作不良、またはリボンに何か問題があります。 • フロントビデオ信号が安定していません。 • 作業環境が厳しすぎます。ほこりが多すぎます。 • ハードウェアの動作不良。
システムがハードディスクを検出できません。	<ul style="list-style-type: none"> • HDD が壊れています。 • HDD リボンが損傷しています。 • HDD ケーブル接続が緩んでいます。 • メインボード SATA ポートが壊れています。
1 チャンネル、複数チャンネル、あるいは全チャンネルの出力かどうにかかわらず、ビデオ出力がありません。	<ul style="list-style-type: none"> • 最新バージョンにアップグレードしてください。 • ブライトネスが 0 になっています。工場出荷時のデフォルトセットアップを復元してください。 • 画面セーバーをチェックしてください。 • NVR ハードウェアの動作不良。
ローカルレコードを検索できません。	<ul style="list-style-type: none"> • HDD リボンが損傷しています。 • HDD が壊れています。 • アップグレードしたプログラムに互換性がありません。 • 記録したファイルが上書きされています。 • レコード機能が無効になっています。
ローカルレコードの検索時にビデオが歪んでいます。	<ul style="list-style-type: none"> • ビデオ品質設定が低すぎます。 • プログラム読み取りエラー。ビットデータが小さすぎます。全画面にモザイクがあります。NVR を再起動して、この問題を解決してください。 • HDD データリボンエラー。 • HDD の動作不良。 • NVR ハードウェアの動作不良。
時間表示が正しくありません。	<ul style="list-style-type: none"> • セットアップが正しくありません。 • バッテリー接点が正しくないか、電圧が低すぎます。
NVR が PTZ を制御できません。	<ul style="list-style-type: none"> • フロントパネル PTZ エラー。 • PTZ デコーダーのセットアップ、接続または設置が正しくありません。 • ケーブル接続が正しくありません。 • PTZ セットアップが正しくありません。 • 距離が遠すぎます。

質問	解決策
クライアントエンドやウェブにログインできません。	<ul style="list-style-type: none"> Windows 2007 以上のバージョンを使用してウェブインターフェイスを表示します。 ディスプレイカードのドライバーをアップグレードします。 ネットワーク接続エラー。 ネットワークセットアップエラー。 パスワードまたはユーザー名が無効です。 クライアントエンドが NVR プログラムと互換性がありません。 ブラウザは、Google Chrome または Microsoft Edge を選択するか、最新バージョンにアップグレードする必要があります。
ビデオファイルをリモートでプレビューまたはプレイバックすると、モザイクのみで、ビデオがありません。	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークフルエンシーが良好ではありません。 クライアントエンドリソースが限界です。 現在のユーザーに監視権限がありません。
ネットワーク接続が安定していません。	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークが安定していません。 IP アドレスが競合しています。 MAC アドレスが競合しています。 PC またはデバイスのネットワークカードが良好な状態ではありません。
バーンエラー/USB バックエラー。	<ul style="list-style-type: none"> バーナーと NVR が同じデータケーブルにあります。 システムが使用している CPU リソースが多すぎます。レコードを停止してから、バックアップを開始してください。 データ量がバックアップデバイスの容量を超えています。その結果として、バーンエラーが発生する可能性があります。 バックアップデバイスに互換性がありません。 バックアップデバイスが損傷しています。
アラーム信号を解除できません。	<ul style="list-style-type: none"> アラームのセットアップが正しくありません。 アラーム出力が手動で開かれています。 入力デバイスエラー、または接続が正しくありません。 一部のプログラムバージョンでは、この問題が発生する可能性があります。システムをアップグレードしてください。
アラーム機能が無効です。	<ul style="list-style-type: none"> アラームのセットアップが正しくありません。 アラームケーブル接続が正しくありません。 アラーム入力信号が正しくありません。 1 つのアラームデバイスに対して 2 つのループ接続があります。
レコード保存期間が不十分です。	<ul style="list-style-type: none"> HDD 容量が不十分です。 HDD が損傷しています。
ダウンロードしたファイルをプレイバックできません。	<ul style="list-style-type: none"> メディアプレーヤー（再生するためのファイル対応 VLC プレーヤー）がありません。 ダウンロードしたファイルが間違っています。
ダウンロードしたレコーディングを Windows の映画&テレビプレーヤーで再生できません。	レコーディングビデオフォーマットは H265 エンコードタイプ (MP4) です。VLC を使用して再生することを推奨します。
ローカルメニュー操作のパスワードやネットワークパスワードを忘れました。	現地の技術サポートにご相談ください。この問題の解決方法をご案内いたします。
ビデオが表示されません。画面が黒色の状態です。	<ul style="list-style-type: none"> IPC IP アドレスが正しくありません。 IPC ポート番号が正しくありません。 IPC アカウント（ユーザー名/パスワード）が正しくありません。 IPC がオフラインになっています。
ビデオがモニターにフル表示されません。	現在の解像度セットアップをチェックしてください。現在のセットアップが 1920*1080 の場合は、モニター解像度を 1920*1080 に設定する必要があります。

質問	解決策
HDMI 出力がありません。	<ul style="list-style-type: none"> 表示装置が HDMI モードになっていません。 HDMI ケーブル接続が正しくありません。
クライアントエンドから複数チャンネルモードで表示すると、ビデオが滑らかに表示されません。	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク帯域幅が不十分です。複数チャンネルモニター操作には 100M 以上必要です。 PC リソースが不十分です。16 チャンネルリモートモニター操作の場合、PC の環境は以下のようにしているものとします。クワッドコア、2G 以上のメモリ、独立した表示装置、256M 以上のディスプレイカードメモリ。
IPC に接続できません。	<ul style="list-style-type: none"> IPC が起動していることを確認してください。 IPC ネットワーク接続が正しいこと、およびオンラインであることを確認してください。 IPC IP がブロックリストに含まれています。 デバイスが接続されている IPC が多すぎます。デバイスはビデオを送信できません。 IPC ポート値とタイムゾーンが NVR と同じであることを確認してください。 現在のネットワーク環境が安定していることを確認してください。
NVR 解像度を再設定すると、モニターが表示できなくなります。	<ul style="list-style-type: none"> デフォルト解像度は 1920*1080 です。より高い解像度を設定する場合は、モニターがその解像度をサポートしていることを確認してください。そうならない場合は、ウェブインターフェイスにログインしてデフォルト解像度を切り替える必要があります。
ウェブにログインしても、IPC を追加するためのリモートインターフェイスが見つかりません。	ウェブコントロールをクリアして、再ロードしてください。
IP とゲートウェイがあり、ルーター経由でインターネットにアクセスできます。ただし、NVR の再起動後は、インターネットにアクセスできません。	PING コマンドを使用して、ゲートウェイに接続できるかどうかをチェックします。テルネットを使用してアクセスしてから、 "Ipconfig - all" コマンドを使用してデバイスの IP アドレスを確認します。サブネットマスクとゲートウェイが再起動後に変更されている場合は、アプリケーションをアップグレードして再設定します。
カメラを 35S NVR に接続できません。	カメラをリセットし、アクティブ化してパスワードを設定します。カメラのウェブにアクセスして DHCP を開き、NVR の PoE ポートに接続します。 NVR チャンネルパスワードとカメラのパスワードを同じものに設定します。
カメラの I/O パラメーターを 35 NVR で設定できません。	カメラウェブクライアントでカメラの I/O パラメーターを設定するか、NVR ウェブクライアントで Setting (設定) > Channel (チャンネル) > Camera (カメラ) > Camera (カメラ) を選択してカメラウェブクライアントに移動し、カメラリスト  をクリックします。あらかじめ NAT ポートを有効にしてください。
カメラの MD パラメーターを 35S NVR で設定できません。	カメラウェブクライアントでカメラの MD パラメーターを設定するか、NVR ウェブクライアントで Setting (設定) > Channel (チャンネル) > Camera (カメラ) > Camera (カメラ) を選択してカメラウェブクライアントに移動し、カメラリスト  をクリックします。あらかじめ NAT ポートを有効にしてください。
NVR に接続されている一部の ONVIF IP カメラでは、IP アドレスを NVR 経由で自動的に割り当てることができません。	ウェブ経由で IP カメラの IP アドレスを手動で設定してください。

日常のメンテナンス

- ブラシを使用して、ボード、ソケットコネクタおよびシャーシを定期的に清掃してください。
- オーディオ／ビデオの乱れが生じないように、デバイスはしっかりと接地されるものとします。デバイスを静電圧や誘導電圧に近づけないようにしてください。
- オーディオ／ビデオ信号ケーブルを外す前に、電源ケーブルを外してください。
- 常に適正にデバイスをシャットダウンしてください。メニューのシャットダウン機能を使用するか、リアペインの電源ボタンを押してデバイスをシャットダウンします。そうしないと、HDD の動作不良につながる可能性があります。
- デバイスが直射日光や他の加熱源から離れていることを確認してください。デバイスの換気を維持してください。
- 定期的にデバイスを点検整備してください。

Honeywell Building Technologies – Security Americas (Head Office)

Honeywell Commercial Security
715 Peachtree St. NE
Atlanta, GA 30308
Tel: +1 800 323 4576

Honeywell Building Technologies – Security Mexico

Mexico: Av. Santa Fe 94, Torre A, Piso 1, Col. Zedec,
CP 012010, CDMX, México.
Colombia: Edificio Punto 99, Carrera 11a.
98-50, Piso 7, Bogota, Colombia.
Tel: 01.800.083.59.25

Honeywell Building Technologies – Security Middle East/N. Africa

Emaar Business Park, Building No. 2, Sheikh Zayed Road
P.O. Box 232362
Dubai, United Arab Emirates
security_meta@honeywell.com
Tel: +971 4 450 5800

Honeywell Building Technologies – Security Europe/South Africa

Building 5 Carlton Park,
King Edward Avenue
Narborough, Leicester, LE19 0LF
United Kingdom
Tel: +44 (0) 1163 500714

Honeywell Building Technologies – Security Northern Europe

Stationsplein Z-W 961, 1117 CE Schiphol-Oost, Netherlands
Tel: +31 (0) 299 410 200

Honeywell Building Technologies – Security Deutschland

Johannes-Mauthe-Straße 14
D-72458 Albstadt
Germany
Tel: +49 (0) 7431 801-0

Honeywell Building Technologies – Security France

Immeuble Lavoisier
Parc de Haute Technologie
3-7 rue Georges Besse
92160 Antony, France
Tel: +33 (0) 1 40 96 20 50

Honeywell Building Technologies – Security Italia SpA

Via Achille Grandi 22,
20097 San Donato Milanese (MI), Italy

Honeywell Building Technologies – Security España

Josefa Valcárcel, 24
28027 – Madrid, España
Tel.: +34 902 667 800

Honeywell Building Technologies – Security Россия и СНГ

121059 Moscow,
Ul, Kiev 7
Russia
Tel: +7 (495) 797-93-71

Honeywell Building Technologies – Security Asia Pacific

Building #1, 555 Huanke Road,
Zhang Jiang Hi-Tech Park Pudong New Area,
Shanghai, 201203, China
Tel: 400 840 2233

Honeywell Building Technologies – Security and Fire (ASEAN)

Honeywell International Sdn Bhd
Level 25, UOA Corp Tower, Lobby B
Avenue 10, The Vertical, Bangsar South City
59200, Kuala Lumpur, Malaysia
Email: buildings.asean@honeywell.com
Technical support (Small & Medium Business):

Vietnam: +84 4 4458 3369
Thailand: +66 2 0182439 Indonesia: +62 21 2188 9000
Malaysia: +60 3 7624 1530
Singapore: +65 3158 6830
Philippines: +63 2 231 3380

Honeywell Home and Building Technologies (India)

HBT India Buildings
Unitech Trade Centre, 5th Floor,
Sector – 43, Block C, Sushant Lok Phase – 1,
Gurgaon – 122002, Haryana, India
Email: HBT-IndiaBuildings@honeywell.com
Toll Free Number: 000 800 050 2167
Tel: +91 124 4975000

Honeywell Building Technologies – Security and Fire (Korea)

Honeywell Co., Ltd. (Korea)
5F SangAm IT Tower,
434, Worldcup Buk-ro, Mapo-gu,
Seoul 03922, Korea
Email: info.security@honeywell.com
Customer support: HSG-CS-KR@honeywell.com; +82 1522-8779
Tel: +82-2-799-6114

Honeywell Building Technologies – Security & Fire (Pacific)

Honeywell Ltd
9 Columbia Way
BAULKHAM HILLS NSW 2153
Email: hsf.comms.pacific@Honeywell.com
Technical support:
Australia: 1300 220 345
New Zealand: +64 9 623 5050

Honeywell Building Technologies – 日本

日本ハネウェル株式会社
ハネウェル・ビルディング・テクノロジーズ
東京都港区海岸 1-16-1
ニューピア竹芝サウスタワー20F
電話: +81-3-6730-7173

Honeywell

buildings.honeywell.com/security

+1 800 323 4576 (北米のみ)

文書 600-35UG01 Rev A – 08/2023